



2019 年度
東洋大学
事業報告書

学校法人東洋大学

■はじめに	1
1. 法人の概要	
(1) 建学の理念	2
(2) 設置する学校・学部・学科等	2
(3) 学校法人の沿革	3
(4) 学校・学部・学科等の学生数等	5
(5) 役員等	9
(6) 教職員数	10
(7) キャンパス等	11
(8) 組織図	12
(9) 学生生徒等納付金額一覧	15
2. 事業の概要	
(1) 主な事業計画の状況	16
(2) トピックス	20
(3) 東洋大学附属姫路高等学校	33
(4) 東洋大学附属姫路中学校	34
(5) 東洋大学附属牛久高等学校	35
(6) 東洋大学附属牛久中学校	36
(7) 東洋大学京北高等学校	37
(8) 東洋大学京北中学校	38
(9) 京北幼稚園	39
(10) 今後の主な課題	40
3. 財務の概要	
(1) 決算の概要	42
(2) 経年比較	44
(3) 主な財務比率比較	46
(4) 主な施設設備の取得または処分およびその進捗状況	47
(5) その他	47
4. データ集	
(1) 入学試験の概要	49
(2) 就職の概要	51
(3) 外部資金、助成金等の概要	52
(4) 国際交流の概要	53
(5) 図書館の概要	57



学校法人東洋大学
総長 福川 伸次

実践的哲学を基盤に
広い視野、深い思考力、
果敢な行動力を育てる。



学校法人東洋大学
理事長 安齋 隆



東洋大学
学長 矢口 悦子

創立者井上円了博士は、「哲学」の学習を通してものごとの本質を見極めることの大切さを説き、この思想は、「諸学の基礎は哲学にあり」「知徳兼全」「独立自活」という東洋大学の建学の精神に象徴され、現在に至るまで継承されています。この建学の精神をもとに、教育理念として「自分の哲学を持つ」「本質に迫って深く考える」「主体的に社会の課題に取り組む」人材を養成することを掲げ、また、「他者のために自己を磨く」「活動の中で奮闘する」ことを東洋大学の心としています。これらをすべて建学の理念と位置付けて、教職員一同、教育・研究活動と社会貢献活動に邁進しております。

2019年4月には大学院に文学研究科国際文化コミュニケーション専攻、経営学研究科経営学・マーケティング専攻を開設したほか、情報連携学研究科情報連携学専攻の博士後期課程を開設し、より高度な知識と研究能力を有する人材の育成を進めています。学部では、2021年4月にライフデザイン学部を朝霞キャンパスから赤羽台キャンパスへ移転するほか、社会学部社会文化システム学科の改組による社会学部国際社会学科を開設、2023年にはライフデザイン学部と社会学部社会福祉学科及び食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻を改組し、「福祉社会デザイン学部（仮）」と「健康スポーツ科学部（仮）」の2学部を赤羽台キャンパスに開設予定であります。また、ライフデザイン学部移転後の朝霞キャンパスには、現在板倉キャンパスに設置している生命科学部、食環境科学部（食環境科学科スポーツ・食品機能専攻を除く）及び川越キャンパスの理工学部生体医工学科を移転し、2024年に新たな学科構成に改組した生命科学部及び食環境科学部を開設することといたしました。こうした一連の改革を通して人類社会のさらなる発展に貢献することを目指し、SDGsの達成とSociety5.0の構築に貢献する教育・研究環境の拡充を一層図ってまいります。

文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援タイプB（グローバル化牽引型）に選定された「TOYO GLOBAL DIAMONDS」構想は6年目を終え、概ね計画に各項目の目標を達成しています。2020年度に予定されている2回目の中間評価に向けて、引き続き着実かつ強力に推進してまいります。また、7年目を迎えた特別講演会「未来を拓くトップセミナー」や2019年度から新たにスタートしたトップリーダー連携教育支援プログラムによる各学部での講義等、様々な分野で活躍する専門家や経営者の方々に講師にお招きした実践的・実学的な教育をさらに推進することで、「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」を多彩に展開することができました。

初等中等教育諸学校においては、2014年開校の附属姫路中学校の1期生が附属姫路高等学校を卒業し、中高一貫教育による初の卒業生を送り出しました。また、附属牛久中学校・高等学校及び東洋大学京北中学高等学校においては、2020年度に男女共学による一貫教育の完成年度を迎えます。施設・設備においても、附属姫路中学校・高等学校の既存校舎の改修及び新校舎の建設を進めるとともに、附属牛久中学校・高等学校のグラウンドの改修や京北中学高等学校のICT教室増設をはじめとした各校のICT教育環境の充実を図りました。京北幼稚園においては今年度も引き続き、幼児教育の充実を努めました。

学校法人東洋大学は、構成する各学校の教育・研究内容の高度化を図るとともに、目的に応じたキャンパスの整備を引き続き積極的に展開してまいります。そして、新たに策定した「中期計画」に基づき、全学が一丸となってその実施に取り組んでまいります。

学校法人東洋大学 理事長 安齋 隆

(1) 建学の理念

① 建学の精神

「諸学の基礎は哲学にあり」「独立自活」「知徳兼全」

② 東洋大学の教育理念

【自分の哲学を持つ】

多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学(人生観・世界観)を持つ人間を育成する。

【本質に迫って深く考える】

先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫る仕方、論理的・体系的に深く考える人間を育成する。

【主体的に社会の課題に取り組む】

社会の課題に自主的・主体的に取り組む、よき人間関係を築いていける人間を育成する。

③ 東洋大学の心

【他者のために自己を磨く】

自分を磨くのは、人々のためにはたらくことができるようになるためであり、そのことを自覚して学業に励むのが東洋大学の心である。

【活動の中で奮闘する】

現実社会における活動の中にどこまでも前進してやまないのが、東洋大学の心である。

(2) 設置する学校・学部・学科等

① 東洋大学

学長 矢口 悦子

〔学部〕 文学部第1部・第2部、経済学部第1部・第2部、経営学部第1部・第2部、法学部第1部・第2部、社会学部第1部・第2部、理工学部、国際地域学部、国際学部、国際観光学部、生命科学部、ライフデザイン学部、総合情報学部、食環境科学部、情報連携学部

〔大学院〕 文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経営学研究科、理工学研究科、経済学研究科、国際学研究科、国際観光学研究科、国際地域学研究科、生命科学研究科、社会福祉学研究科、ライフデザイン学研究科、福祉社会デザイン研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科、食環境科学研究科、情報連携学研究科

〔通信教育部〕 文学部、法学部

1887年9月 私立哲学館として創立
1949年4月 新制大学へ移行

② 東洋大学附属姫路高等学校

校長 大森 茂樹

全日制 普通科
1963年4月 開校

③ 東洋大学附属姫路中学校

校長 大森 茂樹

2014年4月 開校

④ 東洋大学附属牛久高等学校

校長 遠藤 隆二

全日制 普通科
1964年4月 開校

⑤ 東洋大学附属牛久中学校

校長 遠藤 隆二

2015年4月 開校

⑥ 東洋大学京北高等学校

校長 石坂 康倫

全日制 普通科
1899年4月 京北尋常中学校として創立
1948年4月 新学制により高等学校へ移行

⑦ 東洋大学京北中学校

校長 石坂 康倫

1899年4月 京北尋常中学校として創立
1948年4月 新学制により新制中学校へ移行

⑧ 京北学園白山高等学校

校長 石坂 康倫

全日制 商業科
1908年4月 京北実業学校として創立
1948年4月 新学制により商業高等学校へ移行
2016年4月より休校

⑨ 京北幼稚園

園長 川合 正

1905年5月 開園

1. 法人の概要



TOYO UNIVERSITY

(3) 学校法人の沿革

年 月	事 項
1887 年 9 月	井上円了が本郷竜岡町（現在の文京区湯島）の麟祥院に私立哲学館を創立
1889 年 11 月	本郷区駒込蓬萊町（現在の文京区向丘）に校舎新築移転
1897 年 10 月	小石川区原町（現在の白山キャンパス）に移転
1899 年 4 月	私立京北尋常中学校開設
1903 年 10 月	私立哲学館大学と改称し、専門学校令により大学部・専門部を設置
1904 年 4 月	中野区和田山（現在のの中野区松が丘「区立哲学堂公園」）に哲学堂が落成（昭和 19 年に東京都へ寄附）
1905 年 5 月	京北幼稚園開園
1906 年 6 月	私立東洋大学に改称
7 月	財団法人私立東洋大学となる
1907 年 5 月	京北幼稚園、同中学校を含む財団法人京北財団設立
1908 年 4 月	私立京北実業学校開設
1913 年 8 月	京北財団と合併
1916 年 4 月	私立の専門学校として初めて女子の入学を許可する
1920 年 1 月	私立京北中学校、私立京北実業学校の「私立」の冠称を廃止
3 月	私立東洋大学の「私立」の冠称を廃止
1928 年 3 月	大学令による東洋大学の設置を認可され、文学部を創設し、従来の大学部及び専門部を専門学校令による専門部とする
1948 年 4 月	学制改革により、京北中学校、京北高等学校、京北実業高等学校となる
1949 年 4 月	学校教育法により新制大学への移行 文学部第 1 部を設置（第 2 部は昭和 27 年）
1950 年 4 月	経済学部第 1 部（第 2 部は昭和 32 年）、短期大学部第 2 部を設置 京北高等学校・京北実業高等学校を合併し、京北高等学校普通科・商業科となる
1951 年 2 月	学校法人京北学園設立（財団法人私立東洋大学より分離）
3 月	私立学校法により財団法人私立東洋大学から学校法人東洋大学へ組織変更
4 月	文経学部 2 部を設置
1952 年 4 月	大学院文学研究科を設置 文経学部 2 部を廃止し、文学部 2 部と法経学部 2 部に改組
1953 年 2 月	京北高等学校普通科・商業科を京北高等学校・京北商業高等学校とする
1956 年 4 月	法学部第 1・2 部を設置
1957 年 3 月	法経学部 2 部を廃止
1959 年 4 月	社会学部第 1・2 部、社会学研究科を設置
1961 年 4 月	川越キャンパス開設（工学部を設置）
1963 年 4 月	附属姫路高等学校、附属南部高等学校開設、短期大学部第 1 部を設置
1964 年 4 月	附属牛久高等学校開設、通信教育部、法学研究科を設置
1965 年 4 月	工学研究科を設置
1966 年 1 月	東洋大学短期大学部を東洋大学短期大学に改称
4 月	経営学部第 1・2 部を設置
1972 年 4 月	経営学研究科を設置
1976 年 4 月	経済学研究科を設置
1977 年 3 月	附属南部高等学校閉校
4 月	朝霞キャンパス開設
1987 年 10 月	東洋大学創立 100 周年記念式典を挙行
1990 年 4 月	井上円了記念学術センターを設置
1997 年 4 月	板倉キャンパス開設（国際地域学部、生命科学部を設置）
1998 年 10 月	京北創立 100 周年記念式典を挙行
2001 年 4 月	国際地域学研究科、生命科学研究科を設置
2002 年 3 月	東洋大学短期大学閉校
4 月	京北商業高等学校を京北学園白山高等学校に改称
2004 年 4 月	法科大学院（専門職大学院法務研究科）を設置
2005 年 4 月	朝霞キャンパスにライフデザイン学部を設置 白山キャンパスで文系 5 学部の一貫教育開始
2006 年 4 月	大手町サテライト開設、福祉社会デザイン研究科を設置 白山第 2 キャンパス開設（法科大学院を同キャンパスに移転）
2007 年 4 月	学際・融合科学研究科を設置

1. 法人の概要

年 月	事 項
2009 年 4 月	工学部を再編し理工学部を設置、川越キャンパスに総合情報学部を設置 国際地域学部、国際地域学研究科を白山第2キャンパスに移転
2011 年 4 月	学校法人京北学園を法人合併（京北高等学校、京北中学校、京北学園白山高等学校、京北幼稚園が併設校となる） 総合スポーツセンター開設
2012 年 11 月	東洋大学創立125周年記念式典を挙げる
2013 年 4 月	板倉キャンパスに食環境科学部を設置 国際地域学部・国際地域学研究科・法科大学院を白山キャンパスに移転
9 月	附属姫路高等学校創立50周年記念式典を挙げる
2014 年 4 月	工学研究科を再編し、理工学研究科を設置 附属姫路中学校開設
9 月	文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援タイプB（グローバル化牽引型）」採択
2015 年 3 月	附属牛久高等学校創立50周年記念式典を挙げる
4 月	附属牛久中学校開設 京北中学校と京北高等学校を東洋大学京北中学高等学校に校名変更（男女共学附属校となる）、新校舎（旧白山第2キャンパス）に移転
2016 年 4 月	総合情報学研究科、食環境科学部を設置 京北学園白山高等学校を休校
2017 年 4 月	赤羽台キャンパス開設（情報連携学部、情報連携学研究科を設置） 国際地域学部を改組し国際学部、国際観光学部を設置
2018 年 4 月	福祉社会デザイン研究科を改組し、社会福祉学研究科、ライフデザイン学研究科を設置 国際地域学研究科を改組し、国際学研究科、国際観光学研究科を設置

1. 法人の概要



TOYO UNIVERSITY

(4) 学校・学部・学科等の学生数等

①学部(第1部)

(単位:人)

学部・学科(専攻)	入学定員数	収容定員数	学生数	入学者数		卒業者数	
				4月入学	10月入学	9月卒業	3月卒業
文学部	哲学科	100	400	437	102		96
	東洋思想文化学科	100	400	444	97		104
	日本文学文化学科	133	599	657	137		211
	英米文学科	133	532	577	131		137
	英語コミュニケーション学科		100	122			107
	史学科	133	532	551	137		129
	教育学科	150	600	601	148		149
	(人間発達専攻)	(100)	(400)	(413)	(100)		(104)
	(初等教育専攻)	(50)	(200)	(188)	(48)		(45)
	国際文化コミュニケーション学科	100	300	336	102		
経済学部	計	849	3,463	3,725	854		933
	経済学科	250	1,000	1,102	250		7
	国際経済学科	183	732	794	186		3
	総合政策学科	183	732	815	182		8
経営学部	計	616	2,464	2,711	618		18
	経営学科	316	1,264	1,354	319		14
	マーケティング学科	150	600	665	150		5
	会計ファイナンス学科	216	864	942	220		6
法学部	計	682	2,728	2,961	689		25
	法律学科	250	1,000	1,115	255		11
	企業法学科	250	1,000	1,123	248		11
	計	500	2,000	2,238	503		22
社会学部	社会学科	150	600	670	153		151
	社会文化システム学科	150	600	654	149		153
	メディアコミュニケーション学科	150	600	675	154		157
	社会心理学科	150	600	642	155		149
	社会福祉学科	150	600	617	148		157
	計	750	3,000	3,258	759		767
理工学部	機械工学科	180	720	765	183		17
	生体医工学科	113	452	463	113		1
	電気電子情報工学科	113	452	492	107		4
	応用化学科	146	584	597	145		2
	都市環境デザイン学科	113	452	466	114		3
	建築学科	146	584	650	150		13
	計	811	3,244	3,433	812		40
国際地域学部	国際地域学科		290	374			10
	(国際地域専攻)		(180)	(240)			(4)
	(地域総合専攻)		(110)	(134)			(6)
	国際観光学科		200	244			2
	計		490	618			12
国際学部	グローバル・イノベーション学科	100	300	283	86	13	
	国際地域学科	290	870	870	293		
	(国際地域専攻)	(210)	(630)	(639)	(213)		
	(地域総合専攻)	(80)	(240)	(231)	(80)		
	計	390	1,170	1,153	379	13	
国際観光学部	国際観光学科	366	1,098	1,120	373		
生命科学部	生命科学科	113	452	455	112		6
	応用生物科学科	113	452	455	113		5
	計	226	904	910	225		11
ライフデザイン学部	生活支援学科	216	864	909	214		1
	(生活支援学専攻)	(116)	(464)	(518)	(117)		(1)
	(子ども支援学専攻)	(100)	(400)	(391)	(97)		(0)
	健康スポーツ学科	180	720	745	184		3
	人間環境デザイン学科	160	640	707	160		2
	計	556	2,224	2,361	558		6
総合情報学部	総合情報学科	260	1,040	1,152	268		4
食環境科学部	食環境科学科	120	480	494	117		1
	(フードサイエンス専攻)	(70)	(280)	(276)	(66)		(0)
	(スポーツ・食品機能専攻)	(50)	(200)	(218)	(51)		(1)
	健康栄養学科	100	400	393	98		0
	計	220	880	887	215		1
情報連携学部	情報連携学科	400	1,200	1,176	390	6	
合 計		6,626	25,905	27,703	6,643	19	139
							6,081

※ 学生数は2019年5月1日付の数

※ 文学部英語コミュニケーション学科は国際学部グローバル・イノベーション学科に再編

※ 国際地域学部国際地域学科は国際学部国際地域学科に、国際地域学部国際観光学科は国際観光学部へ再編

※ 経済学部経済学科の卒業生数(3月卒業)に3年次卒業生1人を含む

1. 法人の概要

(4) 学校・学部・学科等の学生数等

②学部(第2部)

(単位:人)

学部・学科(専攻)		入学定員数	収容定員数	学生数	入学者数		卒業者数	
					4月入学	10月入学	9月卒業	3月卒業
文学部	東洋思想文化学科	30	120	131	29			22
	日本文学文化学科	50	230	250	45			62
	教育学科	40	160	161	38			36
	計	120	510	542	112			120
経済学部	経済学科	150	600	640	149		11	120
経営学部	経営学科	110	440	468	110		9	101
法学部	法律学科	120	480	506	123		6	102
社会学部	社会学科	130	520	549	128			117
	社会福祉学科	50	195	180	48			41
	計	180	715	729	176			158
合 計		680	2,745	2,885	670		26	601

第1部・第2部 合計	7,306	28,650	30,588	7,313	19	165	6,682
------------	-------	--------	--------	-------	----	-----	-------

※ 学生数は2019年5月1日付の数

※ 社会学部社会福祉学科の収容定員数に3年次編入学定員10人を含む(2019年度から廃止)

③通信教育課程

(単位:人)

学部・学科		入学定員数	収容定員数	学生数	入学者数		卒業者数	
					4月入学	10月入学	9月卒業	3月卒業
文学部	国文学科			7			0	2
	日本文学文化学科		2,000	329			14	26
法学部	法律学科		2,000	127			2	6
合 計			4,000	463			16	34

※ 学生数は2019年5月1日付の数

※ 文学部国文学科は文学部日本文学文化学科に名称変更

※ 文学部、法学部は2018年度から学生募集停止

④附属高等学校等

(単位:人)

高等学校	入学定員数	収容定員数	生徒数	入学者数	卒業者数
附属姫路高等学校	600	1,800	1,062	335	373
附属牛久高等学校	535	1,605	1,625	527	526
東洋大学京北高等学校	250	750	800	321	204
京北学園白山高等学校					
合 計	1,385	4,155	3,487	1,183	1,103

中学校	入学定員数	収容定員数	生徒数	入学者数	卒業者数
附属姫路中学校	60	180	175	59	58
附属牛久中学校	70	210	161	47	55
東洋大学京北中学校	120	360	366	112	110
合 計	250	750	702	218	223

幼稚園	入学定員数	収容定員数	園児数	入園者数	卒園者数
京北幼稚園	35	105	108	38	32

附属高等学校等 合計	1,670	5,010	4,297	1,439	1,358
------------	-------	-------	-------	-------	-------

※ 生徒数・園児数は2019年5月1日付の数

※ 附属姫路高等学校の募集定員は400人

※ 京北学園白山高等学校は2014年度から生徒募集停止、2016年度から休校

1. 法人の概要

(4) 学校・学部・学科等の学生数等

⑤ 修士・博士前期課程

(単位: 人)

研究科・専攻		入学定員数	収容定員数	学生数	入学者数		修了者数	
					4月入学	10月入学	9月修了	3月修了
文学研究科	哲学専攻	5	10	9	3			4
	インド哲学仏教学専攻	4	8	6	2			3
	日本文学文化専攻	10	20	16	8		1	3
	中国哲学専攻	4	8	5	2			2
	英文学専攻	5	10	4	3			1
	史学専攻	6	12	7	1			4
	教育学専攻	20	40	10	5			3
	国際文化コミュニケーション専攻	10	10	5	5			
	英語コミュニケーション専攻		10	4				2
	計	64	128	66	29		1	22
社会学研究科	社会学専攻	10	20	10	4			6
	社会心理学専攻	12	24	15	7			5
	福祉社会システム専攻	20	40	6	3	4		2
	計	42	84	31	14	4		13
法学研究科	私法学専攻	10	20	9	6			3
	公法学専攻	10	20	9	4			5
	計	20	40	18	10			8
経営学研究科	経営学・マーケティング専攻	22	22	8	8		0	
	経営学専攻		10	7				7
	ビジネス・会計ファイナンス専攻	28	48	41	20	0	2	15
	マーケティング専攻		10	7			1	5
	計	50	90	63	28	0	3	27
理工学研究科	生体医工学専攻	18	36	21	9	0	0	12
	応用化学専攻	12	24	24	10	1	0	13
	機能システム専攻	15	30	28	16	0	0	12
	電気電子情報専攻	11	22	13	4	1	0	7
	都市環境デザイン専攻	8	16	9	5	0	0	3
	建築学専攻	14	28	27	14	2	1	10
	計	78	156	122	58	4	1	57
経済学研究科	経済学専攻	10	20	22	9		0	10
	公民連携専攻	30	60	46	22	3	3	15
	計	40	80	68	31	3	3	25
国際学研究科	国際地域学専攻	15	30	19	4	4		6
国際観光学研究科	国際観光学専攻	15	30	18	8	3		6
国際地域学研究科	国際地域学専攻			14			12	2
	国際観光学専攻			4			1	1
	計			18			13	3
生命科学研究科	生命科学専攻	20	40	43	21	1	0	20
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	20	40	31	14			15
ライフデザイン学研究科	生活支援学専攻	10	20	14	7			7
	健康スポーツ学専攻	10	20	4	2			2
	人間環境デザイン専攻	10	20	6	5			1
	計	30	60	24	14			10
福祉社会デザイン研究科	社会福祉学専攻			1			0	0
	福祉社会システム専攻			3			0	1
	ヒューマンデザイン専攻			3			1	1
	計			7			1	2
学際・融合科学研究科	バイオ・ナノサイエンス融合専攻	12	24	17	10	0	0	6
総合情報学研究科	総合情報学専攻	15	30	25	11	1	1	11
食環境科学研究科	食環境科学専攻	10	20	13	5	0	0	7
情報連携学研究科	情報連携学専攻	20	40	4	1	0	0	2
合 計		451	892	587	258	20	23	240

※ 学生数は2019年5月1日付の数

※ 文学研究科英語コミュニケーション専攻は文学研究科国際文化コミュニケーション専攻に再編

※ 経営学研究科経営学専攻とマーケティング専攻は経営学研究科経営学・マーケティング専攻に再編

※ 国際地域学研究科国際地域学専攻は国際学研究科国際地域学専攻に再編

※ 国際地域学研究科国際観光学専攻は国際観光学研究科国際観光学専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻は社会福祉学研究科社会福祉学専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科福祉社会システム専攻は社会学研究科福祉社会システム専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻はライフデザイン学研究科生活支援学専攻、健康スポーツ学専攻に再編

1. 法人の概要

(4) 学校・学部・学科等の学生数等

⑥ 博士後期課程

(単位: 人)

研究科・専攻		入学定員数	収容定員数	学生数	入学者数		博士学位授与者数	
					4月入学	10月入学	9月修了	3月修了
文学研究科	哲学専攻	3	9	9	3			1
	インド哲学仏教学専攻	3	9	13	2			2
	日本文学文化専攻	3	9	4	0			0
	国文学専攻			3				1
	中国哲学専攻	3	9	5	1			0
	英文学専攻	3	9	2	0			0
	史学専攻	3	9	8	2			0
	教育学専攻	4	12	9	0			0
	国際文化コミュニケーション専攻	3	3	2	2			
	英語コミュニケーション専攻		10	1				0
	計	25	79	56	10			4
社会学研究科	社会学専攻	3	9	7	2			1
	社会心理学専攻	5	15	14	5			0
	計	8	24	21	7			1
法学研究科	私法学専攻	5	15	4	2			0
	公法学専攻	5	15	3	0			1
	計	10	30	7	2			1
経営学研究科	経営学・マーケティング専攻	4	4	0	0			
	経営学専攻		10	3			0	0
	ビジネス・会計ファイナンス専攻	3	13	5	0	0	0	1
	マーケティング専攻		6	0			0	0
	計	7	33	8	0	0	0	1
理工学研究科	生体医工学専攻	3	9	2	0	0	0	0
	応用化学専攻	3	9	2	0	0	0	0
	機能システム専攻	3	9	0	0	0	0	0
	電気電子情報専攻	3	9	3	0	0	0	0
	建築・都市デザイン専攻	3	9	2	0	0	0	0
	計	15	45	9	0	0	0	0
工学研究科	機能システム専攻			2			0	0
	環境・デザイン専攻			1			0	0
	情報システム専攻			1			0	0
	計			4			0	0
経済学研究科	経済学専攻	3	9	7	3		0	0
国際学研究科	国際地域学専攻	5	10	6	2	3		
国際観光学研究科	国際観光学専攻	3	6	3	0	1		
国際地域学研究科	国際地域学専攻		5	8			1	2
	国際観光学専攻		3	6			1	0
	計		8	14			2	2
生命科学研究科	生命科学専攻	4	12	7	1	0	2	0
社会福祉学研究科	社会福祉学専攻	5	10	9	4		0	
ライフデザイン学研究科	ヒューマンライフ学専攻	5	10	7	3			
	人間環境デザイン専攻	4	8	0	0			
	計	9	18	7	3			
福祉社会デザイン研究科	社会福祉学専攻		5	19			0	1
	ヒューマンデザイン専攻		5	14			0	1
	人間環境デザイン専攻		4	1			1	
	計		14	34			1	2
学際・融合科学研究科	バイオ・ナノサイエンス融合専攻	4	12	8	1	0	0	0
総合情報学研究科	総合情報学専攻	3	6	12	3	0	0	
食環境学研究科	食環境学専攻	2	4	5	1	0	0	
情報連携学研究科	情報連携学専攻	4	4	0	0	0	0	
合 計		107	324	217	37	4	5	11

修士・博士前期課程・博士後期課程 合計	558	1,216	804	295	24	28	251
---------------------	-----	-------	-----	-----	----	----	-----

※ 学生数は2019年5月1日付の数

※ 文学研究科国文学専攻は文学研究科日本文学文化専攻に名称変更

※ 文学研究科英語コミュニケーション専攻は文学研究科国際文化コミュニケーション専攻に再編

※ 経営学研究科経営学専攻とマーケティング専攻は経営学研究科経営学・マーケティング専攻に再編

※ 工学研究科は理工学研究科に再編

※ 国際地域学研究科国際地域学専攻は国際学研究科国際地域学専攻に再編

※ 国際地域学研究科国際観光学専攻は国際観光学研究科国際観光学専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科社会福祉学専攻は社会福祉学研究科社会福祉学専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科ヒューマンデザイン専攻はライフデザイン学研究科ヒューマンライフ学専攻に再編

※ 福祉社会デザイン研究科人間環境デザイン専攻はライフデザイン学研究科人間環境デザイン専攻に再編

※ 情報連携学研究科を新設

1. 法人の概要

(5) 役員等

2020年3月31日現在

総 長	福 川 伸 次
理 事 長	安 齋 隆
常務理事	大 熊 廣 一 寺 田 信 幸 油 井 貴 行

理 事	安 齋 隆 石 坂 康 倫	株式会社セブン銀行特別顧問 東洋大学京北中学高等学校校長、 京北学園白山高等学校校長 三八五流通株式会社代表取締役社長 東洋大学名誉教授
	泉 山 元 大 熊 廣 一 笠 原 喜 明 加 藤 建 二 金 子 律 子 小 村 明 小 平 信 因	事務局長 入試部長 生命科学部教授 国立大学法人政策研究大学院大学理事・客員教授 元資源エネルギー庁長官、 公益財団法人トヨタ財団会長 法学部教授 株式会社マーケティングエンタープライズ代表取締役 ライフデザイン学部教授 会議通訳者、信子フォーラムジャパン代表 元外務省外務審議官、日本郵便株式会社監査役 東洋大学学長 理工学部教授 株式会社データビジネスサプライ代表取締役会長 株式会社G・C相談役 国際学部教授 元株式会社日立製作所副社長、 株式会社リコー社外取締役 元金光学園高等学校教員 南国商事株式会社代表取締役会長 株式会社東亜光学研究所代表取締役

※定員数:17名以上23名以内、現員数:23名
※任 期:2018年12月7日～2021年12月6日
(寄附行為第5条第2項の理事を除く)

監 事	佐 藤 正 俊 清 水 哲 雄 武 田 勇 蔵 田 中 哲 夫	元明治安田生命保険相互会社常任監査役 元株式会社盛永組常務取締役 八重洲監査法人理事長 元日本公認会計士協会事務総局長
-----	--	--

※定員数:4名、現員数:4名
※任 期:2018年10月2日～2021年10月1日

顧問	井 上 進 小 林 栄 三 清 水 潔 松 尾 友 矩
----	--------------------------------------

顧問(学術研究)	ケント アイリング カルダー マハティール ビン モハマド
----------	----------------------------------

評 議 員

朝 野 勇次郎	株式会社東洋コンサル代表取締役、 株式会社農口尚彦研究所代表取締役社長 国際学部長 株式会社セブン銀行特別顧問 国際観光学部長 DCM ホールディングス株式会社代表取締役社長兼COO 理工学部長 株式会社第一エージェンシー代表取締役社長 株式会社コンプリート・プロダクト代表取締役 法学部長 全国高等学校家庭クラブ連盟事務局次長 元アイ・エム・アイ株式会社取締役 東洋大学名誉教授 理工学部教授 東洋大学附属牛久中学校・高等学校校長 社会学部長 文学部長 公益社団法人経済同友会常務理事 経済学部長 オーディエーエ株式会社取締役会長 入試部長 板倉事務部板倉事務課長 京北幼稚園園長 埼玉県川越市長 株式会社菊田靴店代表取締役社長 司法書士 日本商工会議所常務理事 群馬県邑楽郡板倉町町長 元資源エネルギー庁長官、公益財団法人トヨタ財団会長 弁護士 一般社団法人ニューメディアリスク協会理事 情報連携学部長 東京都板橋区長 東京東信用金庫会長 グローブシップ株式会社相談役 明治安田生命保険相互会社取締役会長代表執行役 元外務省外務審議官、日本郵便株式会社監査役 徳島県旅行業協会顧問 株式会社ダニエル代表取締役 一般社団法人日本機械学会フェロー 塚本商事機械株式会社代表取締役社長 総合情報学部長 株式会社データビジネスサプライ代表取締役会長 文学部教授 株式会社G・C 相談役 経営学部長 東京都文京区長 生命科学部長 株式会社社心と相談役 国際学部教授 東洋大学附属姫路中学校・高等学校校長 朝霞事務部次長 東京都北区長 食環境科学部長 株式会社高知放送特別顧問 学生部学生支援課長 元東洋大学附属姫路高等学校教頭、元姫路獨協大学職員 株式会社平成PC社主 ライフデザイン学部長 元金光学園高等学校教員 元明治安田生命保険相互会社専務取締役、 元土佐中学・高等学校校長兼学校法人土佐高等学校専務理事 株式会社東城代表取締役会長 株式会社寿屋珈琲飲料社会長
荒 卷 俊 也 安 齋 隆 飯 嶋 好 彦 石 黒 靖 規 石 田 哲 朗 石 田 正 彦 泉 重 二 井 上 貴 也 今 成 昭 昭 井 村 睦 昭 宇田川 晴 義 浦 江 真 人 遠 藤 隆 二 大 島 尚 稔 大豆生田 稔 岡 野 貞 彦 小 川 芳 樹 織 田 守 彦 加 藤 建 二 叶 内 孝 正 川 合 善 明 菊 田 廣 文 喜 成 清 重 久 貝 卓 実 栗 原 信 因 小 平 邦 春 後 藤 恒 夫 小 坂 村 健 坂 本 健 澁 谷 哲 一 鈴木 貞一郎 鈴木 伸 弥 高 野 紀 元 高 橋 嘉 一 高 橋 保 一 田 口 裕 也 塚 本 正 進 土 田 賢 省 東 郷 武 巧 中 里 巧 平 中 村 広 太 長 島 廣 修 成 澤 一 成 鳴 海 信 二 西 村 進 子 島 俊 雄 橋 本 直 美 長谷川 直 美 花 川 與 惣 太 林 清 半 田 久 米 夫 前 田 孝 彦 松 永 安 彦 松 野 浩 史 水 村 容 子 森 田 重 則 山 本 芳 夫	

※定員数:51名以上63名以内、現員数:62名
※任 期:2018年11月27日～2021年11月26日
(寄附行為第21条第2項第2号のうち職務上の評議員及び第3号から第5号の評議員を除く)

1. 法人の概要

(6) 教職員数

(単位:人)

	専任教員							非常勤 講師	専任職員		
	教授	准教授	講師	助教	教諭	助手	計		職員	嘱託	計
東 洋 大 学	435	199	70	64	1	8	777	1,222	414	109	523

	専任教諭			非常勤 教諭	専任職員		
	職員	嘱託	計		職員	嘱託	計
附 属 姫 路 高 等 学 校	70			19	4	8	12
附 属 姫 路 中 学 校	12			4			
附 属 牛 久 高 等 学 校	79			29	6	2	8
附 属 牛 久 中 学 校	13			3			
東洋大学京北高等学校	49			34	6	2	8
東洋大学京北中学校	21			11			
京 北 幼 稚 園	7			0	0	0	0
計	251			100	16	12	28
合 計	1,028			1,322	430	121	551

2019年5月1日現在

1. 法人の概要

(7) キャンパス等

白山キャンパス

- 文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部、国際地域学部
国際学部、国際観光学部
 - 文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経営学研究科
経済学研究科(経済学専攻)、国際学研究科、国際観光学研究科
国際地域学研究科、社会福祉学研究科
福祉社会デザイン研究科(社会福祉学専攻、福祉社会システム専攻)
 - 通信教育部
- 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
- ・都営地下鉄三田線「白山」駅
A3出口から「正門・南門」まで徒歩5分
A1出口から「西門」まで徒歩5分
 - ・都営地下鉄三田線「千石」駅
A1出口から「正門・西門」まで徒歩7分
 - ・東京メトロ南北線「本駒込」駅
1番出口から「正門・南門」まで徒歩5分
 - ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅
1番出口から「正門・南門」まで徒歩15分
 - ・JR「巣鴨」駅
南口から「正門・西門」まで徒歩20分
都営バス10分(「浅草寿町」行「東洋大学前」下車)
- ◆土地 36,411.67㎡(借地含む)
 - ◆建物 112,711.79㎡

川越キャンパス

- 理工学部、総合情報学部
 - 理工学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科
- 〒350-8585 埼玉県川越市鯨井2100
- ・東武東上線「鶴ヶ島」駅 東口から「新西門」まで徒歩10分
- ◆土地 286,990.00㎡(借地含む)
 - ◆建物 77,391.40㎡

朝霞キャンパス

- ライフデザイン学部
 - ライフデザイン学研究科、福祉社会デザイン研究科 (ヒューマン
デザイン専攻、人間環境デザイン専攻)
- 〒351-8510 埼玉県朝霞市岡48-1
- ・東武東上線「朝霞台」駅 北口から徒歩10分
 - ・JR「北朝霞」駅 東口から徒歩10分
- ◆土地 69,774.00㎡
 - ◆建物 32,797.26㎡

板倉キャンパス

- 生命科学部、食環境科学部
 - 生命科学研究科、食環境科学研究科
- 〒374-0193 群馬県邑楽郡板倉町泉野1-1-1
- ・東武日光線「板倉東洋大前」駅 西口から徒歩10分
- ◆土地 331,963.00㎡
 - ◆建物 34,279.45㎡

赤羽台キャンパス

- 情報連携学部
 - 情報連携学研究科
- 〒115-0053 東京都北区赤羽台1-7-11
- ・JR「赤羽」駅 西口から「正門」まで徒歩8分
 - ・東京メトロ南北線・埼玉高速鉄道「赤羽岩淵」駅
2番出口から「正門」まで徒歩12分
- ◆土地 40,605.81㎡
 - ◆建物 18,486.74㎡

総合スポーツセンター

- 〒174-0053 東京都板橋区清水町92-1
- ・都営地下鉄三田線「板橋本町」駅 A2出口から徒歩7分
- ◆土地 20,705.93㎡
 - ◆建物 16,112.49㎡

大手町サテライト

- 経済学研究科(公民連携専攻)
- 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル1F
- ・JR「東京」駅 徒歩5分
 - ・東京メトロ東西線「大手町」駅 B3出口から徒歩1分
 - ・東京メトロ半蔵門線、東京メトロ丸の内線「大手町」駅
A5出口から徒歩2分
 - ・都営地下鉄三田線、東京メトロ千代田線「大手町」駅
徒歩5分
- ◆面積 235.22㎡(賃借)

附属姫路中学校・高等学校

- 〒671-2201 兵庫県姫路市書写1699
- ・JR「姫路」駅 北口からバスで約25分
(「東洋大学姫路高校」下車)
- ◆土地 108,098.79㎡(借地含む)
 - ◆建物 22,169.30㎡

附属牛久中学校・高等学校

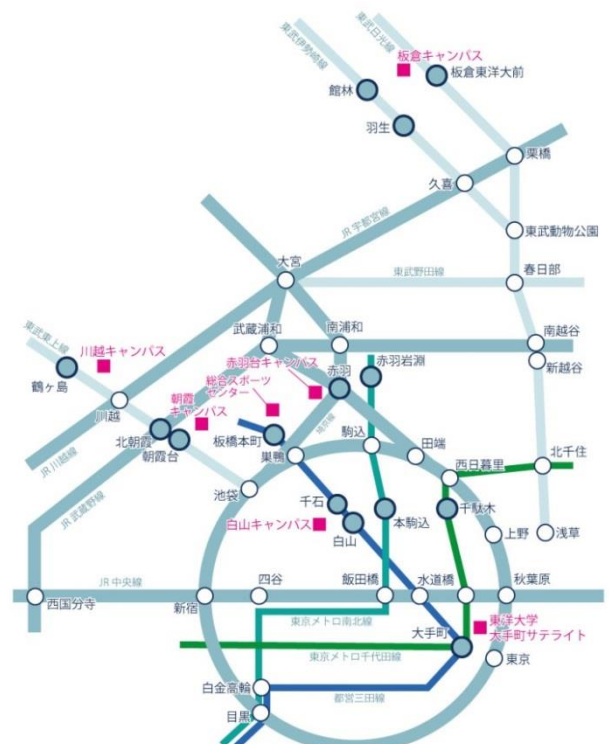
- 〒300-1211 茨城県牛久市柏田町1360-2
- ・JR「牛久」駅 東口から徒歩約20分
- ◆土地 76,112.46㎡(借地含む)
 - ◆建物 28,145.36㎡

東洋大学京北中学校・高等学校

- 〒112-8607 東京都文京区白山2-36-5
- ・都営地下鉄三田線「白山」駅 A1出口から徒歩6分
 - ・東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口から徒歩10分
 - ・東京メトロ丸の内線「茗荷谷」駅 徒歩14分
 - ・東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1番出口から徒歩19分
- ◆土地 18,571.00㎡
 - ◆建物 19,009.27㎡

京北幼稚園

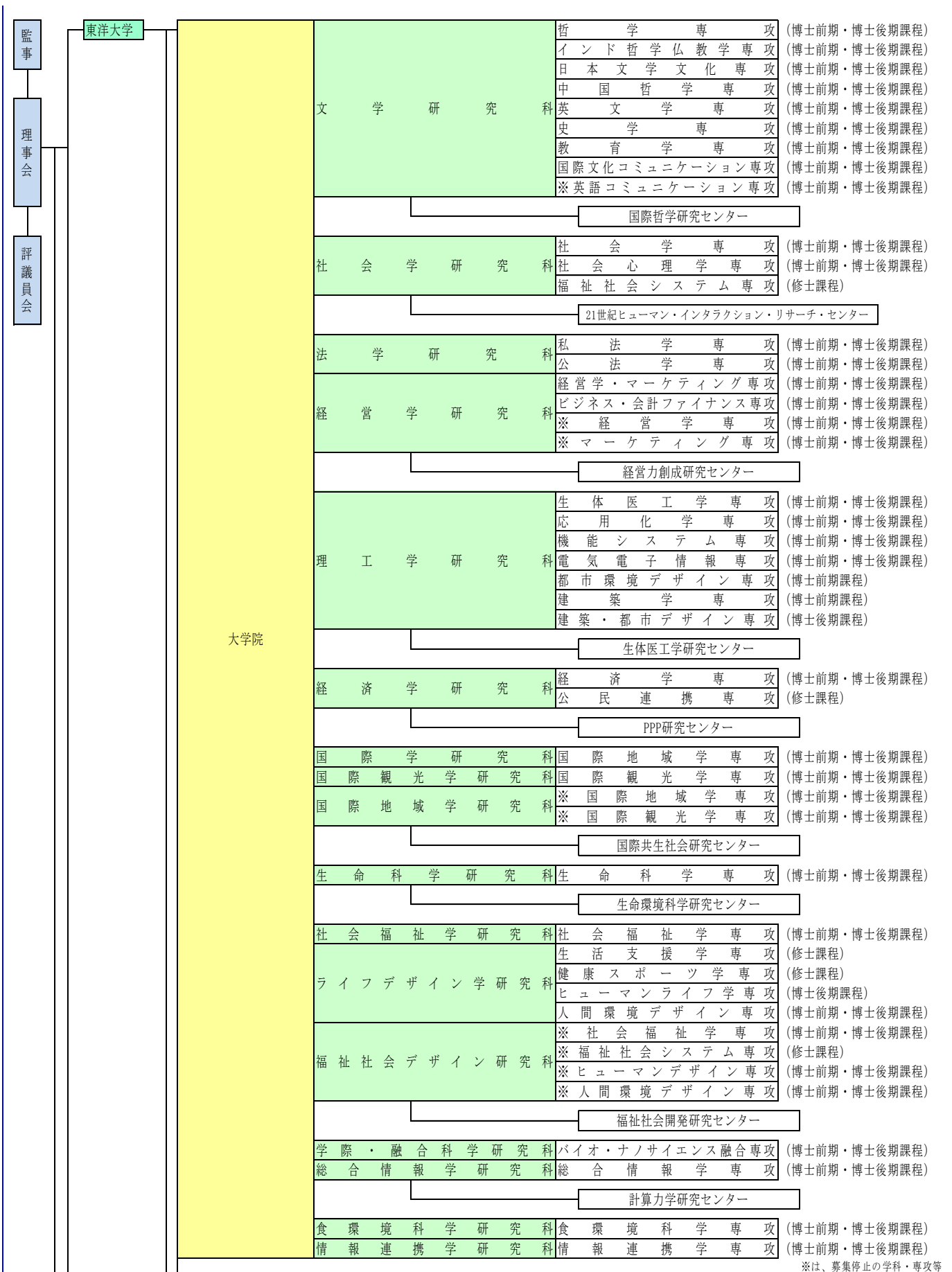
- 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-13-5
- ・都営地下鉄三田線「千石」駅 A1出口から徒歩3分
 - ・JR「巣鴨」駅 南口から徒歩15分
 - ・東京メトロ南北線「本駒込」駅 1番出口から徒歩15分
- ◆土地 1,518.54㎡
 - ◆建物 739.39㎡



1. 法人の概要

(8) 組織図

2019年4月1日現在



※は、募集停止の学科・専攻等

1. 法人の概要



TOYO UNIVERSITY

学部	文学部 第1部	哲学
		東洋思想文化学科
		日本文学文化学科
		英米文学学科
		※英語コミュニケーション学科
		史学
	経済学部 第1部	教育学
		国際文化コミュニケーション学科
		経済学
	経営学部 第1部	国際経済学科
		総合政策学科
		経営学
	法学部 第1部	マーケティング学科
		会計ファイナンス学科
		法律学
	社会学部 第1部	企業法学科
		社会学
		社会文化システム学科
		メディアコミュニケーション学科
	理工学	社会心理学
		社会福祉学
		機械工学
		生体医工学
		電気電子情報工学科
		応用化学
	国際学	都市環境デザイン学科
		建築学
		グローバル・イノベーション学科
		国際地域学
		国際観光学
		※国際地域学
学部	国際観光学	※国際観光学
		生命科学
		応用生物科学
		生活支援学
		健康スポーツ学
		人間環境デザイン学
	総合情報学	総合情報学
		食環境科学
		食健康栄養学
		情報連携学
		東洋思想文化学科
		日本文学文化学科
	文学部 第2部	教育学
		経済学
		経営学
	経済学部 第2部	経営学
		法学
		社会学
	社会学部 第2部	社会福祉学
		※文学部日本文学文化学科
		※法学部法律学科
学術研究推進センター	附置研究所	人間科学総合研究所
		現代社会総合研究所
		東洋学研究所
		アジア文化研究所
		地域活性化研究所
		工業技術研究所
		ライフイノベーション研究所
	バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	
	アジアPPP研究所	
	井上円了研究センター	
	グローバル・イノベーション学研究センター	
	情報連携学術表裏連携機構	
学術研究推進センター	国際教育センター	
	社会貢献センター	
	井上円了記念博物館	
	教職センター	
	高等教育推進センター	
	IR室	
附属図書館	白山図書館	
	川越図書館	
	朝霞図書館	
	板倉図書館	

産学協同教育センター

※は、募集停止の学科・専攻等

1. 法人の概要



TOYO UNIVERSITY

	東洋大学附属姫路高等学校	
	東洋大学附属姫路中学校	
	東洋大学附属牛久高等学校	
	東洋大学附属牛久中学校	
	東洋大学京北高等学校	
	東洋大学京北中学校	
	※京北学園白山高等学校	
	京北幼稚園	
産官学連携推進センター		
内 部 監 査 室		
事務局	経 営 企 画 本 部 事 務 課	
	初 等 中 等 教 育 課	
	事 業 課	
	秘 書 室	
	総 務 部	
	総 務 課	
	広 報 課	
	人 事 部	
	人 事 課	
	管 財 部	
	管 財 課	
	経 理 部	
	財 務 課	
	経 理 課	
	学 長 室	
	学 長 事 務 課	
	国 際 部	
	国 際 課	
	教 務 部	全 学 学 務 推 進 課
		教 職 支 援 課
		文 学 部 教 務 課
		経 済 学 部 教 務 課
		経 営 学 部 教 務 課
		法 学 部 教 務 課
		社 会 学 部 教 務 課
		国 際 学 部 教 務 課
	国 際 観 光 学 部 教 務 課	
	大 学 院 教 務 課	
	研 究 推 進 部	
	研 究 推 進 課	
	産 官 学 連 携 推 進 課	
	学 生 部	
学 生 支 援 課		
入 試 部		
入 試 課		
就 職 ・ キ ャ リ ア 支 援 部		
就 職 ・ キ ャ リ ア 支 援 課		
川 越 事 務 部		
総 務 課		
教 学 課		
朝 霞 事 務 部		
朝 霞 事 務 課		
板 倉 事 務 部		
板 倉 事 務 課		
赤 羽 台 事 務 部		
赤 羽 台 事 務 課		
図 書 館 事 務 部		
図 書 館 事 務 課		
情 報 シ ス テ ム 部		
情 報 シ ス テ ム 課		
エ ク ス テ ン シ ョ ン 部		
エ ク ス テ ン シ ョ ン 課		
通 信 教 育 課		
社 会 連 携 推 進 室		
卒 業 生 ・ 浦 水 会 連 携 推 進 課		
募 金 課		
高 等 教 育 推 進 支 援 室		
大 学 評 価 支 援 室		
附 属 姫 路 中 学 校 ・ 高 等 学 校 事 務 室		
附 属 牛 久 中 学 校 ・ 高 等 学 校 事 務 室		
京 北 事 務 室		

1. 法人の概要

(9) 学生生徒等納付金額一覧

学部（第1部）

(単位:円)

学部名	2017年度以降入学生		2016年度以前入学生	
	1年次	2年次以降	1年次	2年次以降
文学部(教育学科初等教育専攻を除く)	1,190,000	940,000	1,160,000	910,000
経済学部、経営学部、法学部、社会学部(社会学科・社会文化システム学科)	1,330,000	1,080,000	1,300,000	1,050,000
社会学部(社会福祉学科)	1,215,000	965,000	1,185,000	935,000
社会学部(メディアコミュニケーション学科)	1,200,000	950,000	1,170,000	920,000
社会学部(社会心理学科)	1,205,000	955,000	1,175,000	925,000
国際学部(国際地域学科地域総合専攻を除く)、国際観光学部	1,260,000	1,010,000		
国際地域学部(国際地域学科地域総合専攻を除く)			1,160,000	910,000
理工学部	1,595,000	1,345,000	1,565,000	1,315,000
総合情報学部	1,490,000	1,240,000	1,460,000	1,210,000
生命科学部、食環境科学部	1,590,000	1,340,000	1,560,000	1,310,000
ライフデザイン学部(生活支援学科・健康スポーツ学科)	1,290,000	1,040,000	1,260,000	1,010,000
ライフデザイン学部(人間環境デザイン学科)	1,470,000	1,220,000	1,440,000	1,190,000
情報連携学部	1,510,000	1,260,000		

※ 1年次の金額には、入学金250,000円を含む

※ 上記の金額には、委託されて徴収する費用(雨水会費5,000円、学生課外活動育成会費5,000円)を含む

学部（第2部・イブニングコース）

(単位:円)

学部名	2017年度以降入学生		2016年度以前入学生	
	1年次	2年次以降	1年次	2年次以降
文学部、経済学部、経営学部、法学部、社会学部	715,000	535,000	715,000	535,000
国際学部(国際地域学科地域総合専攻(イブニングコース))	715,000	535,000		
国際地域学部(国際地域学科地域総合専攻(イブニングコース))			715,000	535,000

※ 1年次の金額には、入学金180,000円を含む

※ 上記の金額には、委託されて徴収する費用(学生課外活動育成会費5,000円)を含む

大学院（博士前期・修士課程）

(単位:円)

研究科名	1年次	2年次以降
文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経済学研究科(公民連携専攻除く)、国際学研究科、国際観光学研究科	810,000	540,000
経営学研究科(ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コースを除く)、社会福祉学研究科		
ライフデザイン学研究科(人間環境デザイン専攻除く)		
国際地域学研究科、福祉社会デザイン研究科		540,000
経済学研究科(公民連携専攻)	1,170,000	900,000
経営学研究科(ビジネス・会計ファイナンス専攻中小企業診断士登録養成コース)	1,420,000	1,150,000
ライフデザイン学研究科(人間環境デザイン専攻)	880,000	610,000
理工学研究科、生命科学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科、食環境科学研究科、情報連携学研究科	1,070,000	800,000

※ 本学の学部(通信教育課程を除く)から大学院へ進学する場合は、入学金を免除

※ 1年次の金額には、入学金270,000円を含む

大学院（博士後期課程）

(単位:円)

研究科名	1年次	2年次以降
文学研究科、社会学研究科、法学研究科、経営学研究科、経済学研究科、国際学研究科、国際観光学研究科	790,000	520,000
社会福祉学研究科、ライフデザイン学研究科(人間環境デザイン専攻除く)		
国際地域学研究科、福祉社会デザイン研究科		520,000
ライフデザイン学研究科(人間環境デザイン専攻)	860,000	590,000
理工学研究科、生命科学研究科、学際・融合科学研究科、総合情報学研究科、食環境科学研究科、情報連携学研究科	1,020,000	750,000

※ 本学の学部(通信教育課程を除く)から大学院へ進学する場合は、入学金を免除

※ 本学の大学院博士前期課程から博士後期課程へ進学する場合は、入学金を免除

※ 1年次の金額には、入学金270,000円を含む

通信教育課程

(単位:円)

学部名	2016～2017年度入学生	2015年度以前入学生
文学部、法学部	100,000	80,000

※ 2018年度から学生募集停止

附属高等学校等

(単位:円)

学校名	1年次	2年次	3年次
附属姫路高等学校	1,018,800	460,800	460,800
附属姫路中学校	1,066,800	700,800	600,800

※ 1年次の金額には、入学時納入金を含む

※ 上記の金額には、委託されて徴収する費用や修学旅行等の積立金を含む

(単位:円)

学校名	1年次	2年次	3年次
附属牛久高等学校	1,043,800	633,400	585,400
附属牛久中学校(2019年度入学生)	1,211,800	801,400	713,400
附属牛久中学校(2017・2018年度入学生)	1,199,800	789,400	705,400

※ 1年次の金額には、入学時納入金を含む

※ 上記の金額には、委託されて徴収する費用や修学旅行等の積立金を含む

(単位:円)

幼稚園名	年少	年中	年長
京北幼稚園	446,000	336,000	336,000

※ 年少の金額には、入園時納入金を含む

(単位:円)

学校名	1年次	2年次	3年次
京北高等学校(2019年度入学生)	1,094,000	800,000	748,000
京北高等学校(2018年度以前入学生)	1,094,000	800,000	744,000
京北中学校	1,118,000	864,000	814,000

※ 1年次の金額には、入学時納入金を含む

※ 上記の金額には、委託されて徴収する費用や修学旅行等の積立金を含む

2. 事業の概要

(1) 主な事業計画の状況

新しい日本の形成に貢献する見地に立ち、4つのC(Creation of New Value, Commitment to Globalization, Challenge for Innovation, Contribution to Society)の実践による教育、研究機能の強化を図り、健全経営を維持すべく、様々な施策に取り組んでまいりました。

Creation of New Value

■学校法人東洋大学中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」を策定

「学校教育法等の一部を改正する法律」(令和元年法律第11号)が公布され、これに係る「私立学校法」の一部改正(2020年4月1日施行)に伴い、2020年3月に本法人及び各設置校の事業に関する学校法人東洋大学中期計画「TOYO GRAND DESIGN 2020-2024」を策定しました。

本計画は、「地球社会の明るい未来を拓く」をキーコンセプトに、研究、教育、社会貢献・社会連携活動及びその他の事業について、2020年度以降の中期的な計画を定めたものです。「新しい価値の創造」を要諦とした研究活動の高度化、研究の高度化を起点とした「明るい未来を担う人材を育てる」教育の高度化、そして研究教育活動の高度化を契機とした「より多くの人に明るい未来を届ける」社会貢献・社会連携活動の強化によって、学校法人及び各設置校としての役割を果たし社会に貢献することを、100余りの目標によって示しました。

これまでも、各設置校の発展と連携を目指した「総合学園計画」(2011年)、大学のより一層のグローバル化を目指した「TOYO GLOBAL DIAMONDS 構想(TGD 構想)」(2014年)、大学が地球社会の未来を拓く存在となることを目標とした「Beyond2020」(2016年)など、学校法人東洋大学及び東洋大学には数種の中期的計画がありましたが、今回新たに学校法人中期計画を策定したのは、これからの社会に向けて果たすべき学校法人及び設置校の役割を問い直し、今後の活動の展望を描くためであり、従前の計画内容を取り込んだ包括的な計画として策定しました。大学における学部学科、研究科ごとの中期計画も「学校法人東洋大学中期計画」に包含されています。



■赤羽台キャンパスの新たな展開とキャンパス整備

2023年度に赤羽台キャンパスに設置予定の健康スポーツ科学部について、学科構成を変更し、「先端栄養科学科(仮称)」を追加すること、及びこれに伴い食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻の2023年度からの学生募集停止を、2019年11月25日開催の理事会において決定しました。赤羽台キャンパスの今後の学部学科・研究科専攻移転、新学部学科設置計画の概要は以下の通りです。

2021年:ライフデザイン学部及び関連する研究科専攻等(現:朝霞キャンパス)の赤羽台キャンパスへの移転
2023年:福祉社会デザイン学部(社会福祉学科、子ども支援学科、人間環境デザイン学科)、健康スポーツ科学部(健康スポーツ科学科、先端栄養科学科)を設置

【2021年度】			【2023年度】		
		入学定員			入学定員
社会学部(白山)	第1部社会福祉学科	150名	福祉社会デザイン学部(赤羽台)※	社会福祉学科	216名
ライフデザイン学部(赤羽台)	生活支援学科(生活支援学専攻)	116名		子ども支援学科	100名
	生活支援学科(子ども支援学専攻)	100名		人間環境デザイン学科	160名
	人間環境デザイン学科	160名	健康スポーツ科学部(赤羽台)※	健康スポーツ科学科	230名
ライフデザイン学部(赤羽台)	健康スポーツ学科	180名		先端栄養科学科	100名
食環境科学部(板倉)	食環境科学科(スポーツ・食品機能専攻)	50名			

※2020年3月現在設置構想中。新学部・学科の名称は仮称であり、計画内容は変更になる場合があります。

※新学部・学科の開設にともない、社会学部第1部社会福祉学科、ライフデザイン学部全学科、

食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻は、2023年度に募集を停止します。

◆社会学部第1部社会福祉学科の在学生の修学キャンパスは、2023年度から赤羽台キャンパスとなります。

◆食環境科学部食環境科学科スポーツ・食品機能専攻の在学生の修学キャンパスは、2024年度から赤羽台キャンパスとなります。

2. 事業の概要

赤羽台キャンパスのある東京都北区は23区で高齢化率が最も高い区です。ライフデザイン学部、また新学部は北区とも連携し、地域の課題解決につながる実践的な教育・研究を目指します。

福祉社会デザイン学部の設置にあたっては、学部学科の統合による福祉系教育体系の一本化、学部・学科、研究科・専攻の教育・研究体系の一体化、北区との全面的な連携による教育・研究の質向上等を目指します。また、ソフト・ハード両面での福祉の一大拠点とし、国内外、とりわけ「アジアのハブ大学」としてアジアに向けて福祉分野の知見を発信します。

健康スポーツ科学部の設置にあたっては、スポーツ系の学科・専攻の統合、「スポーツ」と「栄養」の連携による高度な健康科学の追求、「健康」と「福祉」の連携、「健康」と「情報」の連携等、総合的なアスリート支援体制の構築を目指します。また、これからの日本及び国際社会が抱える少子高齢化・人口減少といった諸問題に、スポーツ科学、栄養科学、健康科学等の研究成果によって貢献し、「スポーツの知の拠点」となることを目指します。

これら今後の移転、学部設置を見据え、2019年5月から赤羽台キャンパス新校舎の建設に着手しました。



建築家・隈研吾氏の設計による赤羽台新校舎完成予想図(2021年竣工予定)

■朝霞キャンパスの新たな展開とキャンパス整備

2020年3月16日開催の理事会において、ライフデザイン学部移転(2021年)後の朝霞キャンパスの事業展開について、以下の計画を決定しました。

- ・生命科学、食環境科学に関わる本学の学部学科・研究科専攻を2024年に朝霞キャンパスに集約
- ・板倉、川越の各キャンパスにある関係学部学科・研究科専攻を、朝霞キャンパス集約時に再編・改組
- ・再編・改組に向けた、朝霞キャンパス新棟の建設を含む整備

【2020年度】			【2024年度】		
		入学定員			入学定員
生命科学部 (板倉)	生命科学科	113名	生命科学部 (朝霞)	生命科学科	113名
	応用生物科学科	113名		生体医工学科<開設>※2	113名
理工学部 (川越)	生体医工学科	113名		生物資源学科<開設>※2	113名
食環境科学部 (板倉)	食環境科学科 (フードサイエンス専攻)※1	70名	食環境科学部 (朝霞)	食環境科学科	126名
	健康栄養学科	100名		フードデータサイエンス学科 <開設>	113名
				健康栄養学科	100名

2024年度<開設>の新学科は、2020年3月現在設置構想中。名称は仮称であり、計画内容は変更になる場合があります。

※1 食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻は、2024年度に募集を停止します。

※2 新学科の開設にともない、生命科学部応用生物科学科、理工学部生体医工学科は、2024年度に募集を停止します。

◆移転対象の学部学科(募集停止する学科を含む)の在学学生の修学キャンパスは、2024年度から朝霞キャンパスとなります。

現在の生命科学部(板倉)と理工学部生体医工学科(川越)を、新学科を含む新たな生命科学部へと再編し、朝霞キャンパスに移転します。入学生の多様化促進と連携教育によるカリキュラムの高度化、学問の垣根を超えたプロジェクト研究によるイノベーション、外部機関との共同研究・産学共創による高い研究能力の醸成、学際領域で活躍する優秀な若手研究者の積極的雇用等を目指し、新コース制による「広く、そして、深い教育」を実現します。

また、現在の食環境科学部食環境科学科フードサイエンス専攻、健康栄養学科(ともに板倉)を、新学科を含む新たな食環境科学部へと再編し、朝霞キャンパスに移転します。食に関わるあらゆる問題に対応する唯一の学問領域として、低環境負荷で持続可能な先駆的食環境産業の提案・開発・推進、データサイエンスを駆使し

2. 事業の概要

た食の偏在・ロスの解消、人間活動の高度化に対応した新しい栄養管理の提案・実現により、「食の高次化」「次世代の食」を提案・実現し、「健康寿命の延伸」を図ります。

■白山キャンパスでの新たな展開

2020年3月16日開催の理事会において、2021年4月に社会学部国際社会学科を設置することを決定しました。在日外国人数の急激な増加等にみられる日本社会の変化、環境破壊や紛争等国境を超える課題にみられる世界情勢の変化のなかで、多様性を積極的に活用し、課題を創造的に解決して「現場立脚型の「グローバル・シチズンシップ（地球市民としての資質・態度）」教育及び人材育成を目指します。これに伴い、同学部の社会文化システム学科は2021年度に募集停止します。

また、2021年4月に、大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修士課程を、大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程の「社会実践学コース」に改め、現3コースある大学院社会学研究科社会学専攻博士前期課程における学生の履修上の区分の一つに位置付け、4コースとすることを決定しました。これに伴い、2020年4月入学をもって大学院社会学研究科福祉社会システム専攻修士課程を募集停止します。

■国際学研究科グローバル・イノベーション学専攻 2020年4月開設へ向けた準備

本専攻は、イノベーションを通じて経済社会の発展に貢献しようとする起業家精神をもち、地球規模の全体最適を目指すグローバリズム実現のための諸課題を「グローバル」な視点で的確に捉え、更にその課題解決・改善のために既存のナレッジをこれまでと異なる視点や方法で新結合することにより、営利・非営利のあらゆる事業体の活動において「イノベーション」を創出できる、卓越したリーダーシップを備えた次世代リーダーを養成するため設置する大学院です。2020年4月の開設に向けて、準備を行いました。

【修士課程】		入学定員
国際学研究科	グローバル・イノベーション学専攻	10名

■東洋大学トップリーダー連携教育支援プログラムをスタート

2019年度から、新たに東洋大学トップリーダー連携教育支援プログラムをスタートしました。「実社会と連携した教育活動の必要性」を掲げ、企業のトップ、産官学の各界を代表するリーダー、学問領域における卓越した実績のある研究者を招聘する教育プログラムを各学部及び研究科で実施し、実践的・実学的な教育をさらに推進することで、今後も「哲学教育」「国際化」「キャリア教育」を多彩に展開していきます。

■組織運営の効率化と適正

2019年4月1日、事務局組織を改編し、総務部秘書課を総務部から独立し、「秘書室」としました。

2019年7月1日から施行された「健康増進法の一部を改正する法律」への対応として、建物内を全面禁煙としました。また、「東京都受動喫煙防止条例」により、大学においては、屋外で受動喫煙を防止するために必要な措置がとられた場所に、喫煙場所（特定屋外喫煙場所）を設置することができることから、白山キャンパスでは、屋外に特定屋外喫煙場所を設置しました。埼玉県及び群馬県には現時点で自治体による条例はありませんが、朝霞・川越・板倉の各キャンパスにおいても、白山キャンパス同様にキャンパス敷地内屋外に特定屋外喫煙場所を設置しました。

「学校教育法等の一部を改正する法律」（令和元年法律第11号）が公布され、これに係る「私立学校法」の一部改正（2020年4月1日施行）に伴い、「学校法人東洋大学寄附行為」の一部改正を行うとともに、学内諸規程の改正を行いました。

ペーパーレス化への取り組みとして、2020年度から、就学・進級手続をオンラインで行うことを決定し、運用開始に向けた準備を進めました。また、事務局においては、事務クライアントパソコンのノートパソコンへの移行が行われ、事務ネットワークVPNによる無線利用が開始されたことにより、会議等の場に事務クライアントパソコンを持参することが可能となり、会議運営についてペーパーレス化が一段と進みました。

2. 事業の概要

Commitment to Globalization

■【TOYO GLOBAL DIAMONDS】自走化計画を策定

スーパーグローバル大学創成支援事業により構築された取り組みが、文部科学省による財政支援終了後も自立しながら継続するよう自走化計画を策定しました。本学の自走化計画では、1.学内予算への内在化(中長期計画への反映による財源の確保)、2.寄付金の獲得、3.プログラムフィーの徴収、4.大学100%出資の事業法人からの支援の4つを柱に据え、TGD構想の持続発展性を確保します。

■ISAS2.0 Learning Badgeを獲得



ISAS2.0とは、国際大学協会(以下、IAU)が提供する高等教育機関の国際化に関する助言サービスです。

文部科学省のスーパーグローバル大学創成支援事業に採択された本学のTGD構想において、“外部評価の一環として、IAUによる国際戦略評価(ISAS)を実施し、外部専門家による評価や助言を得ること”としており、ISAS2.0をTGD構想の評価と国際通用性を高める手段として位置づけ、受審に向けて取り組んできました。

2018年5月にISAS2.0のプロセスを進めるためのISAS2.0運営委員会を学内に立ち上げ、約1年間の国際化にかかる自己点検を経て、2019年5月に「成果報告書」をIAUに提出しました。その後、2019年7月にIAUが設置した専門家パネルが本学を来訪し、現地調査を行い、本学の国際化に関する評価と助言を掲載した「最終報告書」を提出しました。

本学は、ISAS2.0のプロセスを完了した証としてのISAS2.0 Learning Badgeを獲得し、2019年11月にメキシコ合衆国プエブラ市でのIAU国際総会において授与式が開催されました。ISAS2.0の取り組みを通じて得た知見や経験を活かして、TGD構想の着実な実現に取り組むとともに、文部科学省によるスーパーグローバル大学創成支援事業の終了後も見据えた持続発展的な国際化を推進していく所存です。



Challenge for Innovation

■2019年度東洋大学重点研究推進プログラム



地球レベルの課題解決に貢献するとともに、大学のブランドとなり得る研究活動を重点的に支援する、学内公募型の研究助成制度「重点研究推進プログラム」では、IoT、AI、ビッグデータなど情報通信技術分野における革新的研究、医療・健康福祉分野での先進国をリードする研究、SDGsの達成に貢献する研究など重点課題を設定し、学内研究者による研究拠点、研究グループを公募しています。2019年度は、以下の4件が採択されました。

研究テーマ	研究代表者
持続可能なインフラの提案によりグローバルな協調の再構築に貢献する研究 ー「インフラメニュー」と「経済性・社会性評価アプリケーション」制作ー	根本祐二教授(総合政策学科)
開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現に関する研究 ーTOYO SDGs Global 2020-2030-2037ー	北脇秀敏教授(国際地域学科)
22世紀の世界哲学構築にむけて	河本英夫教授(哲学科)
つながりがある社会を支える価値と支援システムに関する研究	金子光一教授(社会福祉学科)

2. 事業の概要

■情報環境整備とセキュリティ対策

クラウド活用とBYOD 環境整備に関する主な取り組みとして、白山キャンパスの第1、第3及び特別会議室におけるビデオ会議環境整備を行うとともに、事務クライアントをノートパソコン化し、事務ネットワークVPNによる無線利用を開始しました。また、総合スポーツセンターにおける無線LAN環境を整備しました。

今後も、Society5.0に向けた情報環境の検討と実現への取り組み(BYOD、情報インフラとしてのPC教室の整備等)を計画的に進めてまいります。

Contribution to Society

■高等教育の就学支援新制度に認定



大学等における修学の支援に関する法律に基づき、2020年4月より、文部科学大臣により認定された場合に授業料等の減免や日本学生支援機構の給付型奨学金の支援が行われます。本学は、機関要件の確認申請を行い、2019年9月20日、文部科学省から、大学等における修学の支援に関する法律の各要件を満たしていることが認定されました。

■SDGs 推進連絡会の設置



本学として全学的にSDGs「Sustainable Development Goals(持続可能な開発目標)」を推進するために、竹村学長のもと、2019年12月にSDGs推進連絡会を設置しました。

推進連絡会のメンバーは以下のとおりです。

教学部門	学長
法人部門	教学担当常務
教育部門	教務部長
研究部門	研究推進部長、研究推進部事務部長
社会貢献部門	社会貢献センター長
国際貢献部門	国際共生社会研究センター長
広報部門	総務部広報担当部長
担当部署	学長室
外部アドバイザー	株式会社進研アド 田邊心技氏

推進連絡会のもと、THE 世界大学インパクトランキング(SDGs ランキング)へのエントリーや、東京都が計画中の大学との共同事業(共同研究)へ申請しました。

(2)トピックス

■大学院新研究科等の開設



2019年4月、以下の研究科等を開設しました。世界基準の専門的能力、人間的魅力も兼ね備えた、真のグローバル人材の育成を目指します。

【博士前期課程・修士課程】		入学定員
文学研究科	国際文化コミュニケーション専攻	10名
経営学研究科	経営学・マーケティング専攻	22名
【博士後期課程】		入学定員
文学研究科	国際文化コミュニケーション専攻	3名
経営学研究科	経営学・マーケティング専攻	4名
情報連携学研究科	情報連携学専攻	4名

2. 事業の概要

■シーナカリンウィロート大学代表团による表敬訪問

2019年4月26日、タイのシーナカリンウィロート大学代表团が本学を表敬訪問しました。シーナカリンウィロート大学は、師範学校として1949年に設立された国立の大学で、現在はバンコクとオンカラックにキャンパスを構え、社会科学や教育、医学や工学などの16の学部と5つのカレッジから成る総合大学です。

本学とも学問領域が共通する学科も多く見られることから、今後の協定締結を目指していきます。

■東京都北区との地域連携のためのプラットフォームを始動



2019年2月14日に締結した「東京都北区と学校法人東洋大学との包括協定推進に関する覚書」を受け、東京都北区と教育・研究に関わる連携事業や社会貢献・社会連携事業の推進に向けた協議を開始しました。2019年度は、2021年度に赤羽台キャンパスに移転するライフデザイン学部を中心として、「健康・スポーツ」、「子ども」、「高齢者・障害者」の3つの分野の協議会を開催し、一部連携事業を実施しました。

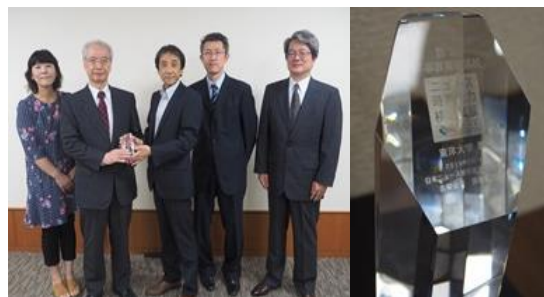


■日本ニュース時事能力検定協会より「時事教育推進校」として認定

東洋大学は日本ニュース時事能力検定協会より2018年度の時事教育推進校として認定されました。2019年7月2日に白山キャンパスで表彰式が行われ、特定非営利活動法人 日本ニュース時事能力検定協会 代表取締役社長の澤圭一郎氏より、竹村牧男学長へ認定のトロフィーが授与されました。

日本ニュース時事能力検定協会では、ニュース検定の団体受検を実施して広く時事問題学習に取り組み、優秀な成績を収めた団体を年度ごとに表彰しています。東洋大学では経済学部、社会学部、法学部をはじめ、多くの学科でニュース検定の受検を推進しており、この度の認定は「各学部でねらいを定め、継続的に取り組んでいる点」「他の全体受検を行っている大学と比較しての年間の合格率の高さ」が評価されたものです。

表彰式には、竹村学長とともに、新聞活用プロジェクトにおいてニュース時事能力検定に取り組む薬師寺克行教授、高井昌史教授、大谷奈緒子教授(いずれもメディアコミュニケーション学科)が出席しました。



■特別セミナー「大学の組織戦略とカリキュラムの国際化の課題」を開催

2019年7月3日、東洋大学白山キャンパス125記念ホールにおいて、東洋大学スーパーグローバル大学創成事業セミナーシリーズ2019 特別セミナー「大学の組織戦略とカリキュラムの国際化の課題」を開催しました。

本セミナーは、東洋大学が2018年より国際大学協会(IAU)による国際戦略に関する助言サービス(ISAS2.0: International Strategy Advisory Service)を受ける取り組みの一環で、IAUが組織する専門家パネル4名の本学訪問に併せて開催されました。本学は、SGU事業の残りの期間においてToyo Global Diamonds構想を着実に実現していくとともに、更にその先を見据えた教育研究の質の向上、学生のグローバル対応力育成のためのサステナブルな体制構築に取り組み、国際通用性の高いアジアのハブ大学を目指していきます。



■三重県度会郡玉城町と包括連携協定を締結



2019年7月22日、三重県度会郡玉城町と国際共生社会研究センターは、地域の活性化や人材育成のために包括連携協定を締結いたしました。当センターは、海外の大学とさまざまな包括・学術協定を締結してきましたが、国内では

玉城町が初めてとなります。本協定では、主に「学習・研究のための交流」「共同研究プロジェクトの実施」について連携をおこない、SDGsへの貢献を目指します。



2. 事業の概要

■中高大連携 課題発見型連携講座「未来の科学者育成プロジェクト」を開始

2019年7月、生命科学部と食環境科学部は、東洋大学京北中学高等学校と連携し、「未来の科学者育成プロジェクト」(代表者:後藤顕一教授〔食環境科学科〕[専門:初等中等における理科・科学・化学教育学、教材研究])を始動しました。本プロジェクトは、生命科学部と食環境科学部の5名の教員が、生物・微生物・食品・健康など多彩な研究テーマを設定。キックオフガイダンスを経て、自ら参加を希望する中学3年生を対象に、放課後の時間を活用し、約半年間に亘る複数回の実験を実施しました。実験には、京北中学高等学校の教員や大学生、大学院生も協力し、群馬県と東京都、大学と中学というハードルを、大学と中高の教員同士の密接な連携やテレビ会議システムによる遠隔実験指導等の活用により乗り越え、生徒はそれぞれが考えた答えのない課題に対し「自ら考え挑戦する」試行錯誤の実験体験を重ねました。



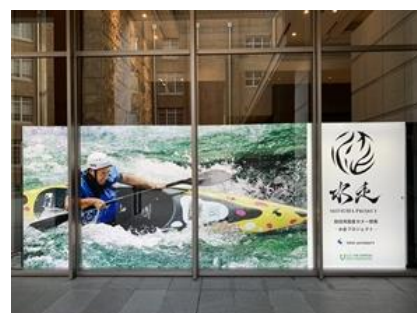
■『2019年日本留学 AWARDS』で部門大賞を受賞

『日本留学 AWARDS』は、一般財団法人日本語教育振興協会「日本語学校教育研究大会」主催の留学生の環境整備を目的に設立した賞で、日本語学校の教職員が留学生に勧めたい進学先アンケート結果を集計し、5部門ごとに東西2地区に分け、授賞対象を選出し、授賞式当日に各部門の入賞校から大賞校を発表、表彰するものです。本学は、2019年の〔私立大学文科系部門 東日本の部〕で「入賞」し、さらに、2019年8月3日の国立オリンピック記念青少年総合センターにおける表彰式において、〔私立大学文科系部門 東日本の部〕の「大賞」を受賞しました。同部門の大賞の受賞は2017年に続き2度目となります。



■文部科学省エントランス企画展示 競技用国産カヌー開発～水走プロジェクト～

2019年8月19日から9月20日まで、文部科学省エントランスにおいて、2017年8月に発表した競技用国産カヌー「水走」0号艇(コンセプト艇)実物の外装を一新して展示し、映像やパネルを用いて開発の取り組みを紹介しました。8月22日には、本学の研究開発責任者である望月修教授(生体医工学科)が、小・中学生や物理初学者を対象に「水走(みづは)」の開発にも応用したバイオミメティクスについて解説するセミナー「生物のすごさを科学で知る!」も開催しました。



■イノベーション・ジャパン 2019～大学見本市&ビジネスマッチング～東洋大学から3件の研究成果を出展



2019年8月29日、30日に東京ビッグサイト青海展示棟で開催された「イノベーション・ジャパン 2019～大学見本市&ビジネスマッチング～」に、東洋大学から組織展示とシーズ展示に研究成果を出展いたしました。

イノベーション・ジャパンは、研究成果を産業に結びつけるきっかけの場として、400を超える大学とベンチャー企業などが参加し、毎年2万人以上の企業関係者が来場する、国内最大規模の産学マッチングイベントです。全国の大学による多くのエントリーの中から、JSTによる厳正な審査を経て採用された研究成果が出展され、本学からは以下の研究成果が採用・出展となりました。

組織展示:出展テーマ《アスリートサポート》総合大学がもつ「知」の集積でスポーツと社会にイノベーション
責任者:寺田信幸教授(生体医工学科)
シーズ展示:出展テーマ《ライフサイエンス》農作物のブランド開発に向けた新品質管理法と装置開発
宮西伸光教授(食環境科学科)
シーズ展示:出展テーマ《防災》強化段ボールを使った組立・分解・廃棄の容易なポータブルトイレの開発
繁成剛教授(人間環境デザイン学科)

2. 事業の概要

■「世界最強チームから学ぶ競技力向上とコンディショニングのためのスポーツ現場と研究のコラボレーション法」を開催

2019年9月21日に東洋大学白山キャンパス125記念ホールにおいて、東洋大学ライフデザイン学部の教育推進プログラムのひとつとして、スポーツ医科学研究領域では世界的に活躍されている Patria Hume 教授を招聘し、「世界最強チームから学ぶ競技力向上とコンディショニングのためのスポーツ現場と研究のコラボレーション法」と題した講演会を開催しました。

■井上円了没後 100 周年記念企画

2019年は、東洋大学創立者・井上円了の没後 100 周年にあたります。これを記念して、井上円了没後 100 周年記念事業を展開しました。井上円了没後 100 周年記念国際シンポジウム「国際的視野から見た円了哲学」をはじめ、様々な展示会、公開講座、記念講演会の実施、書籍の発刊など、本学創立期のあゆみと井上円了が果たした役割の大きさを振り返りました。

■「女性活躍インデックス」法人ランキング 2019 記者発表／優秀企業表彰



2019年9月3日、学校法人東洋大学ダイバーシティ研究グループ(リーダー:松原聡教授(東洋大学副学長・総合政策学科))は、同研究グループが2017年に開発・公表した、企業や団体における女性の活躍を客観的に評価する指標「女性活躍インデックス」による 2019 年度の法人ランキング

記者発表／優秀企業表彰を行いました。発表会には、男女共同参画・女性活躍担当大臣の片山さつき氏にご来賓としてご出席いただき、ご挨拶をいただきました。3年目の発表を迎えるにあたり、2017年から2019年の3年通期での順位も公表し、株式会社ローソンを最優秀賞、イオンビッグ株式会社および株式会社パナソニックを優秀賞として顕彰。当日ご出席いただいた株式会社ローソン人事本部部長の柳田衣里氏、株式会社パナソニック執行役員兼エンゲージメント部部長の末久裕二氏から、それぞれの会社での女性活躍に関する取り組みをご紹介いただきました。



■東洋大学・東京東信用金庫 共同のグローバルシンポジウムを開催

2019年9月28日、本学白山キャンパス内の井上円了ホールにて、東洋大学と東京東信用金庫主催によるグローバルシンポジウムが開催されました。

東京東信用金庫と本学との繋がりは、2016年に結んだ産学連携協定から始まり、本学理工学部が中心となって「国産カヌー水走(MITSUHA)開発コンソーシアム」を発足するなど、連携を深めていました。今回のシンポジウムは、その連携をさらに深化させる目的で、山本聡教授(経営学研究科)を中心に企画・開催されました。

シンポジウムは福川伸次総長の挨拶から始まり、後援いただいた東京都からは、来賓としてお招きした小池都知事にご挨拶を賜りました。第一部では東京都産業労働局 土村武史商工部長より、「東京都の現状と中小企業振興施策」について、お話し頂きました。その後、浜野製作所の浜野慶一氏、久米繊維工業の久米信行氏、石川金網の石川幸男氏、華光の木田和寿氏の4人の経営者の方々から、多様な人材の採用、活用を実践しながらの事業成長の事例に関する貴重なご講演をいただきました。第二部では、山本教授がファシリテーターとなり、フロアディスカッションが行われました。閉会の挨拶は本学の卒業生でもある東京東信用金庫の澁谷哲一会長からご挨拶を賜り、大盛況のうちにお開きとなりました。東洋大学では東京都周辺地域における地域連携・産学連携のハブ大学になることを目指し、取り組みを進めていきたいと考えています。



2. 事業の概要

■東洋大学重点研究推進プログラム採択記念 2019 年度東洋大学国際共生社会研究センターシンポジウムを開催



東洋大学国際共生社会研究センターは、センターが進める研究プロジェクト『開発途上国における生活環境改善による人間の安全保障の実現－TOYO SDGs Global 2020-2030-2037－』が東洋大学重点研究推進プログラムに採択されたことを記念したシンポジウムを 2019 年 10 月 9 日に開催しました。

このシンポジウムは、今年度より新たに実施が決まった、東洋大学重点研究推進プログラムに、当該研究プロジェクトが採択されたことを記念し、そのキックオフとして、研究プロジェクトをより広く認知してもらうことを目的に実施したもので、3 年間の研究プロジェクト期間中にどのような方向で研究を進めていくか、どのような成果を期待しているのかについて、北脇秀敏センター長による概要説明の後、センターに所属する 5 名の研究員が発表を行うとともに、研究に関する質疑応答を行いました。このシンポジウムをきっかけに、研究活動、フィールドでの実践が活発化していくことを期待するところです。

■ブルガリア共和国大統領ルメン・ラデフ閣下による東洋大学特別講演会を開催

2019 年 10 月 23 日、ブルガリア共和国大統領ルメン・ラデフ閣下をお招きし、白山キャンパス 125 記念ホールで特別講演会を開催しました。約 300 名の学生が聴講するなか、ラデフ閣下はブルガリア共和国の現況や地球社会に関する考えを述べられ、学生の質問にはご自身の経験や見識を踏まえ丁寧に回答されました。

ラデフ閣下には、本学との交流に多大な功績を残してくださったことを讃え、東洋大学名誉博士称号を授与いたしました。



■宮城県と学生 UIJ ターン促進に関する協定を締結



2019 年 10 月 28 日、宮城県と本学は学生 UIJ ターン就職支援に関する協定を締結しました。同日には宮城県庁にて石井健一就職・キャリア支援部長と鈴木秀人宮城県経済商工観光部長が UIJ ターン促進に向けた意見交換を行い、協定書を取り交わしました。

本協定は宮城県と本学が相互に連携・協力して、学生に対し宮城県内の企業情報等を提供するなど就職活動を支援することにより、県内出身者をはじめとする学生の UIJ ターン就職の一層の支援及び促進することを目的としています。本学内での UIJ ターン就職に関する個別相談会の実施などをはじめ、宮城県内企業・団体への就職やインターンシップを希望する学生に、より充実した支援を行います。

現在、本学は宮城県を含む 18 自治体と就職促進にかかわる協定等を締結しており、今後も各地方自治体との協力を図りながら、学生の就職支援に積極的に取り組んでまいります。



■東洋大学第 44 代学長に 矢口悦子教授を選任

2019 年 11 月 25 日、現学長の任期満了に伴い、矢口悦子教授(教育学科)を、第 44 代東洋大学学長に選任しました。

任期は 2020 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日です。

2. 事業の概要

■世界各国のイノベーションの進展度を評価し、主要 60 カ国のランキングを発表



グローバル・イノベーション学研究センターは、各国のグローバル化とイノベーションの進展度を総合的かつ客観的に評価する指標を独自に開発し、この指標を用いて主要 60 カ国を国別にランキング化した「グローバル・イノベーション・ランキング 2019」を作成しました。これを記念して、2019 年 11 月 28 日、シンポジウム「グローバル・イノベーション・ランキング 2019 を考える」を開催しました。今後、毎年このランキングを公表していくことで、日本をはじめ各国の政策展開と企業経営の比較評価への計測に貢献することを期待しています。

■総合情報学部 開学 10 周年記念事業を開催

2019 年 11 月 30 日、総合情報学部の開学 10 周年を記念し、関係団体・一般の方が参加・見学できる特別講演会や体験型イベント、教育研究の活動紹介の展示などを行う「総合情報学部開学 10 周年記念事業」を開催しました。

総合情報学部開学 10 周年記念事業では、「データ分析からみるスポーツ科学」「情報科学とカウンセリングの融合」と題する 2 つの特別講演、心理・生体計測機器の体験や、ドローン・ロボットの紹介、プロジェクションマッピングによるバーチャルオリンピックなどの体験型イベント、学部のあゆみを映像上映したほか、教員や学生が制作した作品の展示なども行い、学部の過去、現在、そして 未来の姿を紹介する催しとなりました。



■2019 年度スポーツシンポジウム「スポーツを哲学する」を開催

2019 年 12 月 11 日、東洋大学白山キャンパス井上円了ホールにおいて「スポーツを哲学する TOYO SPORTS VISION2019」を法学部・ライフデザイン学部・総合情報学部・食環境科学部の 4 学部共催で開催しました。株式会社 明治 オリンピック・パラリンピック推進部部長 伊東圭介氏に、暑熱対策をテーマに「食品企業」としての大会貢献策についてご講演いただきました。また各学部の教員が専門分野からオリンピック・パラリンピックに関する発表を行いました。

■文部科学省「留学生就職促進プログラム」の中間評価で高評価

東洋大学は、2017 年に文部科学省の「留学生就職促進プログラム」委託事業に首都圏の私立大学として唯一選定されました。島根大学、金沢星稜大学とコンソーシアムを組織して「留学生 I-turn 就職促進プログラム」を目標にかかげ、東京と地方都市をつなぎ、留学生の「I-turn 就職」を促進しています。就職先の選択肢を拡大することで留学生のキャリアパスの安定化につなげることをめざし、また、首都圏以外の地方を知る機会を提供することで日本の文化、社会、言葉の多様性を理解してもらうことも意図しています。

今回、中間評価が行われ、本学の取組は「他大学の施策にも参考になる」、「今後の就職促進の取組にその方向を示唆する」リーディングモデルとして高い評価を得ることができました。

■2019 年度グッドデザイン賞を受賞

中村光宏教授(情報連携学科)がデザインした「ワイヤレスセンサー [tukumo]」が、2019 年度グッドデザイン賞を受賞いたしました。

再生可能エネルギーを活用したワイヤレスセンサー[tukumo]は、人、植物、動物、人工物、芸術など地球上のあらゆるものに寄り添うことで、心地の良い美しいデザインを提供するワイヤレスセンサー(コアデバイス)で、太陽光発電、振動発電により無電源で独立に動作します。更にそれらの発電素子を活用した光センサー、活動センサー、および、温度、湿度センサー、また、それらから得られたデータを送信するための BLE(Blue tooth Low Energy)、920Mz、Felica といった 3 種類の通信デバイスを備えています。これにより、幅:約 35mm×厚み:15.9mm という小型サイズにもかかわらず、あらゆる用途への利用を可能としました。単なるセンサー部品レベルにとどまらず、審美的な要素への追求や部品すべてを循環材料(再生材)

2. 事業の概要

で構成するなど、環境に配慮した商品性向上へのこだわりと製品意義の追求・徹底を図っていることが高く評価され、92名の審査員が選ぶ、「私が選んだ一品」に選出されました。

■2019年日本建築学会作品選奨を受賞

工藤和美教授(建築学科)が、宮城県「東松島市立宮野森小学校」(シーラカンズ K&H、盛総合設計 竣工日:2016年12月)で、2019年の日本建築学会作品選奨を受賞しました。この賞は、その年の作品選集掲載作品のうち特に優れた作品に贈られる賞で、宮野森小学校は、東日本大震災で津波被害を受けた二つの小学校を統合して新設した小学校です。「森の小学校」をコンセプトに、地元の木材を使用した全面的に木質感があふれる明るい空間を実現し、選奨にあたっては、「人や自然との距離をさりげなく縮めて自然に包まれる安心感を提供しており、地域と学校が一体となってこの地の復興のための教育の在り方を表現する重要な役割を担う」点が評価されました。

■経済同友会連携インターンシップを開始



2019年度に、本学は一般社団法人経済同友会インターンシップ推進協会とインターンシップに関する協定を締結いたしました。本学からは、書類選考・面接選考を突破した学部2年生をインターンシップに派遣します。

従来の学部3年生を主たる対象とする、短期間のインターンシップと比べ、低学年対象かつ、長期間(2週間～4週間)のプログラムとなるため、早期の実社会体験で得た様々な気づきを以後の学修やキャリア形成に活かすことが可能です。夏季休暇期間中のインターンシップのほか、本学教員による事前事後の研修実施、学生による成果報告会の開催を含め、5月～11月に行われるプログラム全体を通じてより多くの学びを得ることが可能であり、正課のキャリア教育プログラムとして位置づけられており、全プログラムを修めることで2単位の単位認定を行います。

2019年度は以下の企業にご協力いただき、6学部から11名の学生を各企業へ派遣しました。

金融関係	
第一生命保険株式会社	野村證券株式会社
株式会社三井住友銀行	みずほ証券株式会社
ソフトウェア関係	
KDDI 株式会社(株式会社 ARISE analytics)	コニカミノルタ株式会社
メーカー関係	
キッコーマン株式会社	花王株式会社
株式会社キッツ	デュボン株式会社
住友林業株式会社	

■オープンアプローチによるバリアフリーマップ構築に関する研究プロジェクト



情報連携学部(INIAD)では、障がい者や高齢者をはじめとした移動に制約を受ける人々を対象として、IoT技術とオープンデータを活用した移動支援プロジェクトに取り組んでいます。国土交通省と連携し、バリアフリーナビゲーションに必要なデータの整備を、行政だけでなく、ボランティアや利用者自身が参加し、お互いに助け合いながらデータの作成やメンテナンスを行う「オープンモビリティ・プラットフォーム」を構築し、INIADでは毎年1学年の400名全員が参画しています。



■共同研究により開発された商品「骨盤バランス オックス」が発売



東洋大学は株式会社ドリームと2017年4月から共同研究を進め、東洋大学からは繁成剛教授(人間環境デザイン学科)が研究代表者として参加しました。この共同研究の成果として「骨盤バランス オックス」が開発され、クラウドファンディングサイト「Makuake」でのファンディングを経て、正式に商品として発売されました。Makuakeを通じたファンディングでは、目標金額300,000円のところ、目標を大きく上回る3,767,790円の出資があったほか、各種メディアでも紹介されるなど注目を集めました。

「骨盤バランス オックス」は株式会社ドリームが展開するブランド「ラボネッツ」での販売の他、各種通販サイトでも販売展開されています。

今後も東洋大学では、共同研究や受託研究等による研究成果を積極的に社会に還元してまいります。

2. 事業の概要

■埼玉県の AI を活用した機器等開発・実証補助事業に採択



東洋大学計算力学研究センターは、埼玉県が実施する、新たな成長産業を創り出す「先端産業創造プロジェクト」の取り組みにおいて、2019 年度新規に募集された AI を活用した機器等の開発・実証への助成事業に応募し、応募総数 19 機関から、本学を含む 5 機関が補助金の採択先として決定しました。

事業テーマ	光学ガラス部品及び金属加工部品に関する外観検査サービス提供基盤の開発
東洋大学計算力学研究センター	
田村 善昭教授(計算力学研究センター長 総合情報学科)	
中林 靖教授(総合情報学科)	
村上 真准教授(総合情報学科)	
共同開発体	
株式会社タナカ技研(埼玉県秩父郡小鹿野町)	
国立情報学研究所(東京都千代田区)	

■引き続き「AA」／「安定的」の格付を取得

学校法人東洋大学は、2020 年 1 月 15 日に、株式会社日本格付研究所(JCR)より、昨年に引き続き長期発行体格付の「AA」(ダブル A フラット)の格付を取得し、また格付の見通しは、「安定的」とされました。

「AA」は、21 段階ある格付の上から 3 番目であり、債務履行の確実性が非常に高いとされているもので、格付事由として、(1)大学の志願者動向は好調で、入試難易度も上昇傾向にあるなど学生獲得力が強いこと、(2)予算管理も的確であり、引き続き学校法人として比較的余裕のある収支状況を維持できると想定され、財務基盤は強固であること、(3)赤羽台キャンパスの整備費用は多額となるが、支出時期は 2023 年 3 月期まで分散される見通しであり、財務面への影響は限定されること、などが挙げられています。

「AA」の評価は、学校法人の信用力、健全な財務体質及び大学の教育・研究・社会貢献への取り組みが評価されたもの、と考えておりますが、本法人は、この格付に安住することなく、本学のブランド力を高めるため、今後とも、良質な教育の提供、先進的かつ高度な研究の推進、知的成果の社会への還元を通じて、大学の社会的責任を果たして行きます。

■新型コロナウイルス感染症に関連する対応

新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延を受け、本学においても、学位授与式をはじめとする諸行事が中止となりました。大規模な感染拡大を抑制するための徹底した対策が求められており、本学では、2020 年 2 月、感染拡大防止に向けた行動指針を策定しました。この指針のもと、教育機関が担うべき役割を果たすべく、全学で一丸となって感染の拡大防止に努めてまいります。

■海外大学等との主な協定締結



今年度は、下表の通り、海外の大学・機関・コンソーシアムと新たに協定等を締結しました。

【大学間協定】

国名等	大学等名	都市名	締結日
アメリカ合衆国	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	カリフォルニア州サンタバーバラ	2019/4/11
	CIS アブロード	マサチューセッツ州ノーサンプトン	2019/6/11
	サンフランシスコ州立大学	カリフォルニア州 サンフランシスコ	2019/7/3
	カリフォルニア大学サンディエゴ校	カリフォルニア州サンディエゴ	2019/8/7

2. 事業の概要

	エクステンション		
	ノースウェストミズーリ大学	ミズーリ州メリーヴィル	2020/3/3
イギリス	ノーサンブリア大学	ニューカッスル	2019/4/2
	エジンバラ大学	エジンバラ	2020/2/14
	リバプール大学	リバプール	2019/4/11
イタリア	サレント大学	サレント	2019/12/20
ウズベキスタン	ウズベキスタン国立世界言語大学	タシケント	2019/11/20
オーストリア	FHWien der WKW 経営・コミュニケーション応用科学大学	ウィーン	2019/4/22
	ザルツブルク大学	ザルツブルク	2019/8/1
タイ王国	アサンプション大学	バンコク	2020/3/12
オランダ	HZ 応用科学大学	フリシンゲン	2019/7/25
フィリピン	セブ技術大学	セブ	2019/11/20
フランス	レンヌ第1大学	レンヌ	2019/9/30
ブルガリア	パイシイ ヒレンドルスキープロブディフ大学	プロブディフ	2020/3
ベルギー	リエージュ大学	リエージュ	2019/7/9
マレーシア	マレーシア国民大学	セランゴール州	2019/4/15
	ノッティンガム大学マレーシア校	セランゴール州	2020/3/2
リトアニア	ヴィルニウス大学	ヴィルニウス	2020/2/12
ルーマニア	ブカレスト大学	ブカレスト	2019/4/22
台湾(台湾省/中国)	佛光大学	台湾・宜蘭県礁溪郷	2019/4/3
大韓民国	国民大学	ソウル	2019/11/20
中華人民共和国	ノッティンガム大学寧波校	浙江省寧波市	2019/6/28
	マカオ科技大学	マカオ	2019/7/8
	香港公開大学	香港・九龍	2019/9/21
	大連海事大学	大連市	2019/11/19
	西安外国語大学	西安市	2019/12/19
	華北理工大学	唐山市	2019/12/25
	上海大学	上海市	2019/9/30

■その他の主なイベント等

森田 明 名誉教授 2019 年春の叙勲で「瑞宝中綬章」を受章

2019 年 5 月 21 日、各界で功績があった人をたたえる 2019 年春の叙勲の受章者の発表があり、本学、森田明名誉教授(元法学部)が「瑞宝中綬章」を受章しました。

2. 事業の概要

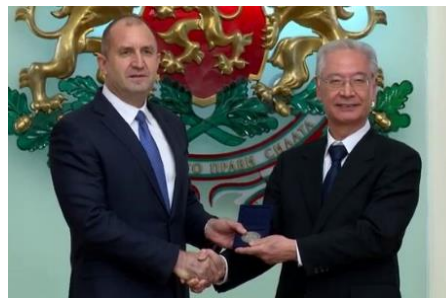
ブルガリア大統領賞を受章

2020年2月24日、ブルガリア共和国の大統領府(在ソフィア)を本学の竹村学長が訪問し、ルメン・ラデフ大統領閣下より大統領賞を授与されました。

昨年10月、ラデフ閣下が「即位礼正殿の儀」を機に来日された折、本学にて特別にご講演いただき、その際に閣下へ東洋大学名誉博士の称号を授与いたしました。そしてこの度の竹村学長の訪問に際し、勲章伝達式が行われることとなりました。

伝達式には、在ブルガリア日本国大使・渡邊正人大使、ブルガリア出身で本学元講師であるイヴァン・ボテフ先生、また本学から現在ブルガリアの聖クリメント・オフリツキ・ソフィア大学へ留学中の日本人学生2名と、ブルガリア人学生3名(うち1名は本学情報連携学部へ留学中)も列席しました。

勲章伝達式が行われた一室は、大統領府の中でも最も格式の高い部屋であり、日本人で入室したのは安倍晋三首相について二人目とのことで、大統領府の皆様の格別なご配慮が伺えました。



文化公演「ENSAMBLE TRANSATLÁNTICO DE FOLK CHILENO」フォー クコンサートを開催

2019年7月16日、チリ共和国大使館の協力により、フォークグループ「ENSAMBLE TRANSATLÁNTICO DE FOLK CHILENO」の日本初公演となるコンサートを開催しました。8名の演奏者が1曲ごとに日本語で曲紹介をし、時にはチリ国内の地図を示しながら、その曲が縦長なチリ国のどの地域で主に演奏される曲なのかなどの説明がされ、約250名(学生:約130名、一般の方:約120名)の聴講者が手拍子を入れて演奏を楽しみました。



「未来を拓くトップセミナー」



2013年からスタートした本セミナーは、各界にて指導的立場で活躍している方々を講師としてお招きし、将来の指針となる講演をいただくことで、学生のキャリア形成の一助とするものです。

2019年度は以下の講師の皆様にご講演いただきました。



	期日	講師	場所
第1回	6月27日	奥田知志氏(特定非営利活動法人抱樸理事長/日本パプテスト連盟 東八幡キリスト教会牧師)	朝霞
第2回	11月14日	村木厚子氏(元厚生労働事務次官)	白山
第3回	11月29日	岸上克彦氏(アサヒ飲料株式会社代表取締役社長)	板倉
第4回	12月3日	小林泰士氏(株式会社マーケットエンタープライズ代表取締役社長(CEO)/ 学校法人東洋大学理事)	川越
第5回	12月6日	明石康氏(元国際連合事務次長)	白山

「経営イノベーション：改革と戦略シリーズ～経営トップによる特別講義～」を開講

2019年度秋学期、経営学部生を対象とした授業科目において、日本を代表する企業の経営者による特別講義を開講しました。企業のトップとして活躍する経営者による講演を通じ、企業を取り巻くグローバル化、技術進歩といった激しい環境変化のなかでの企業経営について理解を深めています。同取り組みは3年目となり、学生自身が現実の多様な現象を自分の軸や視点で考えるようになる「哲学教育」、自らの未来をどのように切り拓くかを考える契機としての「キャリア教育」への広がりも見せています。

	期日	講演者
第1回	10月3日	福川伸次(学校法人東洋大学総長)
第2回	10月10日	小野寺正氏(KDDI株式会社相談役、前会長)
第3回	10月31日	古屋一樹氏(セブン-イレブン・ジャパン取締役会長)
第4回	11月7日	南場智子氏(株式が社ディー・エヌ・エー代表取締役会長)
第5回	11月14日	石井正純氏(AZCA, Inc. Managing Director)

2. 事業の概要

第6回	11月21日	和佐見勝氏(株式会社丸和運輸機関代表取締役社長)
第7回	11月28日	小林栄三氏(伊藤忠商事株式会社特別理事、前会長)
第8回	12月12日	八木洋介氏(株式会社 people first 代表取締役)
第9回	12月19日	小平信因氏(公益財団法人トヨタ財団会長/学校法人東洋大学理事、評議員)
第10回	1月9日	安齋隆(学校法人東洋大学理事長)

東洋大学ボランティアウィーク 2019 障害者週間シンポジウム「ユニファイドスポーツ」を知っていますか？～その魅力と意義、“For” から“With” へ～を開催



2019年12月5日、女子マラソン五輪メダリストで、公益財団法人スペシャルオリンピックス日本の有森裕子理事長を迎えてシンポジウムを開催しました。「ユニファイドスポーツ」とは、“知的障害のある人(アスリート)”と“障害のない人(パートナー)”が、スポーツを通じて楽しみながらお互いを理解し、共生社会の実現を促進することを目的にした活動です。本学は2018年度に国内初となるユニファイドスクールパートナーシップ協定を締結しており、その一環として、今回のシンポジウムを開催しました。シンポジウムを通じて、学生達はその魅力と意義を知るとともに、共生社会についても考える機会となりました。



第33回「現代学生百人一首」

今回は、61,976首の作品が寄せられました。6万首を超える応募があったのは2011年度以来8年ぶりです。「令和」への改元で万葉集が脚光を浴びたことも、短歌への関心に繋がったのかもしれません。応募作品からは、身近な出来事をクローズアップしたもの、世の中を俯瞰した冷静な視点、家族や友人を思う気持ち、現代のコミュニケーションにまつわる感情など、さまざまなアプローチが見られます。日常に抱く普遍的な悩みや喜びも、これから新しい時代を生きていく若者ならではの視点で詠まれたユニークな作品が多く寄せられました。



「Alumni of Toyo University 2019」を創刊

本学卒業生へ向けたタブロイド判の情報誌を創刊しました。

創刊号では、創刊を記念した特別企画として、オリンピック東京大会男子マラソン出場を目指して戦う(MGC:マラソングランドチャンピオンシップ)本学陸上競技部長距離部門の卒業生5名による対談を掲載したほか、各界で活躍する本学の卒業生と竹村学長、在学生から本学の『いま』を紹介する内容となりました。



■学生の活躍

「フランス政府給費留学生」に選抜

田沼 友理さん(学際・融合科学研究科:後期課程1年)が、「フランス政府給費留学生」に選抜されました。田沼さんは、東洋大学とUniversity of Nantes が実施する「PhD double degree programme」に参加し、両大学で「新奇カーボンナノ構造体の創成」に関する研究を行います。特に、東洋大学バイオ・ナノエレクトロニクス研究センターで「実験的・数値的研究」を、Institute of Materials, University of Nantes では「理論的・数値的研究」を実施します。

なお、東洋大学とUniversity of Nantes は、「学生交流プログラム」と「PhD double degree programme」に関する協定を締結しています。

田沼さんは、すでに博士前期課程において、研究成果を国際学会で2回発表し、最優秀発表賞を受賞しており、研究の先進性・発表能力の高さが国際的に認められています。



2. 事業の概要

BRITA「学生マイボトルコンテスト」で BRITA 賞を受賞

東洋大学公認サークル TIPS が、浄水器を開発・販売するグローバル企業である BRITA が企画する「学生マイボトルコンテスト」で BRITA 賞を受賞しました。同コンテストは、大量の使い捨てペットボトルがごみや環境の深刻な問題となっている中で、「マイボトル」を持つことでその削減につながるのではないかとという仮説のもと、「日本でマイボトルを持つ人が増えるためにはどうしたら良いか？」というテーマで学生からアイデアを募集したコンテストです。

東洋大学 TIPS は、個々のニーズに対応したマイボトルやスマートフォンアプリとの連携による給水スポットの位置情報や割引サービスなどを提供し、マイボトルを使って便利に人が給水やそれに伴う決済ができるような仕組みや、マイボトルの回収をリサイクルステーションで行うといった、提供から回収までを一元化したプラットフォームを提案しました。同団体のアイデアは、現代の多様なニーズに合わせたサービス内容の提案や、スマートフォンを活用したアイデアや廃棄のことまで考えた、人と環境問題について組み入れられた点が評価され、全国から 50 チーム以上のエントリーがある中で、「BRITA 賞」を獲得しました。

※東洋大学 TIPS は、SDGs (Sustainable Development Goals) に着目し、学生の視点で様々な活動をしている団体です。メンバーの多くは、国際教育センターが提供する交換留学や海外研修などに積極的に参加しています。



第 30 回ヤンマー学生懸賞論文・作文 特別優秀賞受賞

この懸賞は一般社団法人農協協会が 1990 年から毎年行っているもので、今年は「農業」を「食農産業」に発展させる」をテーマとし、論文 48 本、作文 522 本の応募の中から、板谷里菜さん、伊藤万里沙さん、草野由夏さん、坂上実紅さん（いずれも国際観光学科 3 年）が「観光とマーケティングを用いた食農プロモーションの提案 ～南会津を感じるんだべえ～」で特別優秀賞を受賞しました。

運動部の活躍(主な戦績)

陸上競技部長距離部門は、川野将虎選手（総合情報学科 3 年）が第 30 回ユニバーシアード競技大会に出場し 20 km 競歩にて 2 位、第 58 回全日本競歩輪島大会では 50 km 競歩にて 2 位、第 58 回全日本 50 km 競歩高島大会においては、3 時間 36 分 45 秒の日本記録を樹立して優勝し、東京五輪の日本代表に内定しました。また、池田向希選手（経済学科 3 年）が第 17 回世界陸上競技選手権大会に出場し、第 30 回ユニバーシアード競技大会では 20 km 競歩にて優勝しました。また、第 44 回全日本競歩能美大会男子 20km 競歩兼学生選手権にて優勝し、東京五輪の日本代表に内定しました。相澤晃選手（経済学部 4 年）は第 30 回ユニバーシアード競技大会に出場し、ハーフマラソンで優勝しました。また、第 31 回出雲全日本大学選抜駅伝競走では 3 区にて区間新記録を樹立し区間賞、秩父宮賜杯第 51 回全日本大学駅伝対校選手権大会では 3 区にて区間新記録を樹立し区間賞、第 96 回東京箱根間往復大学駅伝競走では 2 区にて区間新記録を樹立し区間賞、金栗四三杯を受賞いたしました。

硬式野球部は、東都大学野球春季リーグ戦 1 部リーグで優勝し、個人では村上頌樹選手（総合情報学科 3 年）が最高殊勲選手・最優秀投手・最優秀防御率・ベストナイン（投手）を受賞、佐藤都志也選手（法律学科 4 年）がベストナイン（捕手）を受賞、山崎基輝選手（会計ファイナンス学科 3 年）がベストナイン（DH）を受賞、山田知輝選手（総合情報学科 4 年）がベストナイン（外野手）を受賞いたしました。

また、2019 プロ野球ドラフト会議では佐藤都志也選手が千葉ロッテマリーンズに 2 位指名されました。

アイススケート部ホッケー部門は、秩父宮杯第 67 回関東大学アイスホッケー選手権において 10 年ぶりの優勝。また 11 大会ぶりに第 92 回日本学生氷上競技選手権大会を制し、2 冠を達成しました。

ボクシング部は、関東大学ボクシングリーグ戦にて初優勝、全日本大学ボクシング王座決定戦でも優勝し、創部初となる大学日本一となりました。個人では、第 89 回全日本ボクシング選手大会において、川谷剛史選手（会計ファイナンス学科 2 年）が 49kg 級、堤駿斗選手（会計ファイナンス学科 2 年）が 52kg 級で優勝し全日本チャンピオンに輝きました。また、この大会において堤選手は技能賞を獲得しました。57kg 級はオリンピック階級であるため、最終予選に出場予定です。

サッカー部女子部門では大内梨央選手（食環境科学科 3 年）、久保真理子選手（食環境科学科 3 年）、常田菜那選手（食環境科学科 3 年）が第 30 回ユニバーシアード競技大会に出場し、準優勝いたしました。

水泳部は、白井璃緒選手（国際観光学科 2 年）が第 18 回世界水泳選手権大会、第 61 回日本選手権(25m)水泳競技大会に出場しました。第 61 回日本選手権(25m)では、200m 自由形、100m 自由形、100m 背泳ぎの全てにおいて 1 位となりました。また今井月選手（企業法学科 1 年）は第 30 回ユニバーシアード競技大会に出場し、200m 個人メドレー

2. 事業の概要

で3位となりました。中村海渡選手（英語コミュニケーション学科4年）は第30回ユニバーシアード競技大会で200m自由形に出場し、細川公平選手（会計ファイナンス学科2年）は第30回ユニバーシアード競技大会で50m背泳ぎに出場いたしました。

- ※ 持続可能な開発目標（SDGs）とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標です。
17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない（leave no one behind）」ことを誓っています。
SDGsは発展途上国のみならず、先進国自身が取り組む普遍的なものであり、その達成に貢献する本学の取り組みについて、「事業の概要」において、17の目標のロゴを付しています。
- ※ 事業の概要の各項目に記載した氏名の所属や学年等については、2019年度現在の内容で掲載しております。

2. 事業の概要

(3) 東洋大学附属姫路高等学校



東洋大学附属姫路高等学校
校長 大森 茂樹

生徒と教職員が共に成長し続け、
常に進化し続ける学校づくり
保護者・地域のニーズに応えられる学校を目指して！

東洋大学の建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」を基底に据え、「自立・友情・英知」の校訓のもと、次の3つの人間像を理想とし、その育成に取り組んでいます。

- 1 多様な価値観を学習し理解するとともに、自己の哲学(人生観・世界観)を持つ人間
- 2 先入観や偏見にとらわれず、物事の本質に迫り、論理的・体系的に深く考えることのできる人間
- 3 社会の課題に自主的・主体的に取り組み、良き人間関係を築くことができる人間

■教育活動と成果

本校も母体の東洋大学が掲げる「国際化」、「キャリア教育」、「哲学教育」を柱とした「グローバル人材の育成」を、教育の根幹に据えています。物事の本質を深く考え、自らの未来を切り拓くことができる生徒の育成を図っています。

中高一貫コースは、今年初めての卒業生(44名)を送り出し、本校初の東京大学工学部合格を筆頭に、大阪大、名古屋大、国際教養大などの難関国公立を始め、慶応大、東京理科大、同志社大などの難関私大にも合格者を出すことができました。また、スーパー特進コースは、今春7期目の卒業生(27名)を送り出し、九州大、岡山大、大阪教育大などの国公立大学に44%の生徒が現役合格しました。特進・総合進学理系・総合進学文系・体育の各コースにおいても、その特性に応じた教育活動を展開しており、岡山大、鳥取大、愛媛大、鹿屋体育大、関西学院大、同志社大などへ合格し、就職希望者も全員希望企業に内定しました。これは、各コースに合った学力向上策(朝学習、放課後の自習教室の開放、週末課題、希望補習の実施や長期休業中の補習)など、継続的な実践の賜物と言えます。

特に、今年の国公立大学合格者で目を見張るのは推薦入試の合格です。東大をはじめ、九大、名大、国際教養大など計13名に達しました。生徒の学ぶ意欲を喚起し、大学での研究テーマを考えるきっかけとなったキャリア・フロンティアの経験が大きいと思われます。今年、高校2年の総合進学・体育コースは地域と連携したキャリア・フロンティアを実施し、街づくりコンテストに参加して優勝しました。また、特進コースのプロジェクトチームは姫路若菜という伝統野菜と地元の魚介類・豚肉を使った缶詰を商品化し、新聞各紙に取り上げられるなど、昨年以上の成果を出しました。

■大学との連携の充実

例年実施している新入生の東洋大学見学会は、学問への憧憬を喚起するきっかけとなっているだけでなく、学外広報としても重要な行事となっています。また、本校で行う2年生対象の東洋大学学部学科説明会も、志望学部を考えるうえで大変参考になっています。さらに、2年生スーパー特進コースの東洋大学での2泊3日の課題研究も生徒達にとって感動的な体験となっています。東洋大学の支援により、本校の進学成績が伸びたと言えます。今後もより一層東洋大学との連携を深め、有意義なプログラム開発が更にできるよう取り組み、関西地域からは遠方である東洋大学の志願者増につなげる方法を考えてと思います。他の大学との連携としては、スーパー特進コースでは東京大学見学、特進コースでは岡山大学、同志社大学見学なども行いました。

■課外教育

4月にはスーパー特進・特進コースの1・2年生の合同学習合宿を行いました。自主的な探究活動では「メダカの研究」を行って校外で発表しました。今後は、学校内だけでなく県や市町村、研究会などに活動の場を広げていきます。一方、部活動は、空手道部が見事に個人で全国準優勝、剣道部は団体で全国3位を果たし、剣道部、柔道部、弓道部、バスケットボール部、空手道部が近畿大会へ出場するなど活躍しました。生徒会活動においても、生徒主導の行事計画に基づき実施する幅を広げています。また、今後は推薦枠の多い野球部の活躍に期待したいと思います。

■入試広報活動

学校改革、完成まじかの新校舎、附属中学校・高等学校の教育活動、年々良くなっていく生徒の姿などから、本校の評価は上昇しています。また、キャリアガイダンスの充実やキャリア・フロンティア行事、英語外部検定試験へのチャレンジも大きな魅力となり、今年の志願者は3,455名で、この10年間では最高でした。しかしながら、公立高校が広き門となっているため、歩留まりが悪く、定員割れを起こしているのが現状です。さらなる魅力を打ち出し、生き残りをかけた挑戦をしてまいります。

(4) 東洋大学附属姫路中学校



教育方針「諸学の基礎は、哲学にあり。」という東洋大学の建学の精神を継承し、物事の本質に向かって深く考える力を育む哲学教育「考えるを、学ぶ。」を推進しています。

6年間の中高一貫教育によって、私学ならではの十分な授業時間を確保し、学力の向上を図りながら、大学入学から就職後までを見据えた「キャリア教育」(キャリア・フロンティア)と、国内外の社会に貢献する人材の育成を目指す「国際交流プログラム」という2つの取組みを柱に、「確かな学力」・「豊かな人間力」・「変化への対応力」を兼ね備えた21世紀のグローバル社会で活躍できる人材を育成します。

東洋大学附属姫路中学校

校長 大森 茂樹

■教育活動

2014年4月、創立50周年を節目に附属中学校を開校し、学力と人間力向上を図り、大学進学、そして、社会に貢献するグローバル人材育成のために中高一貫6年制教育を展開しています。グローバル社会の中で、英語力はもとより、異なった考え方のの人々と協力する協調性やコミュニケーション能力、社会変化に素早く対応できる柔軟な思考と創造性を育成するため、日々の授業だけでなく、英語検定取得推進や海外語学研修、問題解決力を高めるため、体験を重視した「キャリア・フロンティア」を取り入れています。また、1学年の定員60名を2クラスに編成し、少人数できめ細かいサポートを実施しています。特に、英語の授業の一部ではチームティーチングを導入し、英会話の授業では1クラスを英会話の習熟レベルに応じて2分割し、教員とALTがペアで実施するなど英語力向上に努めています。

■教育課程

各学年毎週土曜日も含めた週当たり37単位時間(1単位時間50分)で、基礎教科の国語、数学、英語の時間数を標準の約1.5倍とし、基礎学力の定着を図るとともに、幅広く深い教養を身に付けるための教育を展開しています。能力差があるため、火・木・金の週3日間、7限後の自学自習の時間と並行して補習を行い、学習不振者をなくす努力もしています。多様化する現代社会では、学問的知識だけでなく、情報収集力や課題解決能力が強く求められるため、主体的に行動し、得た知識を活用して発信する能力を身に付けることができるように授業も工夫しています。

■キャリア・フロンティア

本校独自の教育プログラムとして定着した「キャリア・フロンティア」を通じて、物事の本質に向かって深く考える力を養成し、難関国公立大学合格に必要なリテラシーである「情報編集力」・「情報整理力」・「情報発信力」の育成に力を入れています。さらにグローバル人材の育成を目的とした「国際交流プログラム」を計画的かつ段階的に実施し、国内外の社会に貢献できる人材の育成を目指しています。具体的な内容としては、野外オリエンテーション、作法指導、茶華道教室、テーブルマナー講習、姫路研究、神戸研究、京都の伝統、広島・沖縄平和学習、未来を考える(企業人や親から学ぶ職業研究など)、震災学習、英語暗唱大会などを実施しました。しかしながら、2019年度は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う臨時休校の要請を受け、中学3年生の海外語学研修(4期生56名が参加予定)及び中学1年生のキャリア・フロンティア発表会「第6回 Toyo Study Festa」について、残念ながら中止しました。

■大学との連携

東洋大学の協力のもと、河口湖セミナーハウスで実施してきた中学2年生の「English Spring Camp」(5期生57名)も、新型コロナウイルス感染予防のため中止しました。来年度の海外語学研修につながる行事ができず残念でした。

■課外教育・活動

健康な心身の育成のため、中学生全員が自ら選択した部活動に入部し、月・水・土の週3日間活動しています。部員数が少ないこと、部活動ができない日が多い等問題も指摘されています。また、育友会行事としては、中高合同の文化祭に参加しての東洋大学の人気グッズなどの販売、1日研修バス旅行(倉敷の美観地区周辺散策とブドウ狩り)、「絵手紙教室」などを実施するなどして、教員および会員相互の親睦と交流を深めました。

■入試広報活動

学校説明会(2回)、私学合同説明会、オープンスクール、学習塾対象説明会、プレテストとその報告会、入試説明会(2回)、個別相談会、入試結果報告会などを実施しました。今年の志願者は200名(内、前期入試志願者75名)、合格者108名で、最終的に入学したのは63名です。3クラス90名の生徒募集の実現に向け、前期入試受験者(本校第一志望者)の増加を目指し、教育内容のさらなる充実と学習塾訪問など、地道な広報活動に力を入れていきます。

■現状と課題

今年度、1期生(44名)が大学入試に挑戦し、東京大学・大阪大学・名古屋大学などの国公立大学に16名が現役合格しました。2020年2月実施の学校評価アンケートの中学生の結果は、「本校に入学して良かった」と回答した生徒が93%、本校の大きな特色であるキャリア・フロンティアの評価も肯定的な回答が98%となっていますが、高校になると低下しているのが気になります。また、本校の前期試験志願者数が少ないのも課題です。将来的には60名の定員を増員して活性化させることも必要です。日々の授業内容を充実させ、キャリア・フロンティアを系統的・効率的に実施し、在校生の満足度をさらに上げ、生徒の進路実現に向けさらなる努力をし、地域評価を高めていきたいと思います。

(5) 東洋大学附属牛久高等学校



東洋大学附属牛久高等学校
校長 遠藤 隆二

個性を生かす教育とグローバル教育

創立 56 年目を迎え、建学の精神である「諸学の基礎は哲学にあり」「知徳兼全」「独立自活」を基本理念として、深く考える力と本質に迫る健全な批判精神を培い、将来社会に貢献できる有意な人材の育成に努めています。

【基本方針】(1) 生徒の学力向上 (2) 魅力ある教育の展開 (3) 人間教育の充実

【教育特色】①進学・特進・グローバル・中高一貫・スポーツ等のコース別授業展開

②教科「グローバル探究」を特設して「グローバル教育」を展開

【特別活動】○中国語スピーチコンテスト全国大会で優秀賞獲得

○国民体育大会で相撲個人の部で優勝、相撲と空手が団体5位入賞

○全国駅伝大会(都大路大会)に男子駅伝部が初出場(29 位)

■学校の特徴

○海外ホームステイなど異文化交流が活発。 ○スポーツが盛んで相撲・空手・駅伝等で実績をあげている。

【教育課程】 目指す「学校像・生徒像・グローバル人材像」を掲げ、その具現化に向けて「進学・特進・グローバル・中高一貫・スポーツ」のコースごとに教育課程を実施しています。生徒それぞれが自己の個性・能力を生かして学力と技能を高められるよう、コース間のバランスを図りながら指導をしています。また、哲学・教養・国際理解・キャリア・課題研究の5つの科目から成る教科「グローバル探究」を特設するとともに、様々な海外研修行事等を行っています。

【校内研修】 教員の意識改革と資質向上及び学校の教育力を向上させるため、①ハラスメント防止 ②模試・センター入試分析 ③新学習指導要領と大学入試改革 ④ICT 教育 ⑤HR 経営などについてのテーマ研修を全体で行うとともに、宿泊課題集中研修や随時の授業研究、ICT 研修、個別研修のための情報提供なども行っています。

【学習指導】 各教科・科目のポリシーと3年間の達成目標、それらに基づく授業シラバスの作成体制を整え、授業の透明性を確保しています。公開授業や研究授業等も行い、学校・授業のオープン化に努めています。

【生徒指導】 生徒が安全で規律ある生活を送れるよう、登下校時の立哨指導や交通安全教室、薬物乱用防止講話等を行うとともに、月例集会、学年集会、HR 等においてルール厳守等のきめ細かな指導も行っています。

【進路指導】 大学見学会や学部学科説明会等を行って進路意識を向上させ、生徒自ら取組む指導をしています。2020 年度入試の東洋大学への進学者は 230 名。その内附属推薦は 225 名で卒業生の約 43%に当たります。

【国際理解】 グローバル人材育成事業としてオーストラリアの SA 州の州都アデレードに 106 名を派遣して、2 週間一人 1 家庭でホームステイを行いました。その間、英語特別授業や現地校との異文化交流等を行い、英語力を向上させ、国際感覚を磨きました。また、フィリピン・セブ市に 51 名、台湾に 11 名、カナダに 15 名、中国に 10 名、ハワイに 183 名の生徒を派遣するとともに、オーストラリアやフィリピン、カナダ、中国、台湾などから 96 名の生徒をホームステイで受け入れ、特別授業や部活動、異文化交流等を行って友情と絆を深めました。ニュージーランドに長期留学 2 名、オーストラリアにターム(3 ヶ月)留学 5 名、「トビタテ！留学 JAPAN」でアメリカに 1 名派遣しました。「アメリカ大使館によるアメリカ紹介と留学」「台湾の大学と留学」「ロシア講座」などのグローバルセミナーを行うとともに、河口湖英語研修やブリテッシュ・ヒルズ研修、台湾のネイティブを迎えての「華語講座」なども行っています。

【特別活動】 HR 合宿(進学・スポーツは猪苗代、特進は筑波山、グローバルはセブ島、中高一貫は奈良・京都)や修学旅行(進学・スポーツはハワイと沖縄の選択、特進はアデレード、中高一貫はシンガポール・マレーシア)、創造祭、球技祭等を実施しました。茨城県高等学校総合体育大会では学校別で本校が男子 3 位、女子 7 位となり、国民体育大会で空手道部と相撲部が団体 5 位入賞、個人の部では相撲が優勝、空手道が男女共に形と組手で 2 位・3 位、駅伝部は全国大会で都大路を力走(29 位)、ダンス部は国体をはじめ各種イベントで活躍しました。

■大学との連携

1 年全員対象に東洋大学白山キャンパス見学会を行うとともに、希望者対象に川越・朝霞・板倉・赤羽台の各キャンパス見学会等も行い、東洋大学を意識させる進路指導を行っています。2 年生対象の学部学科説明会では東洋大学の 13 学部 39 学科 39 名の先生方に「学部学科の説明」をして頂きました。創造祭の「建築コンテスト」では理工学部のご指導を受け、「ENGLISH CAMP」では河口湖の大学セミナーハウスを借用しました。「現代学生百人一首」や「井上円了が志したものとは」などの大学主催コンテスト、「PC による入学前教育」にも参加しています。また、大学より派遣された 2 名のフィリピンからのネイティブ・スピーカーは、グローバル教育の推進に大いに貢献しています。PTA 活動においても各支部単位で「大学キャンパス見学会」を行い、多くの保護者が東洋大学に対する理解を深めています。

■施設設備と今後の課題

施設設備の整った新校舎と人工芝のグラウンド(2019 年 11 月より使用)で快適な学校生活を送っています。「2 号館の建替え」や「部室の改修整備」などの計画の他に、中学校教育の活発化に伴い、併用する教室や体育施設、部室などが不足し、「教室の増築」が課題になっています。また、「私学サミットの成功」を目指して、ICT 教育のための環境整備計画を着実に実施するとともに、全教員が ICT 教育を推進できるよう、研修の充実も課題になっています。

2. 事業の概要

(6) 東洋大学附属牛久中学校



東洋大学附属牛久中学校
校長 遠藤 隆二

10 年先を見据えた中高一貫教育

10 年先を見据え、グローバル教育と ICT 教育を展開し、開校 5 年目になります。一期生が高校 2 年になり、様々な場面で活躍し、その存在感が大きくなっています。建学の精神、「諸学の基礎は哲学に在り」「知徳兼全」「独立自活」を基本理念として、「深く考える力と本質に迫る健全な批判精神を培い、将来社会に貢献できる人材の育成」を目標に、「自ら考え、自ら行動する意欲溢れる生徒の育成」に努めています。小規模校ながら生徒の活動は活発で、様々な場面に指導の成果が表れ始めています。

- 高円宮杯第 71 回全日本中学校英語弁論大会茨城大会で読売新聞社賞を受賞
- 茨城県中学校新人テニス選手権大会 女子ダブルスで優勝

■学校の特徴

中高一貫教育を展開し、グローバル教育に力を入れています。教科「グローバル探究」を特設し一人一台の iPad を活用した授業を行っています。2 年次にフィリピン英語研修、3 年次にオーストラリアでホームステイ研修を行っています。

【教育方針】

- ①基本的な生活習慣と基礎学力を定着させて、生徒一人ひとりの個性・能力を伸長させ、自信と誇りをもたせる。
- ②人権尊重の精神を基に魅力ある教育(グローバル教育・ICT 教育)を展開し、地域社会に貢献する。
- ③生きる力(豊かな教養・確かな学力・健やかな心と体)と「学ぶ意欲」を育む指導を充実させ、人間力を育成する。

【教育課程】 中高 6 年間を見通したグローバル行事の展開

5 つの科目から成る教科「グローバル探究」を特設し、iPad を活用した英語教育を柱にグローバル教育を展開

基礎学力と知的好奇心の育成期		学力向上と知識統合の充実発展期		学力伸長と進路目標の達成期	
1 年(中 1)	2 年(中 2)	3 年(中 3)	4 年(高 1)	5 年(高 2)	6 年(高 3)
在籍 47 名	在籍 59 名	在籍 55 名	在籍 72 名	在籍 54 名	
HR 合宿 All English Days	海外語学研修 フィリピン	海外研修 オーストラリア	伝統文化研修 奈良・京都	海外研修 シンガポール	大学研究
基礎学力を定着させ、日本語ディベートや英語落語、学習発表会等を行いました。フィリピンでの語学研修等を通して知的好奇心を高め、課題研究のテーマに繋げる実践的な学習を行いました。		オーストラリアで 1 人一家庭でのホームステイ英語体験学習を行いました。奈良・京都では留学生とチームを組み、日本の伝統文化と一緒に学び、それを発信できるようにしました。		「課題研究」の研究内容をシンガポールの大学生の前で発表しました。校内で発表会を行うとともに、「課題研究」論文を作成しました。6 年では「大学研究」をする予定です。	

■教育活動

- ・すべての生徒に一人一台の iPad をもたせ、ほぼすべての授業で iPad を活用した授業を行っています。2 年で授業と行事を連動させた「英語落語」を、3 年の数学及び 2 年と 3 年の英語で習熟度別授業を行っています。
- ・保健体育科の「武道」では「弓道」を行い、「水泳」は土浦ジョイフルスイミングクラブのプールで実施しています。
- ・英語インタラクティブフォーラム茨城県大会で教育研究会長賞を受賞し、高円宮杯第 71 回全日本中学校英語弁論大会茨城大会で読売新聞社賞を受賞しました。
- ・部活動(弓道・テニス・卓球・陸上・ダンス・ラグビー・英語・演劇・科学・和楽・国際文化部等)は週 3 日の活動です。北関東中学校新人テニス大会女子団体が準優勝、茨城県武道フェスティバル大会空手道男子組手で優勝
- ・学校行事は【4 月】初期指導・制服着こなしセミナー、情報安全講座、河口湖 HR 合宿、【5 月】水泳教室、授業参観、【6 月】避難訓練、球技祭、【7 月】野球応援、講演会、三者面談、夏季講習、【9 月】創造祭、水泳教室、【10 月】芸術鑑賞、公開授業、【11 月】All English Days、Philippines 研修、Adelaide 研修、【12 月】三者面談、冬季講習【1 月】百人一首大会、【2 月】家庭教育学級、【3 月】学習発表会、春季講習等を実施しました。

■高校との連携

日課表やチャイム、教科会、職員会議等だけでなく、月例集会や創造祭、定期考査、校内研修会などの行事や集会、生徒会活動、部活動、PTA 活動等も高校と連携し協力して一体となって行っています。また、中高一貫教育のメリットを生かし、講演会や国際交流事業なども高校のグローバル教育計画に組み込み、高校と一体で行っています。

■現状と課題

定員 70 名を確保できたのは 2 期生のみで、2020 年度募集から定員 60 名に変更しましたが、入学手続者は 82 名となり、定員を 22 名上回りました。これは本校の教育内容と指導実績が世間に周知されるようになり、受験生が本校に目が向けるようになったものと考えられます。茨城県内の小学生数が減少する中で「安定的な定員確保」が課題です。今後も魅力ある学校づくりと広報活動に力を入れ、安定的な定員の確保に努めます。また、習熟度別学習や個別指導を充実させるなどして生徒の学習意欲を高め、進路実現へのモチベーションを高める指導も課題です。

2. 事業の概要

(7) 東洋大学京北高等学校



東洋大学京北高等学校
校長 石坂 康倫

建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」に則って

本校は、東洋大学の創立者井上田了博士の建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」を教育理念として継承し、教育活動を展開して今年で 121 年目を迎えます。

「物事の本質を深く考え、自ら判断し行動し、人を愛し人から愛され、社会に貢献できる有為な人材の育成」に努めています。教員は、常に哲学する心を持って授業に臨み、生徒一人ひとりを大切に育てることを教育目標に掲げています。

本校は「より良く生きる」ことをテーマとし、「本当の教養を身に付けた国際人の育成」を目的とし、教職員一致団結して教育活動に取り組んでいます。

■教育活動

【三本の柱を中心に活動】

「授業が一番」を掲げ、その上で哲学教育、国際教育、キャリア教育を三本の柱として教育活動を展開しています。男子クラスは高校 3 年生だけになり、他は共学クラスであり、建学の精神のもと、三本柱が授業を支えています。現 1・2 年生は、英検 2 級合格に向けて努力する者が多く、徐々に成果が表れてきています。

1 授業内容の改善

学習に意欲的に取り組む生徒が多くなり、授業内容の充実に力点が置かれるようになってきました。そのために、授業準備にも力を入れています。特に、国数英理社の教科は大学一般受験に活用する生徒が多くなったため、その授業改善について各教員が前向きに研修にも取り組んでいます。他の教科についても、生涯学習や情操教育の観点から一層の授業改善を図るよう努めています。また、生徒の進路を視野に入れ、授業内容と授業方法をより一層充実したものにし、生徒の学力向上に繋げるよう作成プリントを含めて各教科で共有していきます。

2 哲学教育の推進

本校の建学の精神に則り、生き方教育と真理を探究する際の考える力、判断する力、表現・行動する力を養う授業を行うとともに、刑事裁判傍聴、哲学ゼミや哲学セミナーでの発表会などを行っています。その成果として、書く力や表現する力が大幅に伸びており、特に、行事としては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため残念ながら中止としましたが、建学者の生誕の日に因んだ「哲学の日」にあたって生徒全員が書くエッセイの内容に表れています。高校では倫理の時間を活用し、すべての教員が哲学の授業を行えるようにして行きたいと考えています。

3 国際教育の推進

東洋大学との連携により、大学生活を先取りして体感できる「学部訪問」「学びライブ」、そして留学生との交流プログラム「Let's Chat in English!」を行っています。通常は、イングリッシュ・カンパセーション・ルームの活用や国際英語、国際理解という授業を通して英語力向上とともに、国際人になることを視野に入れて実践的に教育を行っています。その他、セブ島英語研修やオレゴンサマープログラムなど宿泊行事も用意しています。生徒は、意欲的に国際化に向けた学習に取り組んでいます。英検については、準 2 級以上の取得者が、共学 3 期生の 74% となり、昨年度比 5% 増でした。2 級以上は 28% の 54 名です。今後も確実に向上させます。

4 キャリア教育の推進

将来の進路を考えながら、卒業後の進学希望先を決めるために東洋大学教員やベネッセコーポレーションなどの講師による講演を行うとともに、個別面談を計画的に年三回実施しています。今後の大学入学共通テスト(新テスト)に備え、ポートフォリオの導入を開始しました。

5 バランスの取れた教育活動

全国大会・関東大会を目指す部活動から社会性を育みながらも楽しさを求める部活動まで、多種多様な部活動を配置しています。特待生制度をなくした今でも、高校男子バスケットボール部・剣道部は東京都で上位に位置し、軟式野球部は東京都代表として関東大会に出場しました。

■安心・安全な学校への取り組み

教育内容はもちろんですが、生徒や保護者にとって一番大切なことは安心して学校に通えることだと考えています。人と人との絆を大切に温かみのある教育環境、そして東日本大震災の教訓を生かしての危機管理体制など、あらゆる意味で「安全な学校」作りに取り組んでいます。既に、本校の防災マニュアルも出来上がっています。

■進路の状況

2019 年度の卒業生は 204 名です。現役の大学合格者数は国公立大学 6 名、GMARCH は 16 名です。東洋大学には一般受験で 14 名の合格者を出しています。次年度は中学校入学 1 期生の受験でもあり、真価が問われます。

(8) 東洋大学京北中学校



東洋大学京北中学校
校長 石坂 康倫

建学の精神「諸学の基礎は哲学にあり」を今に引き継ぎ、 社会の発展に寄与する学校づくり

2015 年度 4 月に、赤羽台から白山二丁目に教育の場を移し、共学の東洋大学京北中学校となって新たな出発をしました。

入試基準の見直しにより、より高い学力を有した生徒を受け入れ、完全なる中高一貫教育校としての教育活動を行っています。

哲学教育、国際教育、キャリア教育を三本柱として、「本当の教養を身に付けた国際人の育成」を目指して日々努めています。

■教育活動

【学習指導】

「国語で論理」という授業を全学年で週 1 時間行い、文章読解力、要約力、表現力を身に付けています。また、「哲学」という授業を毎週 1 時間行い、思考力、判断力を養っています。その他、放課後には自習室やチューターを活用し、自習する習慣を定着化するとともに、基礎力と応用力を身に付けることを進めています。更には、夏期講習会などでより一層の学力の向上を図っています。

【進路指導】

進学指導検討会を実施し、現状把握をしています。模試の結果を分析し、今後の指導計画に役立てています。教科会を定期的に関き、教科としての指導体制を整えています。次年度は、中学入学 1 期生が高校 3 年生になるので、明確な成果となって表れてくることが期待されます。また、希望の進路に進めるよう、特に大学進学について実現可能な方策を指導していきます。

【生徒指導】

昨年度に続き、他者との関係性のなかで、自尊感情を育てることを目標に取り組みました。心のケアに力を注いでおり、2015 年度から、男性 1 名、女性 1 名、計 2 名のカウンセラーを配置しています。今後も、「問題行動が起きてからの迅速な対応」だけでなく、「予防的な観点からの指導」に力を入れて取り組んでいきます。保護者からの相談にも対応しています。

【課外活動】

京北祭(文化祭)が年々充実してきています。生徒の自主性・自発性が一層高まり、より良い作品が生まれてきました。部活動では、バスケットボール部や剣道部が活発に活動しています。特待生制度をなくしましたが、チームワークはよくなり、次年度には東京都大会で上位の成績を目指します。その他、軟式野球部、フットサル部、吹奏楽部、ダンス部など多くの部活動が活発に活動するようになり、軟式野球部は東京代表として関東大会に出場しました。

【学校安全対策】

避難訓練と AED 講習・心肺蘇生法、防犯講習を実施し、安全対策に力を入れました。次年度も引き続き実施する予定です。また、本校の防災マニュアルも出来上がりました。

【異文化体験旅行】

2018 年 7・8 月の「オレゴンサマープログラム(ポートランド)」は希望人数が 35 名でしたが、今後も 40 名程度の参加者を継続できるよう計画しています。また、セブ島英語研修への参加者は 32 名でした。今後も、40 名程度の参加者を継続できるよう準備をしていきます。

■大学との連携の充実

中学校 3 学年では、今年度で 19 年目となる「川越キャンパス訪問」を実施しました。理工学部、総合情報学部の施設・設備及び授業の様子を見学しました。今年は、中学 3 年生を対象に 2019 年度附属中高大連携プログラム「未来の科学者育成プロジェクト」を実施することができました。次年度には 80 名を超える卒業生が東洋大学に進学予定です。しかしながら、一般受験で難関国立大学をはじめとする国公立大学や早慶上智、GMARCH などにも合格できる生徒を育てよう、気を引き締めて生徒の指導に当たっていきたいと思います。

(9) 京北幼稚園



京北幼稚園
園長 川合 正
■ 保育活動

成長段階に適応した遊びを通して自主性と協同性を育成していくことを目指します。

幼児期には、「健康な心と体」、「協同性」、「自立心」、「言葉による伝え合い」、「豊かな感性と表現」等の領域をバランスよく身に付け伸ばすことが求められています。人間形成の基礎をつくる最も貴重な幼児期に、成長段階に適応した遊びを中心とした生活を通して、身の回りの物事に興味や関心を示し、自分でやってみようとする行動により自主性を育成していくことや、集団での諸活動の中で個々がさまざまな体験をしながら社会性を身につけ、思考力や表現力を会得し、豊かな心を育むための知・徳・体のバランスのとれた成長を促す保育を目指しています。

「子どもの道徳心や体力の基本を身につけるためには幼稚園が必要である」という創立者の考え方を継承するとともに、2018 年から施行された新幼稚園教育要領(幼児期の終わりまでに育ってほしい 10 の姿)も視野に入れて日常の保育にあたっています。3 歳過ぎから 7 歳までは「手を離さず」じっくりと子育てをする必要があり、さらに将来社会で活躍するためには「主体的」であり「自己肯定感」を持った素質を育むことも大切です。そのために家庭での子育てだけではなく、幼稚園という集団での活動も非常に重要になってきます。そこで、本園では、教育の柱として、以下を取り入れ、日々の保育を実践しています。

- ① 親子の対話の支援 (手をつなぎ保護者と一緒に登園、保護者との諸行事・研修など)
- ② 基本的なしつけを身に付ける (挨拶・着がえ・食育・相手の気持ちを考える・丁寧な対話など)
- ③ 発達の時期に即した環境の提供 (木を基調にした園舎、図書館の整備、砂場、遊具など)
- ④ 子どもの学びへの支援 (読書、読み聞かせ、豊富な園外活動と行事、英語・書道の課外教室など)
- ⑤ 健康増進をはかる (正課体育の授業、毎月の専門医による検診、歯科医による学習会、課外体育クラブなど)
- ⑥ 保護者への子育て支援 (新しい教育や子どもとのコミュニケーションの研修会や子育て相談など)
- ⑦ 小学校に上がる準備支援 (グループ活動、仲間づくり、思いやり、正課英語、学習の準備、集団行動など)

【大学との連携の充実】

- ① ライフデザイン学部生活支援学科子ども支援学専攻の 3 年生に対して、幼稚園の様子と保育実習に向けた注意事項に関する講義を主幹が行いました。
- ② 例年通りライフデザイン学部の学生が保育実習を行いました。
- ③ ライフデザイン学部の学生達が制作した人形劇を園で上演し、学生と園児の交流をはかりました。
- ④ 運動会や親子体操等、法人総務部の協力のもと、東洋大学の体育館にて充実した活動が来ています。

【研修の充実】

昨年度に引き続き、園内で研修を企画・実施するとともに、外部の研修にも参加し、研修機会の充実に努めました。

- ① 園内研修
 - ・「井上円了先生の幼稚園創設の思いと実践」について
 - ・保護者からの相談対応の基礎
 - ・危機管理についての知識と応用
 - ・防犯研修(不法侵入者への対応)～駒込警察署～
 - ・防災の心構え ～小石川消防署～
 - ・園児への支援 (事例検討)
- ② 外部研修 『夏期集中研修』参加
 - ・どの子も輝く保育の組み立て方
 - ・自己肯定感がなぜ低い
 - ・みんなで作るみんなの園
 - ・保育者が身に付けたいカウンセリングマインド
 - ・保育マインドと表現力の向上 等
- ③ 文京区私立幼稚園 15 園合同研修会 ・「非認知能力を育むということ」

■ 園の運営

学校法人東洋大学の傘下に入り、管理運営に関しては、法人と綿密な連絡を取り、幼稚園の運営に遅滞がないように努めました。総務、人事、経理、経営企画、管財、広報などの積極的な支援のもと円滑な運営ができ、以前より充実した保育活動が展開できています。

■ 施設設備

昨年に続き懸案の修理や補修を実施しました。今後も引き続き、施設設備の修理・補修に取り組んでいきたいと思ひます。

(10) 今後の主な課題

1. 理事会で決定している赤羽台キャンパス開発、学部移転、新学部計画の確実な推進

特に2021年度におけるライフデザイン学部及び関連する研究科専攻等(現:朝霞キャンパス)の赤羽台キャンパスへの移転にあたり、学生に無用な負担をかける事の無い様、遅滞なくキャンパス整備や移転に関する計画を実施するとともに、後の新学部設置に備えて教育体制の質的充実を図る。

2. 教育の質的充実

2021 年度実施に向けて検討されている学部の新カリキュラムを、単なる改定に終わらせることなく、時代の課題、世界の課題、我が国に与えられた課題を解決するとともに、東洋大学の長所をより引き出せるカリキュラムにする必要があり、そのための準備を行い、合わせて本学全体の教育の質保証とその成果を可視化する観点から、入学から卒業までをトータルでデザインした教育システムを確立する。

具体的には、教養教育・専門教育の在り方の見直しの中で、我が国で新しい展開を示している情報教育や、これまで強力に展開してきた哲学教育、国際化に向けた取り組み等を学生が日常的に学び、正課授業の中で身につけられる体制を目指し、学生支援体制と合わせて整えていく。

3. 研究体制の整備と重点化

東洋大学のブランドとなり得る先端的かつ独創的な重点領域研究を強力に推進するとともに、他の研究領域についても既存の研究所の見直しを含めて組織的、学部横断的な研究活動を展開する。特にイノベーションによる新たな知的価値の創造と多様性ある研究活動を戦略的に展開し、世界から論文等で注目される研究活動を増やし、世界ランキングの向上を図る。

4. 社会貢献活動の推進

大学の社会貢献は本来、教育や研究の成果を還元することで行うものであるが、近年は大学の役割の一つ(教育・研究・社会貢献)と位置付けられ各種の活動を展開している。本学にふさわしい固有の社会貢献活動を再定義し、広く社会に貢献できる活動を展開する。

5. オリンピック、パラリンピックに貢献する活動の推進

これまでの教育研究活動の成果が、後世に評価されるレガシー的なものとなりうるような活動を推進する。

6. 附属学校の充実

附属学校はそれぞれ学校改革を強力に進めている途上であるが、財務力の強化を踏まえ引き続き教育力を強化し、東洋大学の教育との連携を図る。特に文部科学省の高大接続改革の動向を見つつ、教育の質的充実を図る。

7. 管理運営面の強化

(1) コンプライアンスの遵守

何よりもまずはルールを守ることであり、社会の信頼を得ていくためにも組織構成員全員が共通の意識として徹底を図ることを基本とする。

(2) 業務の効率化、簡素化

これまでも Web 会議システムの導入などにより業務の見直しを行ってきたが、働き方改革の議論を待つまでもなく、無駄な仕事、なくても困らない仕事を止め、IT 等による代替や簡素化にシフトし、費用対効果をみながら最終的にシンプルな業務体制にするとともに、冗費の節減につなげる。

(3) セキュリティ、リスク管理の徹底

専任教職員数からみれば本法人は大企業並であり、これまで以上にセキュリティ(物理的、情報環境等)を強化すると共に、リスク管理の徹底を図っていく。

(4) 適正な人事計画の推進と体制の構築

各分野における卓越したリーダーとなり得る高度な専門性を持つ教員を確保すると共に、本学における適正な教育研究組織とするための取り組みを行う。また、学長の下で教員活動評価を行い、教育研究組織の適切性の検証を行う。

2. 事業の概要

また次世代の東洋大学を担う職員の採用、育成に注力する。特に職員組織の研修制度(高度化、プロフェッショナル化等)を充実させ、あわせて管理職層のマネジメント力を強化し職員組織体制を強固にする。

(5) 施設設備、情報環境の整備

校舎等の施設だけでなく、情報関係、教具校具についても適切な管理を徹底するとともに、更新についても施設設備の現状、将来の見通しを踏まえた具体的な更新計画を環境問題に配慮しつつ全キャンパスで整備する。

(6) 財務運営

財務状況が長期的に厳しいものとなることから、長期的観点に立って財務体質を強化し、安定的財政基盤を確立する。この観点から収入の安定的確保と支出の効率化を目標に中長期財政計画を確立する。その際には財源の範囲内でのスクラップ・アンド・ビルドの原則を堅持するとともに、学生数策定にかかる方針に基づいて学生の受け入れを確実にし、学生生徒等納付金の安定的確保を図る。更には外部資金の積極的な導入に一層の努力を重ねていく。

特に支出については、人件費を含むあらゆる科目区分において適正なルールのもとで見直しを図るとともに、業務の選択と集中を進め、業務の適正化や計画段階からの効率的運用を図り、支出の節減を図る。

(7) 予算を検証する仕組みの実現と2021年度以降の予算編成への展開

予算の実行結果を次年度以降の予算編成にフィードバックするため、実行予算を検証する仕組みを実現し、業務の効率化に反映する。

3. 財務の概要

(1) 決算の概要

① 貸借対照表の状況

【資産の状況】

2019年度末の資産総額は、2,453億9,500万円の前年度末に比べ47億3,800万円増加しました。固定資産は、2,107億6,800万円となり、うち有形固定資産については、赤羽台キャンパス新校舎建築に伴う既存建物解体工事により土地が増加したこと、同じく赤羽台キャンパス新校舎建築工事及び附属姫路中学高等学校第3校舎建築工事で建設仮勘定が増加したこと、白山キャンパスで6号館天井等耐震化工事、白山キャンパス及び川越キャンパスで空調機更新工事、川越キャンパスで外壁改修工事や屋上防水工事、野球場整備工事、教室映像音響機器の更新、附属牛久中学高等学校でグラウンド整備工事を行ったことのほか、教育・研究のための機器備品や図書の購入などの増加がありましたが、各資産の減価償却や更新工事に伴う除却での減少により、前年度末に比べ合計で40億5,400万円増加し1,558億9,800万円となりました。特定資産は、減価償却引当特定資産を大学で20億円、附属牛久中学高等学校で5,000万円を組み入れたことなどにより24億2,200万円増加しましたが、大学で赤羽台キャンパス新校舎建築工事費用の一部として建設準備引当特定資産を32億2,100万円、附属姫路中学高等学校で第3校舎建築工事費用の一部として減価償却引当特定資産を3億円取り崩したことなどにより38億2,700万円減少し、前年度末に比べ合計で14億500万円減少の540億5,600万円となりました。その他の固定資産は、赤羽台キャンパスの教育システム開発や事務処理支援システムの追加開発に伴うソフトウェアの増加などにより、8,200万円増加し8億1,300万円となりました。流動資産は現金預金が23億3,100万円増加しましたが、未収入金が3億200万円減少したことなどにより、前年度末に比べ合計で20億700万円増加し346億2,700万円となりました。

【負債の状況】

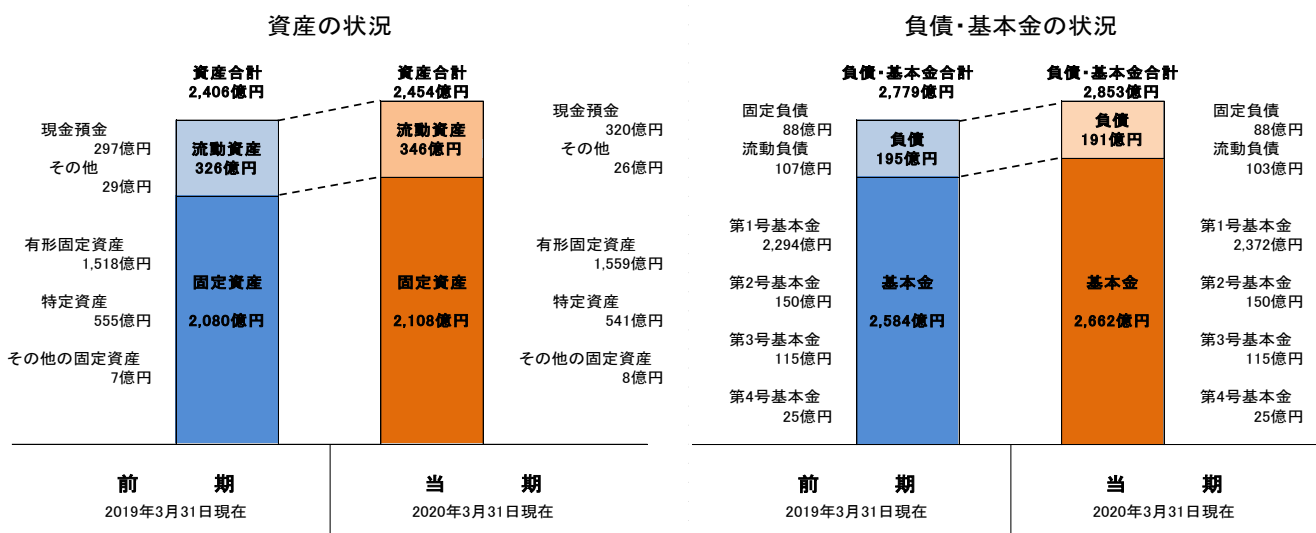
負債総額は191億6,400万円の前年度末に比べ3億5,800万円減少しました。固定負債は退職給与引当金が8,000万円増加したことにより、88億4,200万円となりました。流動負債は未払金が4億3,500万円、前受金が900万円それぞれ減少し、預り金（修学旅行費預り金含む）が600万円増加したことなどにより、前年度末に比べ合計で4億3,800万円減少し103億2,200万円となりました。

【基本金の状況】

基本金は前年度末に比べ77億4,000万円増加して2,661億5,900万円となりました。このうち、第1号基本金は赤羽台キャンパス新校舎建築工事に係る組み入れや、施設の改修、機器備品など施設設備充実による取得や除却などにより、前年度末に比べ77億4,000万円増加し2,371億9,800万円となりました。

【収支差額の状況】

資産総額2,453億9,500万円に対して、負債総額が191億6,400万円になったため、純資産は前年度末に比べ50億9,700万円増加し2,262億3,100万円となり、基本金が2,661億5,900万円であったため繰越収支差額はマイナス399億2,800万円となりました。なお、今年度末における減価償却累計額の合計は807億9,900万円、基本金の未組入額は1億7,800万円となりました。



3. 財務の概要

(1) 決算の概要

② 収支計算書の状況

【収入の状況】

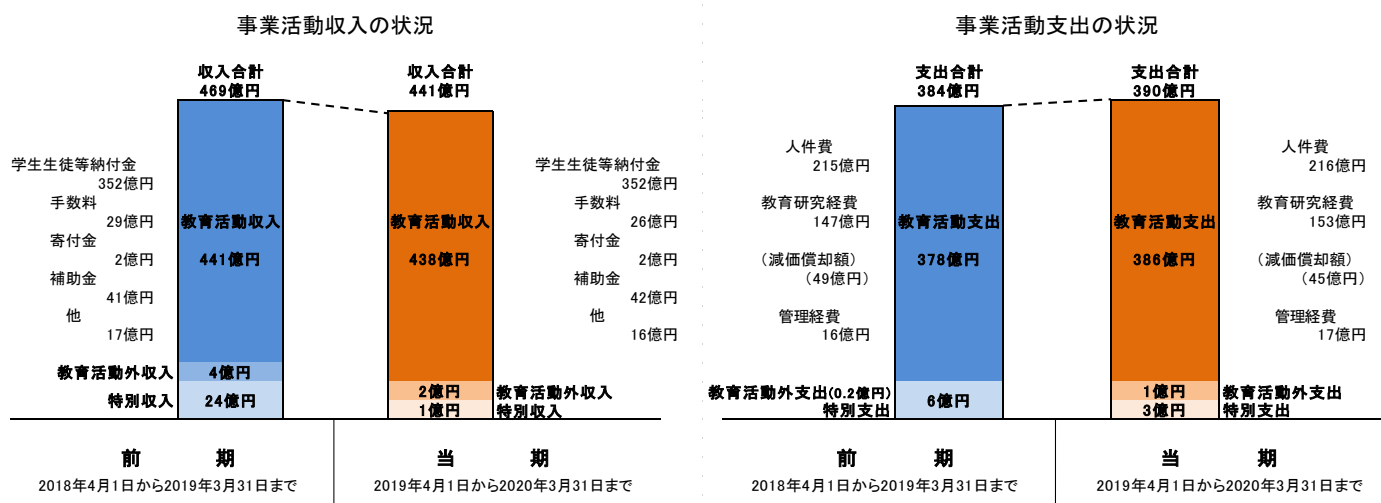
当年度の事業活動収入の合計は 440 億 8,200 万円で、教育活動収支の主な収入項目としては、学生生徒等納付金が入学定員超過率の厳格化に伴い学生数が減少したことにより前年度より 600 万円減少し 351 億 6,700 万円の、入学検定料などの手数料が大学の志願者数の減少により前年度より 3 億 2,400 万円減少し 25 億 9,600 万円の、施設設備以外の特別寄付金や一般寄付金、現物寄付などの寄付金は前年度より 3,500 万円増加し 2 億 3,100 万円の、経常費等の補助金は前年度より 3,000 万円増加し 41 億 8,200 万円になりました。教育活動外収支では、受取利息・配当金が前年度より 1 億 4,200 万円減少し 1 億 6,600 万円になりました。特別収支では施設設備に係る寄付金や現物寄付、施設設備補助金などのその他の特別収入が 1,600 万円増加し 1 億 600 万円になりました。

【支出の状況】

当年度の事業活動支出の合計は 389 億 8,500 万円で、教育活動収支の主な支出項目としては、人件費が専任教職員の採用増加等により前年度より 2,000 万円増加し 215 億 6,000 万円の、教育研究経費は人手不足による人件費高騰の影響を受けて施設設備保守費や業務委託費が増加したことにより前年度より 6 億 7,000 万円増加し 153 億 5,900 万円の、管理経費も同様に業務委託費が増加したことにより 1 億 4,000 万円増加し 17 億 200 万円となりました。なお、全体のうち 45 億 400 万円は減価償却額になります。教育活動外収支では為替差損が 9,000 万円、特別収支では日本私立学校振興・共済事業団における年金や健康保険等の掛金の算定基準となる標準報酬月額の見直しを誤っていたことにより過年度修正額が 6,900 万円発生しております。

【収支差額の状況】

教育活動収支差額に教育活動外収支差額を加えた経常収支差額は、前年度より 14 億 2,900 万円減少し 52 億 6,500 万円で、さらに特別収支差額のマイナス 1 億 6,800 万円を加えた基本金組入前当年度収支差額は、前年度より 33 億 5,300 万円減少し 50 億 9,700 万円となりました。これは前年度の特別収支で資金運用体制の見直しに伴い有価証券や金銭信託を売却したことにより資産売却差額が 22 億 6,900 万円あったこと等によるものです。基本金組入額を差し引いた当年度収支差額はマイナス 26 億 4,400 万円で、翌年度繰越収支差額はマイナス 399 億 2,800 万円(支出超過)となりました。



3. 財務の概要

(2) 経年比較

① 貸借対照表

(単位: 百万円)

	2015年度末	2016年度末	2017年度末	2018年度末	2019年度末
固定資産	191,474	196,050	200,752	208,037	210,768
流動資産	28,107	30,290	31,862	32,620	34,627
資産の部合計	219,580	226,340	232,614	240,657	245,395
固定負債	8,716	8,783	8,809	8,762	8,842
流動負債	9,887	10,739	11,120	10,760	10,322
負債の部合計	18,603	19,521	19,929	19,522	19,164
基本金	236,557	242,481	246,951	258,419	266,159
繰越収支差額	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928
純資産の部合計	200,978	206,818	212,685	221,135	226,231
負債及び純資産の部合計	219,580	226,340	232,614	240,657	245,395

② 収支計算書

ア) 資金収支計算書

(単位: 百万円)

収入の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
学生生徒等納付金収入	32,274	33,311	34,641	35,173	35,168
手数料収入	2,286	2,610	2,836	2,920	2,596
寄付金収入	220	121	121	187	224
補助金収入	3,765	3,622	3,570	4,198	4,238
資産売却収入	406	0	0	32,649	0
付随事業・収益事業収入	505	661	674	787	831
受取利息・配当金収入	415	391	505	308	166
雑収入	735	796	674	966	792
借入金等収入	0	0	0	0	0
前受金収入	8,243	8,864	8,491	8,170	8,161
その他の収入	4,505	8,788	1,849	11,324	6,532
資金収入調整勘定	△ 8,978	△ 9,044	△ 9,485	△ 10,399	△ 9,761
前年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675
収入の部合計	68,149	76,673	67,580	111,664	78,622

支出の部	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
人件費支出	19,496	20,053	20,755	21,554	21,475
教育研究経費支出	8,388	9,051	9,692	9,868	10,885
管理経費支出	1,533	1,682	1,590	1,528	1,809
借入金等利息支出	0	0	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0	0	0
施設関係支出	4,037	7,803	1,510	9,553	7,284
設備関係支出	899	2,282	1,124	1,152	1,525
資産運用支出	6,138	10,767	7,458	37,366	2,422
その他の支出	2,315	2,653	2,166	2,850	2,651
資金支出調整勘定	△ 1,210	△ 1,323	△ 2,096	△ 1,882	△ 1,435
翌年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006
支出の部合計	68,149	76,673	67,580	111,664	78,622

3. 財務の概要

(2) 経年比較

イ) 活動区分資金収支計算書

(単位: 百万円)

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動による資金収支					
教育活動資金収入計	39,598	41,056	42,473	44,087	43,783
教育活動資金支出計	29,384	30,761	31,921	32,930	34,014
差引	10,214	10,295	10,552	11,157	9,769
調整勘定等	364	482	4	△ 1,578	215
教育活動資金収支差額	10,578	10,776	10,556	9,579	9,984
施設整備等活動による資金収支					
施設整備等活動資金収入計	3,081	6,200	33	9,443	3,585
施設整備等活動資金支出計	10,583	15,227	9,738	21,805	10,859
差引	△ 7,502	△ 9,028	△ 9,705	△ 12,362	△ 7,274
調整勘定等	△ 459	206	546	△ 239	△ 415
施設整備等活動資金収支差額	△ 7,962	△ 8,822	△ 9,159	△ 12,601	△ 7,689
小計(教育活動資金収支差額＋施設整備等活動資金収支差額)	2,617	1,954	1,397	△ 3,022	2,295
その他の活動による資金収支					
その他の活動資金収入計	1,429	2,237	1,562	34,333	1,287
その他の活動資金支出計	1,267	7,051	1,288	27,023	1,320
差引	161	△ 4,814	274	7,310	△ 33
調整勘定等	2	11	5	6	69
その他の活動資金収支差額	163	△ 4,802	279	7,316	36
支払資金の増減額(小計＋その他の活動資金収支差額)	2,780	△ 2,848	1,676	4,294	2,331
前年度繰越支払資金	23,773	26,553	23,705	25,381	29,675
翌年度繰越支払資金	26,553	23,705	25,381	29,675	32,006

ウ) 事業活動収支計算書

(単位: 百万円)

科目	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動収支	事業活動収入の部				
	学生生徒等納付金	32,274	33,311	34,641	35,173
	手数料	2,286	2,610	2,836	2,920
	寄付金	102	132	124	196
	経常費等補助金	3,705	3,605	3,547	4,152
	付随事業収入	505	661	674	787
	資産売却差額	0	0	0	0
	雑収入	744	765	665	876
	教育活動収入計	39,616	41,084	42,487	44,104
	事業活動支出の部				
	人件費	19,524	20,120	20,781	21,540
	教育研究経費	12,992	13,641	14,561	14,689
	管理経費	1,605	1,722	1,537	1,562
	徴収不能額等	0	0	0	0
	教育活動支出計	34,121	35,483	36,879	37,791
	教育活動収支差額	5,495	5,601	5,608	6,313

次ページへ続く

3. 財務の概要

(2) 経年比較

(単位:百万円)

科目		2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
教育活動外収支	事業活動収入の部					
	受取利息・配当金	415	391	505	308	166
	その他の教育活動外収入	0	40	9	89	0
	教育活動外収入計	415	430	514	397	166
	事業活動支出の部					
	借入金等利息	0	0	0	0	0
	その他の教育活動外支出	31	24	116	16	90
	教育活動外支出計	31	24	116	16	90
	教育活動外収支差額	384	406	398	381	76
	経常収支差額	5,878	6,007	6,006	6,694	5,265
特別収支	事業活動収入の部					
	資産売却差額	271	0	0	2,269	0
	その他の特別収入	230	106	68	90	106
	特別収入計	501	106	68	2,359	106
	事業活動支出の部					
	資産処分差額	430	271	207	594	205
	その他の特別支出	1	1	1	9	69
	特別支出計	432	272	208	603	274
	特別収支差額	69	△ 166	△ 140	1,756	△ 168
	基本金組入前当年度収支差額	5,947	5,841	5,866	8,450	5,097
基本金組入額合計		△ 5,130	△ 5,924	△ 4,476	△ 11,468	△ 7,740
当年度収支差額		817	△ 83	1,390	△ 3,018	△ 2,644
前年度繰越収支差額		△ 36,647	△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284
基本金取崩額		250	0	6	0	0
翌年度繰越収支差額		△ 35,579	△ 35,662	△ 34,266	△ 37,284	△ 39,928
(参考)						
事業活動収入計		40,532	41,620	43,069	46,860	44,082
事業活動支出計		34,584	35,779	37,203	38,410	38,985

(3) 主な財務比率比較

(単位:%)

比率名	算 式	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}}$	14.7	14.0	13.6	18.0	11.6
基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入} - \text{基本金組入額}}$	97.7	100.2	96.4	108.5	107.3
学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学生生徒等納付金}}{\text{経常収入}}$	80.6	80.2	80.6	79.0	80.0
人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}}$	48.8	48.5	48.3	48.4	49.0
教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}}$	32.5	32.9	33.9	33.0	34.9
管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}}$	4.0	4.1	3.6	3.5	3.9
流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}}$	284.3	282.1	286.5	303.2	335.5
負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}}$	9.3	9.4	9.4	8.8	8.5
純資産構成比率	$\frac{\text{純資産}}{\text{総負債} + \text{純資産}}$	91.5	91.4	91.4	91.9	92.2
基本金比率	$\frac{\text{基本金}}{\text{基本金要組入額}}$	99.9	99.9	99.7	99.8	99.9
教育活動資金収支差額比率	$\frac{\text{教育活動資金収支差額}}{\text{教育活動資金収入計}}$	26.7	26.2	24.9	21.7	22.8

(注)「経常収入」＝教育活動収入計＋教育活動外収入計

3. 財務の概要

(4) 主な施設設備の取得または処分およびその進捗状況

①取得施設

該当なし

②処分施設

該当なし

③進行中施設

建物名等	地名地番	建築面積 (㎡)	計画概要	工期 (予定)
赤羽台キャンパス新校舎建築 (敷地B)	東京都北区赤羽台 1丁目7番11号	4,659.13	校舎 鉄骨造 地上9階地下1階建 延床面積 22,435.32㎡	2019年 5月～2021年 1月
赤羽台キャンパス新校舎建築 (敷地C)	東京都北区赤羽台 1丁目1番28号	9,344.25	校舎 鉄骨造 地上6階地下1階建 延床面積 32,067.05㎡	2020年11月～2023年 1月
赤羽台国際学生寮(仮称)建築 (敷地D)	東京都北区赤羽台 1丁目1番1号	2,000.97	校舎 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上4階地下1階建 延床面積 8,655.74㎡	2020年11月～2022年 1月
附属姫路中学校・高等学校 第3校舎建築	兵庫県姫路市書写1699	892.31	校舎 鉄筋コンクリート造 地上3階建 延床面積 2,375.77㎡	2019年 3月～2020年 9月

(5) その他

①有価証券の状況

ア) 総括表

(単位: 千円)

	当年度(2020年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	2,817,940	2,864,458	46,518
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	18,621,670	17,491,557	△ 1,130,113
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
合計	21,439,610	20,356,015	△ 1,083,595
(うち満期保有目的の債券)	(0)	(0)	(0)
時価のない有価証券	20,366		
有価証券合計	21,459,976		

イ) 明細表

(単位: 千円)

種類	当年度(2020年3月31日)		
	貸借対照表計上額	時価	差額
債券	0	0	0
株式	317,940	320,130	2,190
投資信託	0	0	0
貸付信託	0	0	0
その他(金銭信託)	21,121,670	20,035,885	△ 1,085,785
合計	21,439,610	20,356,015	△ 1,083,595
時価のない有価証券	20,366		
有価証券合計	21,459,976		

②借入金の状況

該当なし

3. 財務の概要

(5) その他

③寄付金の状況

寄付金の種類	金額	摘要
特別寄附金	202,328千円	2,456件
奨学寄付金	58,470千円	39件
教育・研究協力資金	126,896千円	2,125件
教育・研究協力資金(施設)	7,978千円	41件
その他の特別寄付金	8,984千円	251件
古本募金	873千円	241件
その他	8,111千円	10件
一般寄付金	21,400千円	3件
現物寄付金	55,677千円	956件
合 計	279,405千円	3,415件

④補助金の状況

(単位:千円)	
補助金の種類	補助金額
私立大学等経常費補助金	2,526,087
一般補助	2,132,427
特別補助	393,660
成長力強化に貢献する質の高い教育	300
大学等の国際交流の基盤整備	117,290
大学院等の機能の高度化	164,810
授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実	101,260
私立大学等改革総合支援事業	10,000
国際化拠点整備事業費補助金(スーパーグローバル大学創成支援)	52,013
成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPIT)事業費補助金	35,858
私立学校施設整備費補助金・私立大学等研究設備整備費等補助金	56,443
国庫からのその他の補助金	1,712
地方公共団体等からの補助金	1,563,970
私立学校経常費補助金	1,417,488
授業料軽減補助金・入学金軽減補助金	89,103
その他の補助金	57,379
学術研究振興資金	2,300
合 計	4,238,383

⑤関連当事者等との取引の状況

ア)関連当事者

該当なし

イ)出資会社

会社等の名称	事業内容	資本金等	出資割合	取引の内容	保証債務等
株式会社キャンパスサービス ※	建物の警備・清掃・保守・管理	10,000千円	100%	建物の警備・清掃・保守設備 管理業務の委託 年間 1,685,558千円	債務保証なし
東洋大学グローバルサービス株式会社	語学教育支援業務、事務受託業務、 損保代理店業務、学生生活支援事業、等	10,000千円	100%	語学教育支援、海外旅行損 害保険、セミナーハウス管理 運営業務の委託 年間 296,052千円	債務保証なし

※ 2020年4月1日より株式会社東洋大学ファシリティーズに社名変更

4. データ集

(1) 入学試験の概要

一般入試 学部(第1部)

(単位:人)

学部・学科(専攻)	志願者数	受験者数	合格者数
文学部			
哲学科	1,525	1,459	323
東洋思想文化学科	1,457	1,380	401
日本文学文化学科	2,305	2,214	451
英米文学科	1,756	1,671	538
史学科	2,668	2,551	668
教育学科	2,165	2,086	560
(人間発達専攻)	(1,270)	(1,227)	(393)
(初等教育専攻)	(895)	(859)	(167)
国際文化コミュニケーション学科	1,661	1,588	315
計	13,537	12,949	3,256
経済学部			
経済学科	5,113	4,948	1,363
国際経済学科	2,459	2,355	577
総合政策学科	3,639	3,510	869
計	11,211	10,813	2,809
経営学部			
経営学科	6,884	6,645	1,407
マーケティング学科	3,794	3,657	717
会計ファイナンス学科	2,867	2,746	679
計	13,545	13,048	2,803
法学部			
法律学科	4,120	3,926	1,120
企業法学科	2,279	2,205	723
計	6,399	6,131	1,843
社会学部			
社会学科	3,581	3,471	866
社会文化システム学科	2,789	2,708	794
メディアコミュニケーション学科	2,399	2,313	546
社会心理学科	2,772	2,708	502
社会福祉学科	1,631	1,577	537
計	13,172	12,777	3,245
理工学部			
機械工学科	2,839	2,729	981
生体医工学科	1,177	1,137	515
電気電子情報工学科	2,293	2,203	649
応用化学科	2,018	1,921	896
都市環境デザイン学科	1,573	1,518	501
建築学科	2,478	2,402	559
計	12,378	11,910	4,101
国際学部			
グローバル・イノベーション学科	1,159	1,107	255
国際地域学科(国際地域専攻)	2,874	2,782	821
計	4,033	3,889	1,076
国際観光学部			
国際観光学科	4,884	4,764	917
生命科学部			
生命科学科	1,229	1,179	510
応用生物科学科	1,066	1,021	585
計	2,295	2,200	1,095
ライフデザイン学部			
生活支援学科	1,853	1,780	683
(生活支援学専攻)	(912)	(895)	(367)
(子ども支援学専攻)	(941)	(885)	(316)
健康スポーツ学科	2,138	2,073	599
人間環境デザイン学科	1,797	1,727	353
計	5,788	5,580	1,635
総合情報学部			
総合情報学科	2,899	2,804	568
食環境科学部			
食環境科学科	1,400	1,356	552
(フードサイエンス専攻)	(965)	(936)	(390)
(スポーツ・食品機能専攻)	(435)	(420)	(162)
健康栄養学科	645	626	336
計	2,045	1,982	888
情報連携学部			
情報連携学科	4,854	4,705	1,391
合 計	97,040	93,552	25,627

一般入試 学部(第2部・イブニングコース)

(単位:人)

学部・学科(専攻)	志願者数	受験者数	合格者数
文学部			
東洋思想文化学科	222	203	88
日本文学文化学科	324	306	65
教育学科	232	221	104
計	778	730	257
経済学部			
経済学科	959	901	248
経営学部			
経営学科	813	770	220
法学部			
法律学科	417	387	203
社会学部			
社会学科	823	796	208
社会福祉学科	318	310	130
計	1,141	1,106	338
国際学部			
国際地域学科(地域総合専攻)	628	595	155
合 計	4,736	4,489	1,421

第1部・第2部 合計

101,776

98,041

27,048

一般入試 学部(第1部・秋入学)

(単位:人)

学部・学科(専攻)	志願者数	受験者数	合格者数
国際学部			
グローバル・イノベーション学科	88	88	15
情報連携学部			
情報連携学科	40	36	8
合 計	128	124	23

一般入試 学部(第1部・第2部)

延べ志願者数・実志願者数・併願率推移

入学生年度	延べ志願者数	実志願者数	併願率
2008年度	59,638	32,216	1.85
2009年度	69,150	35,709	1.94
2010年度	72,768	37,259	1.95
2011年度	67,538	35,326	1.91
2012年度	64,829	33,069	1.96
2013年度	71,273	36,610	1.95
2014年度	62,357	32,445	1.92
2015年度	83,546	34,595	2.41
2016年度	84,886	35,769	2.37
2017年度	101,180	40,655	2.49
2018年度	115,441	44,538	2.59
2019年度	122,010	43,842	2.78
2020年度	101,776	36,749	2.77

附属高等学校等

(単位:人)

学校名等	志願者数	受験者数	合格者数
附属姫路高等学校	3,519	3,514	3,510
附属姫路中学校	200	189	113
附属牛久高等学校	2,004	1,995	1,543
附属牛久中学校	217	214	169
東洋大学京北高等学校	909	884	614
東洋大学京北中学校	2,006	1,338	243
京北幼稚園	56	55	40
合 計	8,911	8,189	6,232

※高等学校については各附属中学校からの内部進学生を含む

4. データ集



TOYO UNIVERSITY

(1) 入学試験の概要

大学院 2020年4月入学のための入学試験

博士前期・修士課程

(単位:人)

研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
文学研究科			
哲学専攻	9	9	8
インド哲学仏教学専攻	3	3	3
日本文学文化専攻	17	17	11
中国哲学専攻	5	3	2
英文学専攻	3	3	2
史学専攻	3	3	3
教育学専攻	11	11	5
国際文化コミュニケーション専攻	10	10	2
計	61	59	36
社会学研究科			
社会学専攻	53	52	8
社会心理学専攻	29	28	10
福祉社会システム専攻	15	13	8
計	97	93	26
法学研究科			
私法学専攻	4	4	3
公法学専攻	10	9	5
計	14	13	8
経営学研究科			
経営学・マーケティング専攻	69	57	12
ビジネス・会計ファイナンス専攻	52	52	31
計	121	109	43
理工学研究科			
機能システム専攻	21	21	20
生体医工学専攻	15	15	15
電気電子情報専攻	7	7	7
応用化学専攻	19	18	18
都市環境デザイン専攻	6	5	5
建築学専攻	21	21	21
計	89	87	86
経済学研究科			
経済学専攻	52	42	17
公民連携専攻	22	21	16
計	74	63	33
国際学研究科			
グローバル・イノベーション学専攻	4	4	3
国際地域学専攻	5	5	4
計	9	9	7
国際観光学研究科			
国際観光学専攻	23	21	12
生命科学研究科			
生命科学専攻	25	23	22
社会福祉学研究科			
社会福祉学専攻	30	25	12
ライフデザイン学研究科			
生活支援学専攻	8	8	5
健康スポーツ学専攻	6	6	5
人間環境デザイン専攻	18	16	10
計	32	30	20
学際・融合科学研究科			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	6	6	6
総合情報学研究科			
総合情報学専攻	15	15	15
食環境科学研究科			
食環境科学専攻	12	12	12
情報連携学研究科			
情報連携学専攻	8	7	5
合 計	616	572	343

博士後期課程

(単位:人)

研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
文学研究科			
哲学専攻	1	1	1
インド哲学仏教学専攻	2	1	1
日本文学文化専攻	0	0	0
中国哲学専攻	0	0	0
英文学専攻	1	1	1
史学専攻	1	1	1
教育学専攻	1	1	1
国際文化コミュニケーション専攻	0	0	0
計	6	5	5
社会学研究科			
社会学専攻	1	1	0
社会心理学専攻	1	1	0
計	2	2	0
法学研究科			
私法学専攻	3	3	3
公法学専攻	0	0	0
計	3	3	3
経営学研究科			
経営学・マーケティング専攻	0	0	0
ビジネス・会計ファイナンス専攻	0	0	0
計	0	0	0
理工学研究科			
機能システム専攻	0	0	0
生体医工学専攻	2	2	2
電気電子情報専攻	0	0	0
応用化学専攻	0	0	0
建築・都市デザイン専攻	0	0	0
計	2	2	2
経済学研究科			
経済学専攻	4	4	2
国際学研究科			
国際地域学専攻	6	6	4
国際観光学研究科			
国際観光学専攻	4	4	4
生命科学研究科			
生命科学専攻	1	1	1
社会福祉学研究科			
社会福祉学専攻	7	7	7
ライフデザイン学研究科			
ヒューマンライフ学専攻	5	5	5
人間環境デザイン専攻	0	0	0
計	5	5	5
学際・融合科学研究科			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	0	0	0
総合情報学研究科			
総合情報学専攻	4	4	4
食環境科学研究科			
食環境科学専攻	1	1	1
情報連携学研究科			
情報連携学専攻	1	1	1
合 計	46	45	39

博士前期・修士課程・博士後期課程 合 計	662	617	382
----------------------	-----	-----	-----

大学院 2019年秋入学のための入学試験

博士前期・修士課程

(単位:人)

研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
社会学研究科			
福祉社会システム専攻	4	4	4
経営学研究科			
ビジネス・会計ファイナンス専攻	0	0	0
理工学研究科			
機能システム専攻	0	0	0
生体医工学専攻	0	0	0
電気電子情報専攻	1	1	1
応用化学専攻	1	1	1
都市環境デザイン専攻	0	0	0
建築学専攻	2	2	2
計	4	4	4
経済学研究科			
公民連携専攻	4	4	4
国際学研究科			
国際地域学専攻	7	5	4
国際観光学研究科			
国際観光学専攻	6	6	3
生命科学研究科			
生命科学専攻	1	1	1
学際・融合科学研究科			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	0	0	0
総合情報学研究科			
総合情報学専攻	1	1	1
食環境科学研究科			
食環境科学専攻	0	0	0
情報連携学研究科			
情報連携学専攻	0	0	0
合 計	27	25	21

博士後期課程

(単位:人)

研究科・専攻	志願者数	受験者数	合格者数
経営学研究科			
ビジネス・会計ファイナンス専攻	0	0	0
理工学研究科			
機能システム専攻	0	0	0
生体医工学専攻	0	0	0
電気電子情報専攻	0	0	0
応用化学専攻	0	0	0
建築・都市デザイン専攻	0	0	0
計	0	0	0
国際学研究科			
国際地域学専攻	3	3	3
国際観光学研究科			
国際観光学専攻	1	1	1
生命科学研究科			
生命科学専攻	0	0	0
学際・融合科学研究科			
バイオ・ナノサイエンス融合専攻	0	0	0
総合情報学研究科			
総合情報学専攻	0	0	0
食環境科学研究科			
食環境科学専攻	0	0	0
情報連携学研究科			
情報連携学専攻	0	0	0
合 計	4	4	4

博士前期・修士課程・博士後期課程 合 計	31	29	25
----------------------	----	----	----

4. データ集

(2) 就職の概要

2020年3月学部(第1部・第2部)卒業生 業種別進路状況

(単位:人)

学部	業種	農・林・漁・鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	情報通信業	運輸業	卸・小売業	金融・保険業	不動産業	学術研究	飲食店・宿泊業	生活関連サービス業・娯楽業	医療・福祉	教育・学習支援業	複合サービス事業	サービス業	公務員	その他	計
文学部第1部		1	13	44	3	100	29	153	43	35	23	32	29	28	98	10	24	20	89	774
経済学部第1部		0	18	34	1	91	27	113	83	21	13	9	10	2	10	2	6	36	59	535
経営学部第1部		0	25	41	3	138	15	113	80	45	46	10	19	6	3	1	10	23	52	630
法学部第1部		2	24	27	2	75	18	83	49	21	16	9	11	10	7	3	13	63	38	471
社会学部第1部		2	21	49	1	128	24	112	60	39	20	14	22	59	11	6	15	33	74	690
理工学部		0	121	136	1	90	16	43	4	19	45	2	3	10	16	2	21	30	47	606
国際地域学部		0	8	21	2	36	37	69	15	23	7	30	46	3	9	1	12	8	44	371
生命科学部		2	8	57	0	18	4	28	3	3	9	7	1	7	9	1	3	3	11	174
ライフデザイン学部		0	38	28	3	48	13	58	22	20	19	14	23	107	46	1	4	39	28	511
総合情報学部		0	3	13	2	102	3	42	8	10	4	3	3	6	2	0	5	4	27	237
食環境科学部		2	1	43	0	4	2	51	8	3	0	26	7	24	6	2	2	9	8	198
文学部第2部		0	0	6	0	12	0	11	1	2	3	5	3	4	7	1	5	4	13	77
経済学部第2部		0	6	3	0	16	5	27	5	4	2	3	2	5	0	1	1	10	7	97
経営学部第2部		0	2	1	0	12	2	16	4	4	4	5	2	2	1	0	3	1	14	73
法学部第2部		0	4	4	0	14	5	13	5	5	2	2	4	0	1	0	4	7	9	79
社会学部第2部		0	3	4	0	19	3	25	8	5	4	4	4	10	1	2	4	6	13	115
国際地域学部イブニングコース		1	1	1	0	6	2	16	2	4	3	5	7	0	1	1	3	3	16	72
計		10	296	512	18	909	205	973	400	263	220	180	196	283	228	34	135	299	549	5,710

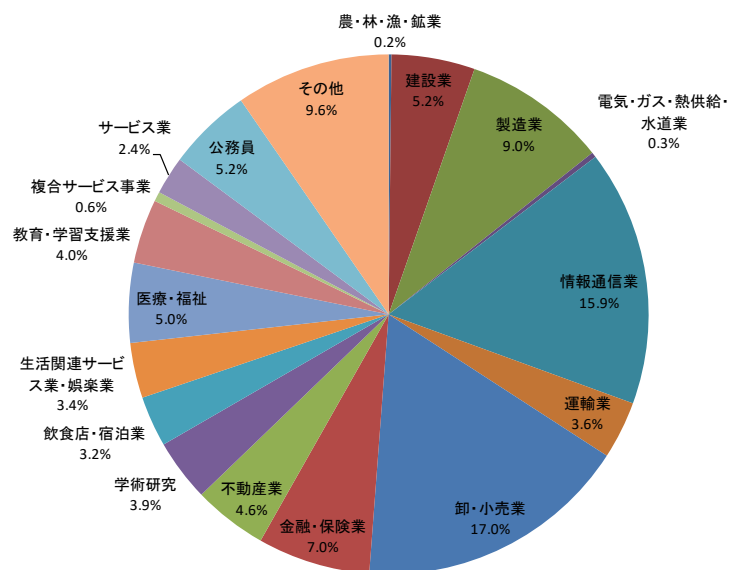
※「その他」には分類不能な業種も含む

2020年3月学部(第1部・第2部)卒業生 上位就職先一覧

(単位:人)

順位	企業名等	男	女	総計
1	東日本旅客鉄道(株)(JR東日本)	18	13	31
2	東京都教育委員会	10	15	25
3	千葉県教育委員会	12	12	24
4	富士ソフト(株)	16	7	23
5	警視庁	16	3	19
	埼玉県教育委員会	11	8	19
7	IMS(イムス)グループ	3	14	17
	第一生命保険(株)	0	17	17
9	(株)エイチ・アイ・エス	3	13	16
	日本郵便(株)(日本郵政グループ)	6	10	16
11	(株)JALスカイ	1	13	14
	(株)千葉銀行	7	7	14
	(株)ベネッセスタイルケア	6	8	14
14	イオンリテール(株)	9	4	13
	(株)システナ	9	4	13
16	埼玉県警察本部	4	8	12
	東京国税局	10	2	12
18	神奈川県教育委員会	4	7	11
	(株)ニチイ学館	1	10	11
	(株)りそな銀行	5	6	11
21	(株)JT	8	2	10
	東京消防庁	8	2	10
	日本生命保険(相)	0	10	10
	(株)マイナビ	5	5	10
	三井不動産リアルティ(株)	6	4	10
26	(株)NSD	7	2	9
	大和ハウス工業(株)	7	2	9
	TDCソフト(株)	7	2	9
	東京コンピュータサービス(株)	3	6	9
30	茨城県教育委員会	2	6	8
	(株)千葉興業銀行	4	4	8
	フランスベッド(株)	2	6	8
	明治安田生命保険(相)	0	8	8
	山崎製パン(株)	8	0	8
	リョージャパン(株)	6	2	8
36	神奈川県警察本部	5	2	7
	(株)京葉銀行	3	4	7
	さいたま市役所	2	5	7
	(株)セブン-イレブン・ジャパン	4	3	7
	千葉市役所	3	4	7

2020年3月学部(第1部・第2部)卒業生 業種別進路状況



順位	企業名等	男	女	総計
	東海旅客鉄道(株)(JR東海)	6	1	7
	東京東信金	2	5	7
	日本航空(株)	1	6	7
	日本ビジネスシステムズ(株)	6	1	7
	(株)日立システムズ	5	2	7
46	ANAエアポートサービス(株)	0	6	6
	(株)関電工	6	0	6
	(株)共立メンテナンス	4	2	6
	(株)静岡銀行	5	1	6
	中央労金	5	1	6

(3) 外部資金、助成金等の概要

2019年度 私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

研究拠点を形成する研究

主体となる研究組織名	研究代表者	事業名(研究プロジェクト名)	期間	2019年度 研究費(千円)
国際共生社会研究センター (大学院国際地域学研究科) Center for Sustainable Development Studies	北脇 秀敏 (大学院国際地域学研究科・ 国際地域学部教授)	アジア・アフリカにおける地域に根ざした グローバル化時代の国際貢献手法の開発	2015年度 ～2019年度	27,440

2019年度 私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費補助金一覧

種別	施設・装置・設備名	事業経費(千円)	交付決定額(千円)
防災機能等強化 緊急特別推進事業	白山キャンパス6号館アトリウム天井等耐震化工事	35,640	16,618
研究装置	スピニングディスク型共焦点超解像顕微鏡	59,854	29,825
研究設備	細胞分取装置セルソーター	25,993	10,000
合 計		121,487	56,443

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	9	6	5	3	1
金額(千円)	110,975	41,295	32,303	23,587	8,810

補助額は研究費分のみ、他にPD、RA雇用の補助あり

科学研究費助成事業

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
新規申請件数	179	229	219	214	247
新規採択件数	41	67	58	47	67
採択率	22.9%	29.3%	26.5%	22.0%	27.1%
採択件数 合計	165	187	216	211	207
採択金額 合計(千円)	272,000	320,281	329,024	336,744	318,498
(直接経費)	209,500	246,370	253,824	259,380	253,158
(間接経費)	62,500	73,911	75,200	77,364	65,340

新規採択件数は各年度第1回交付内定時データ

採択件数・採択金額には転入者分も含み、転出者分、期間延長分、廃止分を除いている

共同研究

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	16	11	32	32	44
金額(千円)	18,649	17,421	35,738	40,161	56,313

件数は有償分のみ

受託研究

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	35	48	42	45	34
金額(千円)	113,441	146,380	101,600	111,035	94,285

奨学寄付金

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	29	46	38	40	39
金額(千円)	30,239	41,605	29,218	56,285	58,470

発明

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
届出件数	15	12	20	23	22

特許出願

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
単独出願数	13	8	11	13	13
共同出願数	3	3	5	7	3
合 計	16	11	16	20	16

知的財産実施許諾等

	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
件数	2	3	9	7	8
金額(千円)	132	472	1,918	1,780	1,924

4. データ集

(4) 国際交流の概要

海外協定大学・機関

No	国	協定等相手先	包括	学生 交換	種別
1	アイルランド	ダブリンシティ大学 Dublin City University	●	●	大学間
2		リムリック大学 University of Limerick	●	●	大学間
3	アメリカ合衆国	ウィノナ州立大学 Winona State University	●	●	大学間
4		ウェスタンミシガン大学 Western Michigan University	-	※4	大学間
5		ウェストテキサスA&M大学 West Texas A&M University	-	●	大学間
6		オレゴン州立大学 Oregon State University	●	※1	大学間
7		カリフォルニア州立大学モントレーベイ校 California State University, Monterey Bay	●	●	大学間
8		カリフォルニア大学サンタバーバラ校 University of California, Santa Barbara	●	-	大学間
9		カリフォルニア大学サンディエゴ校エクステンション University of California San Diego Extension	●	-	大学間
10		カリフォルニア州立大学スタニスラウス校 California State University, Stanislaus	●	●	大学間
11		カリフォルニア州立大学ドミンゲスヒルズ校 California State University, Dominguez Hills	●	●	大学間
12		カリフォルニア州立大学ベーカーズフィールド校 California State University Bakersfield	●	●	大学間
13		カレッジ・オブ・ザ・デザート College of the Desert	●	※4	大学間
14		コロラド大学コロラドスプリングス校 University of Colorado Colorado Springs	●	●	大学間
15		サンフランシスコ州立大学 San Francisco State University	●	-	大学間
16		ジョンソン・アンド・ウェールズ大学 Johnson & Wales University	-	●	大学間
17		チャタム大学 Chatham University	-	●	大学間
18		テネシー大学ノックスビル校 The University of Tennessee, Knoxville	●	●	大学間
19		ニューヨーク州立大学ブロッポート校 The State University of New York College at Brockport	-	●	大学間
20		ネブラスカ大学カーニー校 University of Nebraska at Kearney	●	●	大学間
21		ノースアラバマ大学 University of North Alabama	●	●	大学間
22		ノースウェストミズーリ州立大学 Northwest Missouri State University	●	●	大学間
23		ハートウィックカレッジ Hartwick College	●	●	大学間
24		パデュー大学ノースウェスト校 Purdue University Northwest	●	●	大学間
25		ハワイパシフィック大学 Hawai'i Pacific University	●	●	大学間
26		ハワイ大学カピオラニ・コミュニティカレッジ University of Hawai'i Kapi'olani Community College	●	※4	大学間
27		ヒューストン大学 University of Houston	●	-	大学間
28		フォックス・バレー・テクニカル・カレッジ Fox Valley Technical College	●	●	大学間
29		フラットヘッドバレーコミュニティカレッジ Flathead Valley Community College	●	●	大学間
30		プレスビテリアン・カレッジ Presbyterian College	●	●	大学間
31		ペース大学 Pace University	●	※4	大学間
32		ポートランド州立大学 Portland State University	●	-	大学間
33		ボストン大学 Boston University	●	※4	大学間
34		ミズーリ大学セントルイス校 University of Missouri-St. Louis	●	●	大学間
35		メリヴィル大学 Maryville University	●	●	大学間
36		モンタナ大学 The University of Montana	●	●	大学間
37		リンゼイウィルソン大学 Lindsey Wilson College	●	●	大学間
38		オーガスタナカレッジ Augustana College	●	●	大学間
39		ルイスクラーク州立大学 Lewis-Clark State College	●	●	大学間
40	イタリア	カメリーノ大学 University of Camerino	●	-	大学間
41		サレント大学 University of Salento	●	●	大学間
42		トリノ大学 The University of Turin	●	●	大学間
43		フィレンツェ大学 The University of Florence	●	●	大学間
44		ベネチア大学 Ca' Foscari University of Venice	●	●	大学間
45	イタリア	ボローニャ大学 University of Bologna	●	●	大学間
46		ローマ・ラ・サピエンツァ大学 Sapienza University of Rome	●	-	大学間
47	インド	マンガラン教育協会 Mangalam Educational Society (マンガラン工科大学・Mangalam College of Engineering)	●	-	大学間
48		インド工科大学デリー校 Indian Institute of Technology Delhi	●	-	大学間
49		インド工科大学マドラス校 Indian Institute of Technology Madras	●	-	大学間
50		ケララ大学 University of Kerala	●	-	大学間
51		ジャワハルラー・ネルー大学 Jawaharlal Nehru University	●	-	大学間
52	インドネシア 共和国	スリー・チトラ・トリニダル医療科学技術研究所 Sree Chitra Tirunal Institute for Medical Sciences & Technology	●	-	大学間
53		ガジャマダ大学 Universitas Gadjah Mada	●	●	大学間
54		スラバヤ工科大学 The Institute of Technology Sepuluh Nopember (Institut Teknologi Sepuluh Nopember)	●	-	大学間
55		マラナタ基督教大学 Maranatha Christian University	●	-	大学間
56		国立デンパサル・ヒンドゥー大学 Institut Hindu Dharma Negeri Denpasar	●	-	大学間
57	ウズベキスタン 共和国	ウズベキスタン国立世界言語大学 Uzbekistan State World Languages University	●	-	大学間
58		タシケント国立東洋学大学 Tashkent State Institute of Oriental Studies	●	-	大学間
59	英国	エジンバラ大学 University of Edinburgh	-	※4	大学間
60		カーディフ大学 Cardiff University	●	●	大学間
61		コベントリー大学 Coventry University	●	-	大学間
62		セントラル・ランカシャー大学 University of Central Lancashire	●	●	大学間
63		ノーサンブリア大学 University of Northumbria at Newcastle	●	●	大学間
64	オーストラリア	ヨークセントジョン大学 York St John University	●	●	大学間
65		リバプール大学 University of Liverpool	●	-	大学間
66		インターナショナル・カレッジ・オブ・マネジメン ト・シドニー The International College of Management, Sydney (ICMS)	●	●	大学間
67		カーティン大学 Curtin University	-	●	大学間
68		サザンクロス大学 Southern Cross University	-	※4	大学間
69	オーストラリア	サンシャインコースト大学 The University of the Sunshine Coast	●	●	大学間
70		シーキュー大学 CQUniversity	●	●	大学間
71		ディーキン大学 Deakin University	●	※4	大学間
72		ニューカッスル大学 The University of Newcastle	●	※4	大学間
73		FHWien der WKW経営・コミュニケーション応用 科学大学 FHWien der WKW/University of Applied Sciences for Management and Communication	-	●	大学間
74	オーストラリア	アッパーオーストラリア大学 The University of Applied Sciences Upper Austria	●	●	大学間
75		ザルツブルク大学 The Paris-Lodron-University Salzburg	●	●	大学間
76	オランダ王国	HZ応用科学大学 HZ University of Applied Sciences	●	●	大学間
77		アムステルダム応用科学大学 Amsterdam University of Applied Sciences (AUSA)	●	●	大学間
78		ティオ応用科学大学 Tio University of Applied Sciences	●	●	大学間
79		フォンティス・アカデミー Fontys Academy for Creative Industries	●	●	大学間
80		ロッテルダム応用科学大学ビジネススクール Business School of Rotterdam University of Applied Sciences (Rotterdam Business School)	●	●	大学間
81	カナダ	ウィニペグ大学 The University of Winnipeg	●	-	大学間
82		エドモントン・コンコルディア大学 Concordia University of Edmonton	●	●	大学間
83		クワンテンポリテクニク大学 Kwantlen Polytechnic University	●	●	大学間
84		サスカチュワン大学 University of Saskatchewan	●	-	大学間

4. データ集



TOYO UNIVERSITY

No	国	協定等相手先	包括	学生 交換	種別
85	カナダ	ジョージブラウンカレッジ George Brown College	-	※4	大学間
86		セントメアリーズ大学 Saint Mary's University	-	※4	大学間
87		ダグラスカレッジ Douglas College	●	●	大学間
88		トンプソンリバーズ大学 Thompson Rivers University	-	●	大学間
89		バンクーバーアイランド大学 Vancouver Island University	●	-	大学間
90		ブロック大学 Brock University	●	●	大学間
91		マニトバ大学 University of Manitoba	●	●	大学間
92		レイクヘッド大学 Lakehead University	●	●	大学間
93		レスブリッジ大学 The University of Lethbridge	●	-	大学間
94	カンボジア王国	王立プノンペン大学 Royal University of Phnom Penh	●	-	大学間
95	ケニア共和国	ジョモ・ケニヤッタ農工大学 Jomo Kenyatta University of Agriculture and Technology	●	-	大学間
96	スイス連邦	ルツェルン大学 The University of Lucerne	●	●	大学間
97	スウェーデン 王国	リンネ大学 Linnaeus University	●	-	大学間
98	スペイン共和国	デウスト大学 The University of Deusto	-	●	大学間
99	スロベニア	リュブリャナ大学 The University of Ljubljana	●	-	大学間
100	タイ王国	アサンプション大学 Assumption University	●		大学間
101		アジア工科大学院 Asian Institute of Technology	●	-	大学間
102		タマサート大学 Thammasat University	●	●	大学間
103		チュラロンコン大学 Chulalongkorn University	●	●	大学間
104		プラナコン・シー・アユタヤ・ラチャバット大学 Phranakorn Si Ayutthaya Rajabhat University	●	-	大学間
105	大韓民国	韓国外国語大学校 Hankuk University of Foreign Studies	●	●	大学間
106		韓南大学校 Hannam University	●	●	大学間
107		建国大学校 Konkuk University	●	●	大学間
108		国民大学 Kookmin University	●	●	大学間
109		仁荷大学 Inha University	●	●	大学間
110		世宗大学 Sejong University	●	●	大学間
111		大邱大学校 Daegu University	●	●	大学間
112		東国大学校 Dongguk University	●	●	大学間
113		釜山外国語大学 Busan University of Foreign Studies	●	●	大学間
114		円光大学校 Wonkwang University	●	●	大学間
115		漢陽大学 Hanyang University	●	●	大学間
116		金剛大学校 Geumgang University	●	●	大学間
117		成均館大学 Sungkyunkwan University	●	●	大学間
118		義守大学 I-Shou University	●	●	大学間
119		弘光科技大学 Hungkuang University	●	-	大学間
120	台湾	国立中興大学 National Chung Hsing University	●	●	大学間
121		實踐大学 Shih Chien University	●	●	大学間
122		靜宜大学 Providence University	●	●	大学間
123		中原大学 Chung Yuan Christian University	●	●	大学間
124		中国文化大学 Chinese Culture University	●	●	大学間
125		天主教輔仁大学 Fu Jen Catholic University	●	●	大学間
126		東海大学 Tunghai University	●	●	大学間
127		佛光大学 Fo Guang University	●	-	大学間
128		龍華科技大学 Lunghwa University of Science and Technology	●	-	大学間

No	国	協定等相手先	包括	学生 交換	種別
129	タイ王国	チェンマイ大学 Chiang Mai University	●	●	大学間
130	中華人民共和国	大連理工大学 Dalian University of Technology	●	-	大学間
131		華北理工大學 North China University of Science and Technology	●	●	大学間
132		吉林大学 Jilin University	●	-	大学間
133		上海外国語大学 Shanghai International Studies University	●	●	大学間
134		上海工程技術大学 Shanghai University of Engineering Science	●	-	大学間
135		上海大学 Shanghai University	●	●	大学間
136		西安外国語大学 Xi'an International Studies University	●	●	大学間
137		大連外国語大学 Dalian University of Foreign Languages	●	●	大学間
138		大連海事大学 Dalian Maritime University	●	●	大学間
139		中国海洋大学 Ocean University of China	●	●	大学間
140	中華人民共和国	中国人民大学 Renmin University of China	●	●	大学間
141		ノッティンガム大学寧波校 University of Nottingham Ningbo China	●	●	大学間
142		北京語言大学 Beijing Language and Culture University	●	●	大学間
143		北京理工大学 Beijing Institute of Technology	●	●	大学間
144		香港公開大学 Open University of Hong Kong	●	●	大学間
145		香港中文大学深圳校 The Chinese University of Hong Kong, Shenzhen	●	●	大学間
146		マカオ科技大学 Macau University of Science and Technology	●	●	大学間
147		温州大学 Wenzhou University	●	-	大学間
148		上海對外貿易大学 Shanghai University of International Business and Economics	●	-	大学間
149		鄭州大学西亜斯国際学院 Sias International University	●	●	大学間
150	ドイツ 連邦共和国	暨南大学 Jinan University	●	●	大学間
151		バイロイト大学 University of Bayreuth	●	●	大学間
152		マルブルク大学 Philipps-Universität Marburg	●	●	大学間
153	ニュージーランド	ミュンヘン応用科学大学 Munich University of Applied Sciences	-	●	大学間
154		ユニテック工科大学 Unitec Institute of Technology	●	-	大学間
155	ノルウェー	トロムソ大学 UiT The Arctic University of Norway	●	●	大学間
156	ハンガリー	ブダペストメトロポリタン大学 Budapest Metropolitan University	●	●	大学間
157	パングラディッシュ	シャージャラル科技大学 Shahjalal University of Science & Technology	●	-	大学間
158	フィリピン共和国	カラガ州立大 ※3 Caraga State University	●	-	大学間
159		サンホセリコルトス大学 University of San Jose-Ricoletos	●	-	大学間
160		セブ技術大学 Cebu Technological University	●		大学間
161		セントジョセフ工科大学 ※3 Saint Joseph Institute of Technology	●	-	大学間
162		デ・ラ・サール大学ダスマリナス校 De La Salle University - Dasmariñas	●	-	大学間
163		ファーザー・サトルニノ・ユリオス大学 ※3 Father Saturnino Urios University	●	-	大学間
164		フィリピン大学セブ校 University of the Philippines Cebu	●	-	大学間
165		フィリピン大学ディリマン校 University of the Philippines Diliman	●	-	大学間
166		マプア大学 Mapua University	●	-	大学間
167		ハーゲンヘリア応用科学大学 Haaga-Helia University of Applied Sciences	●	-	大学間
168	フィンランド 共和国	メトロポリア応用科学大学 Metropolia University of Applied Sciences	●	-	大学間
169		ヤムク応用科学大学 JAMK University of Applied Sciences	●	●	大学間
170	ブラジル 連邦共和国	カンピーナス大学 University of Campinas	●	●	大学間
171		サンパウロ大学 University of São Paulo	●	●	大学間
172	フランス共和国	ストラスブール大学 Université de Strasbourg	●	●	大学間

4. データ集



TOYO UNIVERSITY

No	国	協定等相手先	包括	学生 交換	種別
173	フランス共和国	ナント大学 University of Nantes	-	※2	大学間
174		パリ・ディドロ大学(パリ第7大学) University Paris Diderot - Paris 7	●	●	大学間
175		リール大学 University of Lille	●	●	大学間
176		レンス第一大学 University of Rennes 1	●	●	大学間
177		ソルボンヌ大学(前ピエール・マリー・キュリー大学:パリ第6大学) Sorbonne University	●	※2	大学間
178	ブルガリア共和国	ソフィア工科大学 Technical University of Sofia	●	-	大学間
179		バイシイ ヒレンダルスキー プロブディフ大学 Paisii Hilendarski University of Plovdiv	●	-	大学間
180		聖クリメント・オフリドスキー・ソフィア大学 Sofia University St. Kliment Ohridski	●	●	大学間
181	ベトナム 社会主義 共和国	FPT大学 FPT University	-	●	大学間
182		日越大学 Vietnam Japan University	●	-	大学間
183		ベトナム国家大学ホーチミン市人文社会科学大学 Vietnam National University Ho Chi Minh City University of Social Sciences and Humanities	●	-	大学間
184	ベルギー王国	トマスモア応用科学大学 Thomas More University of Applied Sciences	●	●	大学間
185		リエージュ大学 University of Liège	●	●	大学間
186	マレーシア	サンウェイ大学 Sunway University	●	-	大学間
187		テイラーズ大学 Taylor's University	●	●	大学間
188		ノッティンガム大学マレーシア校 University of Nottingham Malaysia		●	大学間
189		ヘルプ大学 HELP University	●	-	大学間
190		マラヤ大学 University of Malaya	●	-	大学間
191		マレーシア工科大学 University of Technology, Malaysia	●	-	大学間
192		マレーシア国民大学 Universiti Kebangsaan Malaysia (UKM)	●	●	大学間
193	メキシコ	モンテレイ大学 Universidad de Monterrey	●	●	大学間
194	リトアニア	ヴィルニウス大学 Vilnius University	●	●	大学間
195	ルーマニア	ティミショアラ工科大学 Politehnica University of Timisoara	●	-	大学間
196		ブカレスト大学 University of Bucharest	●	-	大学間
197		ブカレスト経済大学 The Bucharest University of Economic Studies	●	●	大学間

No	国	協定等相手先	包括	学生 交換	種別
198	アメリカ合衆国	CISアブロード CISabroad	●	-	コンソーシアム
199		ISEP(アイセップ) International Student Exchange Programs	-	●	コンソーシアム
200		アイイーエスアブロード IES Abroad	●	-	コンソーシアム
201	その他 ※7	UMAP(アジア太平洋大学交流機構) University Mobility in Asia and the Pacific	-	●	コンソーシアム
202	フランス共和国	IAU(国際大学協会) International Association of Universities	●	-	コンソーシアム
203	アメリカ合衆国	NCPPP(米国PPP協会) The National Council for Public-Private Partnerships	●	-	機関
204		ULI、日本政策投資銀行 Urban Land Institute, Development Bank of Japan	●	-	機関
205		ワシントンセンター The Washington Center	●	-	機関
206	イタリア	ロムアルド・デル・ピアンコ財団 Fondazione Romualdo Del Bianco	●	-	機関
207	スイス連邦	国連欧州経済委員会PPP推進局(UNECE PPP)	●	-	機関
208	ハンガリー	ハンガリー科学アカデミー原子核研究所 Institute of Nuclear Research of the Hungarian Academy of Sciences	●	-	機関
209	大韓民国	平澤市 Pyeongtaek City	●	-	都市
210	フィリピン共和国	セブ州 Province of Cebu	●	-	都市
211		ブトゥアン市 ※3 City of Butuan	●	-	都市
212		ブトゥアン市 ※6 City of Butuan	●	-	都市

※1 現在は、学生の派遣超過により、学生交換を中止している。
 ※2 大学院 学際・融合科学研究科の博士後期課程の大学院生に限る。
 ※3 フィリピンの3大学、ブトゥアン市、東洋大学との間の5者間協定。
 ※4 授業料学生負担の学生派遣
 ※6 国連CoE地方政府PPPセンターを核とする都市間連携推進のための基本協定締結
 ※7 国際事務局の所在する国

東洋大学は、現在37カ国/地域・197大学・5コンソーシアム・6機関・3都市(4協定)と大学レベルの協定を結んでいる。

留学生数・留学者数

【派遣留学者数】 (単位: 人)

プログラム名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
交換留学(派遣)	56	69	74	152	155
認定留学	5	10	11	25	18
協定校語学留学	45	52	103	180	179
短期語学セミナー	163	123	116	156	180
合 計	269	254	304	513	532

※ 国際教育センター主催のプログラムおよび国際学部グローバル・イノベーション学科(GINOS)長期留学派遣者数を記載、中途帰国者を含む

【受入留学者数】 (単位: 人)

プログラム名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
交換留学(受入)	59	89	85	132	194

一般留学生(私費・国費)在籍者数

(単位: 人)

種別	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
私費	397	567	896	1,288	1,500
国費	20	22	22	22	19
合 計	417	589	918	1,310	1,519

留学に関する奨学金受給者数

(単位: 人)

奨学金名	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度	2019年度
交換留学生奨学金	53	66	66	128	141
認定留学生奨学金	5	10	11	32	24
協定校語学留学生奨学金	22	22	71	140	160
海外留学促進奨学金	324	349	427	660	563
・ファーストステップ型(※)	(160)	(202)	—	—	—
・チャレンジ型	(128)	(106)	(331)	(531)	(428)
・アクティブ型	(33)	(38)	(85)	(121)	(127)
・グローバルリーダー型	(3)	(3)	(11)	(8)	(8)
合 計	404	447	575	960	888

交換留学生奨学金 所属学部・研究科の年間授業料相当額を給付
 認定留学生奨学金 所属学部・研究科の年間授業料相当額を給付
 協定校語学留学生奨学金 所属学部・研究科の年間授業料の4分の1相当額を給付
 海外留学促進奨学金 設定している語学能力検定試験のスコア基準に応じて定められた額を給付

※ 2017年度からチャレンジ型に統合

(5) 図書館の概要

蔵書数

2020年3月31日現在

		白山図書館	川越図書館	朝霞図書館	板倉図書館	全館合計
図書	和書	757,030	146,931	253,215	69,599	1,226,775
	洋書	251,666	60,147	23,754	10,867	346,434
	計	1,008,696	207,078	276,969	80,466	1,573,209
雑誌	和雑誌	8,044	1,208	1,637	330	11,219
	洋雑誌	3,352	1,453	471	185	5,461
	計	11,396	2,661	2,108	515	16,680
その他	データベース	85				85
	電子ジャーナル	23,088				23,088

※ 単位について、図書は冊数、雑誌・データベース・電子ジャーナルはタイトル数

2019年度図書受入数

(単位:冊数)

		白山図書館	川越図書館	朝霞図書館	板倉図書館	全館合計
和書	購入(複製受入含)	14,283	3,814	4,859	1,913	24,869
	寄贈	185	144	34	94	457
	その他	121	86	30	173	410
	計	14,589	4,044	4,923	2,180	25,736
洋書	購入(複製受入含)	1,950	280	618	173	3,021
	寄贈	3	16	0	0	19
	その他	11	72	13	46	142
	計	1,964	368	631	219	3,182
合 計		16,553	4,412	5,554	2,399	28,918

2019年度雑誌受入数

(単位:タイトル数)

		白山図書館	川越図書館	朝霞図書館	板倉図書館	全館合計
和雑誌	購入	639	226	160	110	1,135
	寄贈	565	6	33	17	621
	その他	39	0	12	5	56
	計	1,243	232	205	132	1,812
洋雑誌	購入	270	145	41	14	470
	寄贈	6	0	0	1	7
	その他	0	0	0	0	0
	計	276	145	41	15	477
年報・白書		246	40	58	19	363
合 計		1,765	417	304	166	2,652



TOYO UNIVERSITY



東洋大学は 2014 年度に公益財団法人大学基準協会による大学評価（認証評価）を受け、「大学基準に適合している」と認定を受けました。この認定マークは、大学が常に自己点検・評価に取り組んでいること、そして社会に対して大学の質を保証していることのシンボルとなるものです。

■2020 年 6 月 発行

学校法人東洋大学

〒112-8606

東京都文京区白山 5-28-20 総務部総務課



Toyo University supports the Sustainable Development Goals